

opentext™

OpenText™ Project and Portfolio Management (PPM)

ソフトウェアバージョン: 24.4

はじめにヘルプ

ヘルプセンターオンラインに移動

<https://admhelp.microfocus.com/ppm/>



ドキュメントリリース日: 2024年10月

フィードバックを送る



はじめにヘルプを使用してお気づきになった点をお知らせください。

電子メールの宛先: admdocteam@opentext.com

ご注意

© Copyright 2024 Open Text.

Open Textおよびその関連会社およびライセンサ(「Open Text」)の製品およびサービスの保証は、当該製品およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、Open Textはいかなる責任も負いません。ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

免責事項

ここからアクセス可能なソフトウェアの一部には、Hewlett-Packard Company (現在のHP Inc.) およびHewlett Packard Enterprise Companyのブランドが含まれる場合があります。このソフトウェアは、2017年9月1日にMicro Focusによって買収され、現在は所有と経営を別とする会社OpenTextによって提供されています。HPおよびHewlett Packard Enterprise/HPEマークの使用は歴史的なものであり、HPおよびHewlett Packard Enterprise/HPEマークはそれぞれの所有者に帰属します。

目次

PPMのご紹介.....	10
PPMを使用する理由	10
PPMプロセスの概要	11
PPMを初めてお使いですか?	11
ヘルプセンターのブックマーク	11
PPMモジュール.....	13
基本.....	15
PPMへのログオンとログオフ.....	15
パスワードのリセット	16
メニューを参照する	17
メインメニューと管理メニュー	17
24.4にアップグレードした後のメニューの外観.....	18
個人設定を設定する	19
一般設定	19
地域設定	21
チーム設定	21
通知の設定	22
メニューとエンティティを検索する	22
Navigatorで項目を検索し、レポートを送信する	23
前提条件	23
Navigatorにアクセスする	24
メニューまたはエンティティを検索する	24
レポートの送信	25
ページをブックマークしてホームページに設定する.....	26
[マイリンク] リストにページを追加する	26
[マイリンク] リストのページを管理する	26
ホームページを設定する.....	27
共通UI要素.....	28
グリッドビュー	28
概要.....	28
グリッドビューの [列] タブを操作する.....	29
グリッドビューの [フィルター] タブを操作する.....	30
ガントチャート	30
新しいガントチャートが使用される場所.....	30
新規ガントチャートと旧ガントチャート.....	30
メモ領域	32
メモ領域のあるエンティティ	32
メモ領域のリッチテキスト形式.....	32
添付ファイル	33

添付ファイルを追加する	33
添付ファイルの編集、チェックアウト、およびチェックイン	35
添付ファイルのプレビューとダウンロード	36
添付ファイルのキーワードでエンティティを検索する	37
PPMサポートマトリックス	40
PPM統合	41
その他のヘルプ	42
新機能	43
サイドナビゲーションメニュー	43
デマンド管理の機能拡張	43
Web UIからメニューをカスタマイズする	44
ダウンロード前にファイルをプレビューする	44
既存のプログラムに変更を反映する	44
リソース管理の機能拡張	45
ポートレットの機能拡張	45
個人設定の更新	46
カスタム企業ロゴがSVGファイルをサポート	46
機能切り替えの更新	46
作業計画にWBSを表示する	47
PPM - Jira統合の更新	47
拡張オペレーティングシステムサポート	47
新しいREST API	47
OracleディクショナリビューでSQLクエリを実行する	48
ユーザーインポートの更新	48
ヘルプセンターのデザインを更新	48
PPMの新機能 - 以前のバージョン	49
PPM 24.3の新機能	49
Web UIからリクエストタイプを管理する	50
簡素化されたリソース割り当て	50
Navigatorを使用してレポートを送信	50
リクエストタイプからデータソースを作成する	50
進捗バーからリクエストの進捗を表示する	51
機能切り替えの更新	51
ポートレットの機能拡張	51
プログラムメモのリッチテキストのサポート	52
シングルサインオンのセッション言語を設定する	52
PPTおよびWordレポートの更新	52
ポートフォリオコンテンツの数を制御する	52
フィンランド語のサポート	53
エンティティ移行の更新	53

Oracle EBS拡張機能の新しいオブジェクトタイプ	53
PPM 24.2の新機能.....	53
ポートフォリオ計画における依存関係管理	54
Navigator Aviator.....	54
PostgreSQLデータベースの公式サポート.....	54
デマンド管理の機能拡張.....	55
クローズされたリクエストの時間管理	56
プロジェクトガントポートレットの更新.....	56
メモのリッチテキストをサポート.....	56
最新のPPMバージョンへの直接アップグレード.....	56
簡素化されたAutopassライセンスのインストール.....	57
Oracle EBS拡張機能の新しいオブジェクトタイプ	57
機能切り替えの更新	57
32ビットJVMサポートを中止	57
PPM 24.1の新機能	58
ポートフォリオ管理の機能拡張	58
デマンド管理の機能拡張.....	59
管理の機能拡張	60
ダッシュボードの機能拡張	61
What-if分析の機能拡張.....	61
レポートの機能拡張.....	62
リソース管理の機能拡張.....	62
時間管理の機能拡張	63
マイタイムシートアプリの更新	63
チーム管理の機能拡張	63
統合の機能拡張	63
REST APIの機能拡張.....	64
廃止	64
PPM 23.4の新機能	64
What-if分析の機能拡張.....	64
ポートフォリオ管理の機能拡張	65
リソース管理の機能拡張.....	65
時間管理の機能拡張.....	66
管理の機能拡張	67
プラットフォームの機能拡張.....	67
デマンド管理の機能拡張.....	68
統合の更新	68
プロジェクト管理の機能拡張.....	68
マイタイムシートアプリの更新	69
Oracle EBSのデプロイメント管理拡張機能	69
PPM 23.3の新機能.....	70
強化されたwhat-if分析 (ベータ版)	70

プラットフォームの機能拡張.....	70
管理の機能拡張	71
時間管理の機能拡張.....	71
統合の機能拡張	73
REST APIの機能拡張	73
リソース管理の機能拡張.....	74
ポートフォリオ管理の機能拡張.....	74
デマンド管理の機能拡張.....	75
プログラム管理の機能拡張.....	75
APMの機能拡張.....	76
PPM 2023の新機能	76
ポートフォリオ管理の機能拡張.....	76
プロジェクト管理の機能拡張.....	76
PPM-Agile統合の機能拡張.....	77
プラットフォームの機能拡張.....	78
財務管理の機能拡張.....	79
リソース管理の機能拡張.....	79
管理の機能拡張	79
デマンド管理の機能拡張.....	80
APMの機能拡張.....	80
ポートレットの機能拡張.....	80
Internet Explorerの廃止	80
PPM 10.0.4の新機能.....	80
ポートフォリオ管理の機能拡張.....	81
プラットフォームの機能拡張.....	81
デマンド管理の機能拡張.....	82
PPM-ServiceNow統合	82
時間管理の機能拡張.....	83
財務管理の機能拡張.....	83
管理の機能拡張	83
レポートの機能拡張.....	84
ポートレットの機能拡張.....	84
PPM 10.0.3の新機能.....	84
PPM-Agile統合の機能拡張.....	84
ダッシュボードの機能拡張.....	85
リソース管理の機能拡張.....	86
管理の機能拡張	87
チーム管理の機能拡張.....	87
OOTBフィールドにカスタム検証を使用する.....	88
プロジェクト管理の機能拡張.....	88
ポートフォリオ管理の機能拡張.....	88
時間管理の機能拡張.....	89

廃止	89
PPM 10.0.2の新機能	89
新機能のビデオ	89
ポートフォリオ管理の機能拡張.....	90
プロジェクト管理の機能拡張.....	90
デマンド管理の機能拡張.....	91
チーム管理の機能拡張.....	92
管理の機能拡張	93
PPM - ALM Octane統合の機能拡張.....	94
インストールとアップグレードの機能拡張.....	94
リソースプールの分析ポートレットの更新.....	94
kMigratorの改善	95
ワークベンチの機能拡張.....	95
PPM 10.0.1の新機能	95
ポートフォリオ予算.....	96
統合の機能拡張	96
レポートの機能拡張.....	97
ダッシュボードの機能拡張.....	97
リソース管理の機能拡張.....	98
管理の機能拡張	99
PPMをPostgreSQLデータベースでアップグレードする (ベータ版).....	99
PPM 10.0の新機能.....	99
ポートフォリオ財務.....	100
セルフサービスポートレットの拡張機能	100
管理の機能拡張	100
コンカレントライセンスの機能拡張.....	101
デマンド管理の機能拡張.....	102
新規特殊コマンド	102
PostgreSQLデータベースのサポート (ベータ版).....	102
統合の更新	102
プロジェクト管理の機能拡張.....	103
kMigratorの改善	103
廃止	103
PPM 9.66の新機能.....	104
新機能のビデオ	104
ダッシュボードの機能拡張.....	104
チーム管理の機能拡張.....	105
デマンド管理の機能拡張.....	106
プロジェクト管理の機能拡張.....	107
プログラム管理の機能拡張.....	107
マイタイムシートアプリの更新.....	107
リソース管理の機能拡張.....	107

統合の更新	107
拡張機能の更新	108
財務管理の機能拡張.....	108
ライセンスアサインの変更に関する監査履歴	108
認証用のJWTのサポート	108
PPM 9.65の新機能	108
新機能のビデオ	108
チーム管理の機能拡張.....	109
ダッシュボードの機能拡張.....	109
マイタイムシートアプリの機能拡張.....	110
デマンド管理の機能拡張.....	110
ガントチャートの機能拡張.....	111
プラットフォームの機能拡張.....	111
プログラム管理の機能拡張.....	112
時間管理の機能拡張.....	112
ドキュメントの機能拡張.....	113
PPM 9.64の新機能.....	113
マイタイムシートアプリ.....	113
チーム管理の機能拡張.....	113
デマンド管理の機能拡張.....	114
プロジェクト管理の機能拡張.....	114
リソース管理の機能拡張.....	114
kMigratorの改善	115
ヘルプセンターの [共有] ボタン.....	115
PPM 9.63の新機能.....	116
デマンド管理の機能拡張.....	116
ポートフォリオタイプ.....	119
プラットフォームの機能拡張.....	119
PPM-JIRA統合の更新.....	120
ダッシュボードの機能拡張.....	120
リソース管理の機能拡張.....	120
時間管理の機能拡張.....	121
チーム管理の機能拡張.....	121
財務管理の機能拡張.....	121
Kubernetesサポート (ベータ版)	122
PPM 9.62の新機能.....	122
ポートフォリオ管理の機能拡張.....	122
チャットボットの機能拡張.....	123
チーム管理の機能拡張.....	124
機能拡張のインストール.....	124
ダッシュボードの機能拡張.....	124
管理の機能拡張	125

プログラム管理の機能拡張.....	126
プロジェクト管理の機能拡張.....	127
リソース管理の機能拡張.....	127
時間管理の機能拡張.....	128
デマンド管理の機能拡張.....	128
財務管理の機能拡張.....	129
廃止	129
PPM 9.61の新機能.....	130
ポートフォリオ管理の機能拡張.....	130
プロジェクト管理の機能拡張.....	130
デプロイメントの改善.....	132
リソース管理の機能拡張.....	132
ダッシュボードの機能拡張.....	132
時間管理の機能拡張.....	133
PPMチャットボットの機能拡張.....	133
ヘルプセンター	133
廃止	133
PPM 9.60の新機能.....	134
PPM Enterprise Suiteコンカレントライセンス	134
PPM for Mobileの更新.....	134
ポートフォリオ管理の機能拡張.....	135
Micro Focus PPM Connector	135
PPMチャットボット.....	136
ダッシュボードの機能拡張.....	136
機能の切り替えの機能拡張.....	137
管理の機能拡張	137
時間管理の機能拡張.....	137
プロジェクト管理の機能拡張.....	138
リソース管理の機能拡張.....	138
プログラム管理の機能拡張.....	138
廃止	139
既知の問題.....	139
問題.....	139
制限事項.....	144

PPMのご紹介

Project and Portfolio Management Center (PPM) は、組織がビジネスのデマンドとアイデアを追跡し、戦略的優先順位に沿ったプロジェクトの適切なポートフォリオに投資するためのより良い決定を下し、プロジェクトを集合的に管理して、プロジェクトが予定どおりに予算内で提供されるようにするのに役立ちます。

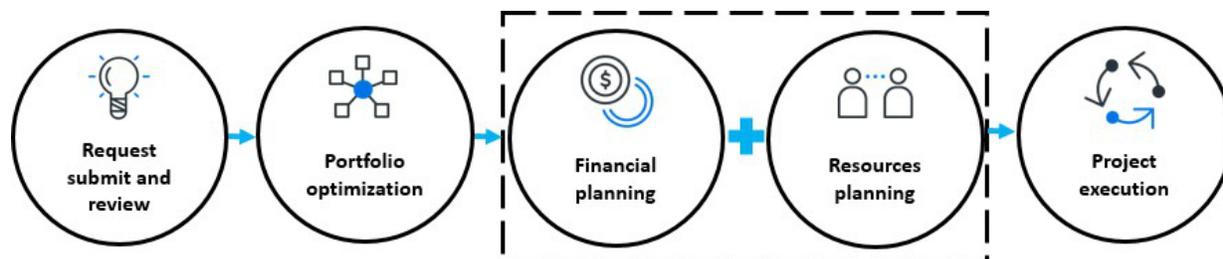
PPMを使用する理由

PPMは、さまざまなロールの課題に対処するのに役立ちます。

ロール	課題
CIO ポートフォリオ マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の価値観に従ってビジネス目標を定義します。 ビジネス目標を実行するために何を投資するかを決定します。 ポートフォリオのステータスを評価して伝達します。
プログラムマネージャー PMO	<ul style="list-style-type: none"> グループ化されたプロジェクトのパフォーマンスを管理します。 プロジェクト間で一貫したプロセスを確保します。
プロジェクト マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを計画、実行、および完了します。 問題、リスク、および変更に対処します。
リソースマネージャー	<ul style="list-style-type: none"> リソースのキャパシティと容量を管理します。 プロジェクトのリソース計画を行います。 プロジェクトにリソースをアサインします。
財務マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトに予算を割り当てます。 プロジェクトの予測と実際のコストを追跡します。
システム管理者	<ul style="list-style-type: none"> 組織のポリシーに合わせてシステムをカスタマイズおよび構成します。 システムユーザーを管理します。
チームメンバー	<ul style="list-style-type: none"> リクエストを送信します。 アサインされたタスクの時間を報告します。

PPMプロセスの概要

このフローは、計画から実行までのPPM全体のプロセスを示しています。



PPMを初めてお使いですか？

PPMでのアクションは、PPM WebページまたはPPM Workbenchのいずれかで実行されます。はじめにガイドでは、PPM WebページとPPM Workbenchのコンポーネントを紹介し、いくつかの基本的なアクションについて説明します。

印刷用ドキュメントは、Adobeのポータブルドキュメント形式 (PDF) で入手できます。

ドキュメントを表示するには、[はじめに](#)をクリックします。

ヘルプセンターのブックマーク

ヘルプセンターの最新バージョンを常に表示するには、次のリンクをブックマークしてください: <https://admhelp.microfocus.com/ppm>

トピックの最新バージョンを常に指すリンクを作成するには、URLのバージョン番号を「latest」に置き換えます。例えば:

- 前のバージョン:

https://admhelp.microfocus.com/ppm/en/9.50-9.52/Help/Content/Intro_PPM.htm

- 現在のバージョン

https://admhelp.microfocus.com/ppm/en/latest/Help/Content/Intro_PPM.htm

参照:

- [「PPMモジュール」](#)
- [41ページの「PPM統合」](#)

PPMモジュール

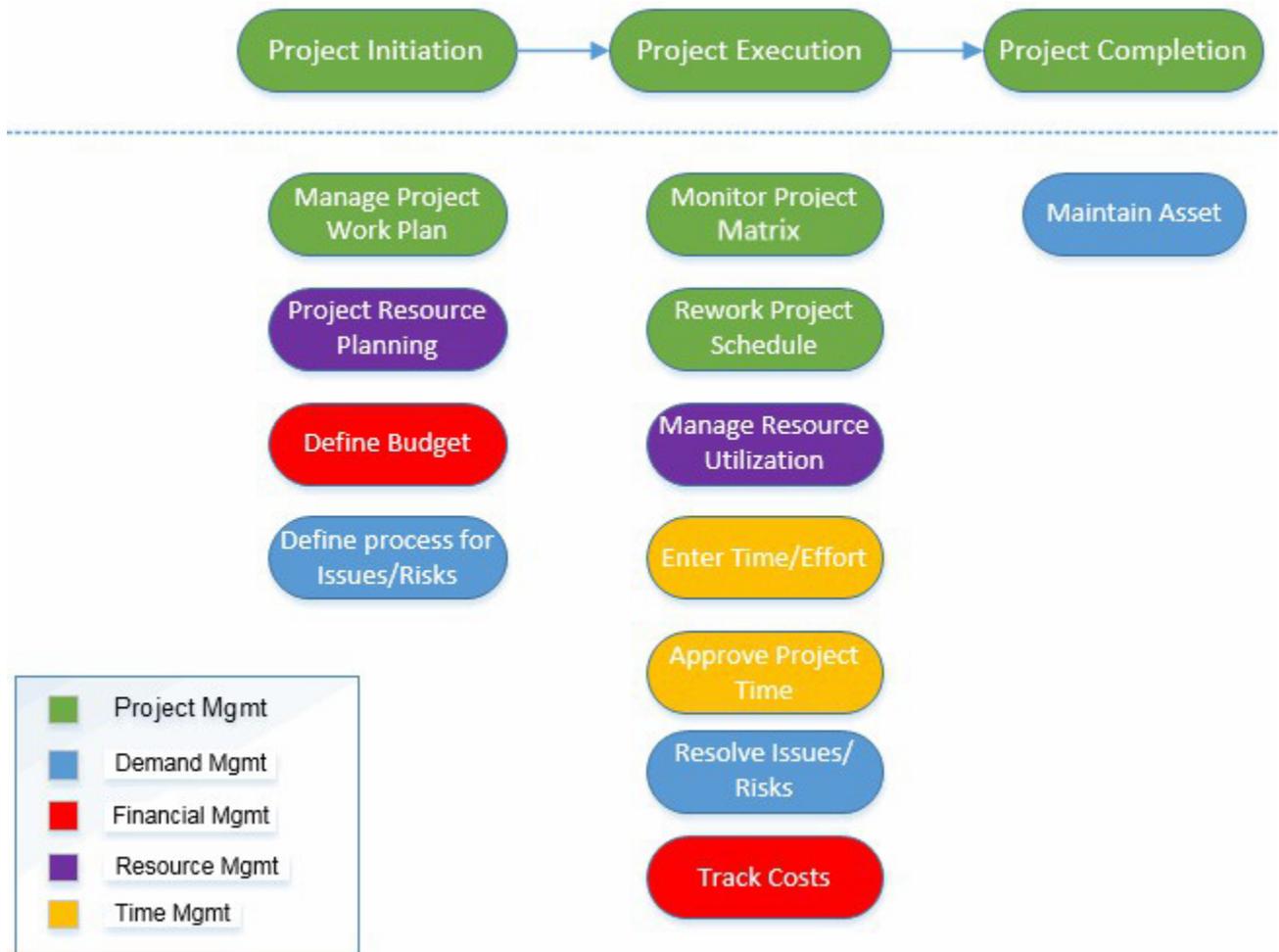
PPMは、以下のコアモジュールで構成されています。これらのモジュールは独立して使用されません。

デマンド管理	<p>デマンド管理を使用してさまざまなタイプの要求を送信し、要求が解決または承認されるまでプロセス (ワークフロー) を通過させます。</p> <p>詳細については、はじめに: デマンド管理を参照してください。</p>
ポートフォリオ管理	<p>ポートフォリオ管理は、戦略を定義し、提案、現在のプロジェクト、および確立された資産をビジネス戦略と整合させ、それによって新しいイニシアチブの価値を最大化するのに役立つツールを提供します。</p> <p>詳細については、はじめに: ポートフォリオ管理を参照してください。</p>
財務管理	<p>財務サマリを使用して、コスト計画を管理し、実績コストとベネフィットを把握し、承認された予算を追跡します。財務データテーブルを使用して、あらゆるタイプのリクエストの予測および実績のコストとベネフィットを追跡します。</p> <p>詳細については、はじめに: 財務管理を参照してください。</p>
リソース管理	<p>リソース管理は、ITイニシアチブに関連する人員を管理するための一連のツールを提供します。リソースのロールとスキルを設定し、将来のリソース容量を計画および追跡し、現在のプロジェクトとリクエストの実行にリソースをアサインできます。</p> <p>詳細については、はじめに: リソース管理を参照してください。</p>
プロジェクト管理	<p>プロジェクト管理を使用すると、プロジェクトを開始、実行、追跡して、プロジェクトがスケジュールと予算内で完了していることを確認できます。</p> <p>詳細については、はじめに: プロジェクト管理を参照してください。</p>

プログラム管理	<p>1つのプロジェクトでビジネスゴールを達成できない場合は、プログラム管理を使用して、関連するプロジェクト、提案、および資産をグループ化し、それらをまとめて監視します。</p> <p>詳細については、はじめに: プログラム管理を参照してください。</p>
時間管理	<p>作業項目 (リクエスト、プロジェクト、タスク、パッケージ、またはその他の作業) で作業しているときは、時間管理タイムシートを使用して、特定の作業項目で作業している時間を報告します。</p> <p>詳細については、はじめに: 時間管理を参照してください。</p>

ユースケースの例

プロジェクト管理モジュールを使用してプロジェクトを管理する場合、デマンド管理を使用してプロジェクトで発生する問題やリスクを追跡したり、財務管理を使用して予算を定義したり、コスト/ベネフィットを追跡したりすることもできます。以下は、これらのモジュールがどのように連携してプロジェクトを完了するかの例です。



基本

このセクションでは、PPMにログオンおよびログオフし、日常業務を実行するためにPPMを使用する方法について説明します。

PPMへのログオンとログオフ

標準インターフェイスは、ネットワーク経由でWebブラウザからアクセスできるPPM Webページのセットです。ログオンする前に、次のものがが必要です。

- PPM Webアドレス (URL)
- ユーザー名

- パスワード
- 少なくとも1つのPPM製品ライセンス

PPMにログオンするには、次の手順を実行します。

1. Webブラウザを開き、PPM Webアドレスを入力します。[PPMログオン] ページが開きます。

注記: PPMを使用する場合、画面解像度は少なくとも1024 x 768である必要があります。

2. 適切なフィールドにユーザー名、パスワード、セッション言語を入力します。

サーバーにパスワードを保持させたい場合は、**[ユーザ名を保存する]** チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにすると、ログオンするたびにパスワードを入力する必要がなくなります。

セッション言語の詳細については、[多言語ユーザーインターフェイス](#)を参照してください。

3. [PPMログオン] ページで、**[サインイン]** をクリックします。

Webページが開きます。初めてのユーザーには新しいパスワードの入力が求められる場合があります。

ログオフするには、次の手順を実行します。

- ページの右上隅にあるユーザーアイコンをクリックし、**[サインアウト]** をクリックします。

パスワードのリセット

パスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットして新しいパスワードを作成できます。前提条件:

1. 管理者が **[パスワードのリセットを有効にする]** 機能の切り替えをオンにしている。
2. 次の要件を満たす必要があります。
 - PPM認証ユーザーであり、
 - PPMアカウントの有効期限が切れていないこと、
 - ユーザー名に電子メールアドレスが割り当てられている。

パスワードをリセットするには、次の手順を実行します。

1. [PPMログイン] ウィンドウで、**[パスワードを忘れた場合]** リンクをクリックします。
[パスワードの変更] ページから [パスワードを忘れた場合] リンクを開くこともできます。
2. PPMユーザー名とユーザー名に割り当てられた電子メールアドレスを入力します。

注記: IDを使用してPPMにログオンする場合は、ユーザー名の代わりにIDを入力します。

3. **[送信]** をクリックします。

PPMは、PPMユーザー名に割り当てられた電子メールアドレスに電子メールメッセージを送信します。新しいパスワードを設定するには、メール内のリンクをクリックしてください。

4. 新しいパスワードを正常に設定すると、[PPMログイン] ウィンドウが開き、新しいパスワードを使用してログインできるようになります。

 参照:

- [19ページの「個人設定を設定する」](#)

メニューを参照する

このセクションでは、対象ページのメニューを参照する方法について詳しく説明します。

メインメニューと管理メニュー

以下のメニューが利用可能です。

メニュー	説明
メインメニュー	<p>すべてのユーザーが利用できます。リクエストの管理やタイムシートの送信など、日常的なアクティビティを実行するためのターゲットページへのアクセスを提供します。</p> <p>デフォルトでは、サイドナビゲーションを使用してメインメニューを移動します。[サイドナビゲーションメニュー] 機能の切り替えをオフにすると、トップナビゲーションを使用できます。ただし、トップナビゲーションは将来のバージョンでは廃止される予定なので、サイドナビゲーションを使用することをお勧めします。</p>

メニュー	説明
管理メニュー	<p>管理者または構成ロールを持つユーザーのみが利用でき、特定のアクセス許可が必要です。システム設定、ユーザーロール、アクセス制御、その他の管理タスクを管理するためのオプションを提供します。</p> <p>管理メニューにアクセスするには、マストヘッドの [管理] ボタンをクリックします。</p>

両方のメニューのメニュー項目は、プロジェクト管理やデマンド管理などのモジュール別に分類されています。

24.4にアップグレードした後のメニューの外観

アップグレード後、メニューは自動的にサイドナビゲーション構造に切り替わります。

- アップグレード前にメニューをカスタマイズしていなかった場合は、サイドナビゲーションがシームレスに適用されます。
- アップグレード前にメニューをカスタマイズしていた場合、カスタマイズ内容は次のようにサイドナビゲーションメニューに統合されます。

注記: `content/conf/menus`ディレクトリにある`update_menu.xml`ファイルと`delete_menu.xml`ファイル内のカスタマイズのみがサイドナビゲーションメニューにマージされます。他のディレクトリに配置されたカスタマイズは、アップグレード後にサイドナビゲーションメニューにマージされません。

- **開く、検索、および作成**メニューがトップレベルメニューとして追加されます。
- **開く**メニューには、ダッシュボードメニューを除くサイドナビゲーションメニュー項目が含まれます。
リクエスト、ポートフォリオ、グローバル戦略テーマ、What-if分析、およびチーム管理メニュー項目は、**開く**メニューの下の関連モジュールに移動され、それらのカスタマイズは保持されません。
- **検索**メニューは、**保存済み検索**項目を除いて、上部のナビゲーション構造と同じです。保存済み検索では、新しい検索のみを保存でき、以前に保存した検索を表示することはできません。完全な機能を使用するには、**[開く] > [デマンド管理] > [保存済み検索]**メニューに移動します。

- **作成**メニューは、以前に使用したリクエストタイプをリストしない**リクエスト**項目を除いて、上部のナビゲーション構造と同じです。完全な機能を使用するには、**[開く]** > **[デマンド管理]** > **[リクエストの作成]** メニューに移動します。

 参照:

- [メインメニューのカスタマイズ](#)

個人設定を設定する

[マイプロフィールの編集] ページで個人情報を更新したり、インターフェイス設定を調整したりできます。

一般設定

個人情報を変更し、個人のインターフェイス設定を設定します。

個人情報を変更し、個人のインターフェイス設定を変更するには、次の手順を実行します。

1. PPMにログオンします。
2. マストヘッドからユーザー画像をクリックし、[マイプロフィールの編集] をクリックします。
3. [マイプロフィールの編集] ページの **[全般]** タブで、必要に応じて次の設定を変更します。

領域	説明
パスワードの変更	パスワードを変更することができます。

領域	説明
個人を特定できる情報の変更	<p>この領域を使用して、シングルサインオンのセッション言語を設定し、個人情報を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none">• SSOのみ。シングルサインオン経由で接続するときにPPMで機能するようにセッション言語を設定するには、[言語] フィールドを使用します。選択した言語は、今後のすべてのシングルサインオンログインに適用されます。言語が設定されていない場合は、システム言語が使用されます。• [電子メールアドレス] フィールドと [電話番号] フィールドに電子メールアドレスと電話番号を追加します。• プロフィールに画像をアップロードするには、画像アイコンをクリックして画像を選択します。アップロードされた画像は自動的に保存されます。

領域	説明
非表示のメッセージダイアログ	警告メッセージを再表示できるようになります。 アプリケーションを使用すると、再度表示しないように選択できる警告メッセージが表示される場合があります。これらの警告メッセージを再表示する場合は、 [すべての警告メッセージを再表示] チェックボックスをオンにします。
プロジェクト作業計画プリファレンス	作業計画に一度に表示できるタスクの数を設定できます。詳細については、 作業計画ページサイズコントロール を参照してください。
ダッシュボードコスト表示	個人の通貨表示を設定できます。詳細については、 通貨表示のパーソナル設定 を参照してください。

地域設定

表示する日付、時刻、数値、通貨の希望の形式を選択します。詳細については、[通貨形式の設定](#)を参照してください。

チーム設定

チームのヒートマップ、デマンド、稼働率の色分けを設定します。詳細については、[チームのカラーリングをカスタマイズする](#)を参照してください。

通知の設定

これはベータ機能です。

管理者は、リクエストの承認やタイムシートの送信に関する通知など、さまざまなイベントやリマインダーの電子メール通知を設定できます。受信する通知を選択できますが、通知の種類が設定されていない場合は、スイッチを有効にしても通知は受信されません。

前提条件:

通知設定を構成するには、管理者が [電子メール通知のプリファレンス] 機能の切り替えを有効にする必要があります。詳細については、[機能の切り替えを使用した機能のオン/オフ](#)を参照してください。

通知を設定するには、次の手順を実行します。

1. [マイプロフィールの編集] ページで、[通知] タブをクリックします。
2. 受信したい通知のスイッチをオンにして、[保存] をクリックします。

 参照:

- [16ページの「パスワードのリセット」](#)
- [リクエストタイプの通知を構成する](#)
- [通知タブを構成する](#)

メニューとエンティティを検索する

検索ボックスを使用してPPMメニューを開くか、インスタンス内のすべてのモジュールでエンティティを検索します。

検索ボックスを使用してメニューまたはエンティティを検索するには、次の手順を実行します。

1. PPMのトップバナーで、検索ボタンをクリックします。
2. 検索文字列を入力してください。

検索文字列	説明
メニュー名	PPMメニューを検索するには、メニュー項目名の任意の部分を入力します。 たとえば、[リクエストの作成] メニューを検索するには、「リクエスト」と入力し、「リクエストの作成 (開く)」をクリックします。
リクエスト番号	リクエストを検索するには、リクエスト番号を入力します。 たとえば、番号12345のリクエストを検索するには、「"12345"」と入力します。 注記: リクエスト番号を使用してリクエストのみを検索できます。
キーワード	「@」に続けてエンティティ名の任意の部分を入力し、エンティティタイプを選択します。プロジェクト、プログラム、スタッフィングプロファイル、タスクなどのエンティティを検索できます。 たとえば、名前に「test」が含まれるプロジェクトを検索するには、「"@test"」と入力し、「プロジェクトの検索: test」をクリックします。

 参照:

- [デマンド管理](#)
- [プロジェクトの計画](#)
- [プログラムを開始する](#)

Navigatorで項目を検索し、レポートを送信する

Navigatorは、対話することでメニューやエンティティを検索したり、レポートを送信したりできるインテリジェントアシスタントです。

注記: Navigatorは英語セッションでのみ利用可能です。

前提条件

Navigatorを使用するには、次の要件を満たしていることを確認してください。

- オペレーティングシステムは64ビットである必要があります。
- オペレーティングシステムのlibc.so.6ライブラリのバージョンは2.14以降である必要があります。

- 管理者は**ENABLE_NAVIGATOR**パラメーターを**true**に設定して有効にする必要があります。詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

Navigatorにアクセスする

Navigatorにアクセスするには、PPMのトップバナーで、**[Navigator]** ボタンをクリックします。

- Navigatorを初めて開くと、ダイアログボックスに最近開いたページが表示されます。

注記: [マイリンク] リストに追加されたページと保存済み検索は表示されません。詳細については、[26ページの「ページをブックマークしてホームページに設定する」](#) および[検索を保存する](#)を参照してください。

- Navigatorを閉じた後に再度開くと、最近のチャットが表示されます。ダイアログボックスの上部にある **[チャットのクリア]** をクリックすると履歴をクリアでき、最近開いたページが表示されます。

提案されたリンクのリストからリンクをクリックして、対象のページを開きます。

メニューまたはエンティティを検索する

Navigatorを操作してメニュー項目またはエンティティを検索します。

Navigatorを使用してメニュー項目またはエンティティを検索するには、次の手順を実行します。

- Navigatorチャットボックスに検索文字列を入力し、**[送信]** ボタンをクリックするか、**ENTER**キーを押します。

文字列	説明
メニュー項目名	PPMメニューを検索するには、メニュー項目名の任意の部分を入力します。 入力すると、入力内容とアクセス許可に基づいて候補が表示されます。候補リストからリンクをクリックすると、ターゲットメニューが開きます。 たとえば、[新規リクエストの作成] メニューを開くには、「 リクエスト 」と入力し、候補リストから「 リクエストの作成 (開く) 」をクリックします。

文字列	説明
リクエスト番号	<p>リクエストを検索するには、リクエスト番号を入力します。</p> <p>たとえば、番号12345のリクエストを検索するには、「"12345"」と入力します。</p> <p>注記: リクエスト番号を使用してリクエストのみを検索できます。</p>
スラッシュ (/) + キーワード	<p>リクエスト、プロジェクト、プログラム、スタッフィングプロファイル、またはタスクを検索するには、スラッシュ (/) の後にエンティティ名または説明の一部を入力します。</p> <p>入力すると、入力内容とアクセス許可に基づいて候補が表示されます。提案されたリンクをクリックすると、検索を特定のエンティティタイプに限定できます。</p> <p>たとえば、名前または説明に「test」が含まれるリクエストを検索するには、「"/test"」と入力し、ENTERを押して、検索結果から結果をクリックして詳細を表示します。</p>

レポートの送信

Navigatorを操作することで、レポートを送信したりダウンロードしたりできます。

注記: これはベータ機能です。

前提条件:

管理者は、[**Navigatorを使用してレポートを送信**] 機能の切り替えをオンにして、この機能の使用を有効にします。

レポートを送信するには、次の手順を実行します。

1. Navigatorチャットボックスに、実行するレポートの名前を入力します。Navigatorは、文字列を含み、アクセス権を持つレポートを返します。
2. リストから対象レポートを選択し、[**レポートの作成**] ウィンドウでレポートの詳細を入力して、[**送信**] をクリックします。レポートの送信の詳細については、[レポートの実行](#)を参照してください。
3. レポートが完成したら、Navigatorダイアログボックスから直接ダウンロードできます。



- [デマンド管理](#)
- [プロジェクトの計画](#)
- [プログラムを開始する](#)
- [22ページの「メニューとエンティティの検索」](#)

ページをブックマークしてホームページに設定する

特定のページを頻繁にアクセスする場合は、これらのページにすばやくアクセスできるように [マイリンク] リストを作成できます。管理者が許可している場合は、これらのページのいずれかを個人のホームページとして設定し、ログイン時にこのページに直接アクセスできるようにすることができます。

[マイリンク] リストにページを追加する

[マイリンク] リストにページを追加します。

[マイリンク] リストにページを追加するには、次の手順を実行します。

1. 追加するページを開き、マストヘッドの **[マイリンクにこのページを追加]** をクリックします。
2. **[マイリンクの追加]** ダイアログボックスで、ページの名前と説明を入力します。
3. ページを [マイリンク] リストに追加するには、**[OK]** をクリックします。

注記: デフォルトでは、最大100ページを [マイリンク] リストに追加できます。管理者は、**MY_LINKS_MAX_COUNT** パラメーターを変更することで最大数を変更できます。

[マイリンク] リストのページを管理する

[マイリンク] リスト内のページ順序を変更したり、[マイリンク] リストからページを削除したりできます。

ページの順序を変更するには、次の手順を実行します。

1. メインメニューから、**[マイリンク]** を選択します。
2. 対象ページを**マイリンク**領域内にドラッグアンドドロップして、順序を変更します。

[マイリンク] リストからページを削除するには、次の手順を実行します。

1. **マイリンク**領域で、削除するページにマウスを置きます。
2. 表示される **[その他]** をクリックします。
3. **[削除]** をクリックし、**[はい]** をクリックして確定します。

注記: ページがホームページとして設定されている場合、そのページを **[マイリンク]** リストから削除してもホームページとしての設定は解除されず、引き続きホームページとして使用されます。

ホームページを設定する

ホームページは、ログイン後に最初に表示されるページです。作業中のプロジェクトの詳細ページなど、**[マイリンク]** リストからページを個人のホームページとして設定できます。デスクトップクライアントとモバイルクライアントの両方にホームページを設定できます。

前提条件:

- デスクトップクライアントのホームページを設定するには、管理者がデスクトップのランディングページを選択できるようにする必要があります。詳細については、[ユーザーがデスクトップのランディングページを選択できるようにする](#)を参照してください。
- モバイルクライアントのホームページを設定するには、管理者がモバイルランディングページを選択できるようにする必要があります。詳細については、[ユーザーがモバイルのランディングページを選択できるようにする \(ダッシュボードページのみ\)](#)を参照してください。

ホームページを設定するには、次の手順を実行します。

1. **マイリンク**領域で、デスクトップまたはモバイルクライアントのホームページとして設定するページにマウスを置きます。
 - デスクトップクライアントの場合、読み取りアクセス権を持つ任意のページをホームページとして設定できます。

- モバイルクライアントの場合、読み取りアクセス権を持つダッシュボードページ (非公開または共有) のみをホームページとして設定できます。
2. **[その他]** ボタン  をクリックし、**[デスクトップのホームページとして設定]** または **[モバイルのホームページとして設定]** を選択します。
 - デスクトップのホームページとして設定されたページには、 アイコンが表示されます。
 - モバイルのホームページとして設定されたページには、 アイコンが表示されます。
 - デスクトップとモバイルの両方のホームページとして設定されたページには、 アイコンが表示されます。

ホームページの設定を解除するには、次の手順を実行します。

1. **マイリンク**領域で、ホームページにマウスを置きます。
2. **[その他]** ボタンをクリックして、**[デスクトップのホームページの設定を解除]** または **[モバイルのホームページの設定を解除]** を選択します。

 参照:

- [ランディングページの設定](#)

共通UI要素

このセクションでは、PPMの共通UI要素について説明します。

- [「グリッドビュー」](#)
- [30ページの「ガントチャート」](#)
- [32ページの「メモ領域」](#)
- [33ページの「添付ファイル」](#)

グリッドビュー

このセクションでは、グリッドビューの操作方法について説明します。

概要

グリッドビューでは、データを表形式で柔軟に表示できます。表示モードは**リスト**と**ピボット**の2つがあります。リストモードでは、データは行と列に表示されます。ピボットモードでは、データの多次元集計を表示する方法が提供されます。

グリッドビューは、次のPPMコンポーネントで使用されます。

- テーブルコンポーネント
- 改良されたピボットテーブルポートレット
- セルフサービスポートレット

グリッドビューの [列] タブを操作する

グリッドビューの [列] タブを使用して、列の表示と非表示を切り替え、データのグループ化と集計の方法を構成します。

1. 右側の [列] をクリックして、[列] タブを開きます。
2. ピボットモードを使用する場合は、[ピボットモード] トグルをオンにします。

ピボットモードを使用すると、データを多次元の表形式で表示できます。

3. 表示する列を選択し、非表示にする列の選択を解除します。
4. 次のセクションを使用して、データをグループ化および集計する方法を指定します。

セクション	説明
行グループ	行ディメンションでデータをグループ化するフィールドを選択します。データはカテゴリごとに1行表示されます。カテゴリはデータソースの値によって決定されます。 グループ化の順序を変更するには、フィールドを上または下に移動します。
値	集計するフィールドを選択し、値を集計する方法を指定します。 a. 集計するフィールドを「値」セクションにドラッグします。 b.  をクリックし、ドロップダウンリストから集計関数を選択します。

セクション	説明
列ラベル	<p>ピボットモードでのみ使用できます。</p> <p>列ディメンションでデータをグループ化するフィールドを選択します。データはカテゴリごとに1列表示されます。</p> <p>カテゴリはデータソースの値によって決定されます。</p>

グリッドビューの [フィルター] タブを操作する

表示されるデータをフィルタリングするには、グリッドビューの **[フィルター]** タブを使用します。

1. 右側の **[フィルター]** タブをクリックします。
2. データをフィルタリングするフィールドの下矢印をクリックします。
3. 表示する値の前のチェックボックスを選択します。

数値フィールドの場合は、まずフィルター条件を選択し、次にフィルターフィールドに値を入力します。

ガントチャート

PPMはバージョン9.65でガントチャートの一部を改良しました。新しいガントチャートは新しいモダンな外観を提供し、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。

新しいガントチャートが使用される場所

新しいガントチャートは、次のPPMコンポーネントで使用されます。

- プロジェクトガントポートレット
- リソースのガントポートレット
- プロジェクトタイムラインポートレット
- 資本化されたプロジェクトタイムラインポートレット
- [リソースの表示] ページのリソースガントチャート: [キャパシティ/負荷] タブ
- [シナリオ詳細] ページのガントチャート: [タイムライン] タブ

新規ガントチャートと旧ガントチャート

次の表は、新規ガントチャートと旧ガントチャートの違いを示しています。

ポートレット	新規ガントチャート	旧ガントチャート
プロジェクトガントポートレット	<ul style="list-style-type: none"> サマリータスクとリーフタスクは同じ凡例を使用します。サマリータスクの前には三角形があり、サマリータスクを展開してその下のリーフタスクを表示できます。 タスクのアイコンを追加します。 	<ul style="list-style-type: none"> サマリータスクとリーフタスクは、異なる凡例によって区別されました。 タスクのアイコンがありません。
リソースガントポートレット リソースガントチャート	<p>タスク、リクエスト、スタッフィングプロファイルは、前面のアイコンで区別されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「T」はタスク 「RQ」はリクエスト 「SP」はスタッフィングプロファイル 	<ul style="list-style-type: none"> タスク、リクエスト、およびスタッフィングプロファイルは、異なる色で区別されました。 タスク、リクエスト、スタッフィングプロファイルのアイコンがありません。
プロジェクトタイムライン ポートレット	<ul style="list-style-type: none"> ポートレットに凡例を表示します。 プロジェクトの進行状況と例外(ある場合)をバーに表示します。 プロジェクトのアイコンを追加します。 	<ul style="list-style-type: none"> ポートレットに凡例がありません。 プロジェクトの進行状況と例外がバーに表示されませんでした。 プロジェクトのアイコンがありません。
資本化されたプロジェクト タイムラインポートレット	<ul style="list-style-type: none"> ポートレットに凡例を表示します。 バーにプロジェクトの進行状況を表示します。 プロジェクトのアイコンを追加します。 	<ul style="list-style-type: none"> ポートレットに凡例がありません。 バーにプロジェクトの進行状況が表示されませんでした。 プロジェクトのアイコンがありません。

ポートレット	新規ガントチャート	旧ガントチャート
[シナリオ詳細] ページの ガントチャート	プロジェクト、提案、 資産は前面のアイコン で区別されます。 <ul style="list-style-type: none"> 「PJ」はプロジェクト 「PP」は提案 「AS」は資産 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト、提案、資 産は色で区別されまし た。 プロジェクト、提案、資 産のアイコンがありま せん。

新しいガントチャートの既知の問題:

- Firefoxでプロジェクトガントポートレットを含むダッシュボードページをPDFにエクスポートすると、ブラウザーのパフォーマンスが低下する可能性があります。
- ガントチャートはモバイルデバイスでは完全には表示されないため、右側の部分を表示するには左にスワイプする必要があります。

メモ領域

PPM内のエンティティにメモを追加して、追加情報を取得できます。

メモ領域のあるエンティティ

以下は、追加情報を取得するためのメモ領域を含むPPMエンティティの一部です。ここに記載されていないが、メモがあるその他のエンティティについては、ヘルプセンターの関連セクションに記載されています。

- リクエスト
- プロジェクト
- プログラム
- スタッフィングプロファイル
- 財務サマリ
- タイムシート

メモ領域のリッチテキスト形式

[ユーザメモにリッチテキストを使用する] 機能の切り替えをオンにすると、メモ領域に画像、リンク、書式設定テキストを追加できます。

メモ領域に画像やリンクを追加したり、リッチテキストを適用したりした後、機能の切り替えをオフにすると、画像、リンク、書式設定のないテキストのみが残ります。

添付ファイル

このトピックでは、添付ファイルの操作方法について説明します。

添付ファイルを追加する

エンティティのユーザーデータフィールド (1つ以上のユーザーデータフィールドが作成されている) にファイルを添付したり、参照をサポートする任意のエンティティへの参照として添付したりできます。

ユーザーデータフィールドに添付ファイルを追加するには、次の手順を実行します。

1. ドキュメントを添付するユーザーデータフィールドを持つエンティティを開くか作成します。

注記: エンティティのユーザーデータフィールドに添付ファイルを追加するには、そのフィールドの検証値が**添付ファイル**に設定されている必要があります。ユーザーデータフィールドの詳細については、[ユーザーデータを構成する](#)を参照してください。

2. ユーザーフィールドの添付ファイルセクションで、**[追加]** をクリックします。
3. **[ファイル]** フィールドで、**ファイルの選択** をクリックして、添付するファイルを選択します。

注記: 指定するファイルは、OpenText Project and Portfolio Management Centerサーバー上のディレクトリに存在する必要があります。

4. オプションで、添付ファイルに次の情報を入力します。

フィールド	説明
初期バージョンのコメント	ファイルの初期バージョンに関するメモを入力します。
作者	ファイルの作成者名を入力します。
説明	ファイルの説明と目的を入力します。

フィールド	説明
キーワード	<p>他のユーザーがそれらの用語を含む添付ファイルを持つエンティティを見つけられるように、いくつかのキーワードを指定します。キーワードは、指定されたキーワードでのみ検索可能な画像などのテキスト以外のファイルを検索する場合に不可欠です。</p> <p>フルテキストインデックスの詳細については、データベースベースDMSソリューションにおける全文検索の構成を参照してください。</p>

5. **[追加]** をクリックします。

ドキュメントが添付され、エンティティページの **[ユーザーデータ]** セクションにリストされるようになります。

6. オプションで、**[置換]** をクリックして、アップロードしたファイルを置換または削除できます。

[ドキュメントの置換] ウィンドウで、次の操作を実行します。

- ドキュメントを削除するには、**[ドキュメントの削除]** をクリックし、**[OK]** をクリックして確定します。
- ドキュメントを置き換えるには、次の手順を実行します。
 - i. **[ファイル]** フィールドに、添付するファイルの完全なディレクトリパスを入力します。または、**[参照]** をクリックして、ファイルまで移動して選択することもできます。
 - ii. 必要に応じて他のフィールドに情報を入力します。
 - iii. **[置換]** をクリックします。

7. **[保存]** をクリックします。

エンティティに添付ファイルを参照として追加するには、次の手順を実行します。

1. 添付ファイルを追加するエンティティを開きます。
2. **[参照]** セクションを展開するか、**[参照]** タブに移動します。
3. **[新規参照]** リストで **[添付ファイル]** を選択し、**[追加]** をクリックします。
4. **[ファイル]** フィールドで、**ファイルの選択** をクリックして、添付するファイルを選択します。

注記: 指定するファイルは、OpenText Project and Portfolio Management Centerサーバー上のディレクトリに存在する必要があります。

5. 必要に応じて、添付ファイルのその他の情報を入力します。詳細については、[フィールドの詳細](#)を参照してください。
6. **[追加]** をクリックします。**[保存時に追加される参照]** フィールドに、指定したドキュメントファイルが一覧表示されます。
7. **[保存]** をクリックします。

[保存] をクリックした後にドキュメント管理システムに読み込まれたドキュメントは、エンティティページの **[添付ドキュメント]** セクションにリストされるようになりました。

添付ドキュメントに表示される情報には、次のものも含まれます。

- ドキュメントのバージョン、サイズ、作成者
- ドキュメントをチェックアウトした人 (いる場合)
- ドキュメントが最後にチェックインされた日時と担当者

添付ファイルの編集、チェックアウト、およびチェックイン

添付ファイルを編集したり、添付ファイルをチェックアウトおよびチェックインしたりできます。

添付ファイルを編集、チェックアウト、またはチェックインするには、次の手順を実行します。

1. 添付ファイルを編集、チェックアウト、またはチェックインするエンティティを開きます。
 - 添付ファイルがユーザーデータフィールドに追加される場合は、ユーザーフィールドセクションを展開します。
 - 添付ファイルが参照としてエンティティに追加される場合は、**[参照]** セクションを展開し、**[添付ドキュメント]** セクションを展開します。
2. 対象の添付ファイルの **[アクション]** ボタンをクリックし、**[ドキュメントアクション]** ウィンドウで次のアクションを実行します。

アクション	詳細
添付ファイルの情報を編集する	次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">a. [詳細の編集] をクリックし、添付ファイル情報に必要な変更を加えます。b. [完了] をクリックします。

アクション	詳細
添付ファイルのチェックアウトとチェックイン	<p>次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. [チェックアウト] をクリックします。 添付ファイルがマシンに保存され、[ドキュメントアクション] ウィンドウが閉じます。 b. 変更が完了したら、ドキュメントを既知の場所に保存して閉じます。 c. 同じエンティティページで、ユーザーフィールドの添付ファイルセクションまたは [添付ドキュメント] セクションで、チェックインするドキュメントの [アクション] ボタンをクリックします。 [ドキュメントアクション] ウィンドウが再び開きます。 [チェックイン] ボタンが表示されるようになりました。 d. [チェックイン] をクリックします。 エンティティページの [追加された参照] セクションで、表示されるドキュメントのバージョン番号が1つ増加していることに注意してください。

添付ファイルのプレビューとダウンロード

添付ファイルの詳細をプレビューしたり、添付ファイルをマシンにダウンロードしたりできます。

添付ファイルをプレビューおよびダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. 添付ファイルをダウンロードするエンティティを開きます。
 - 添付ファイルがユーザーデータフィールドに追加される場合は、ユーザーフィールドセクションを展開します。
 - 添付ファイルが参照としてエンティティに追加される場合は、**[参照]** セクションを展開し、**[添付ドキュメント]** セクションを展開します。
2. 次のアクションを実行します。

アクション	詳細
添付ファイルをダウンロード	次のいずれかを行います。 <ul style="list-style-type: none"> 添付ファイルを1つダウンロードするには、添付ファイルの名前をクリックします。 すべての添付ファイルをzipファイルでダウンロードするには、[すべてダウンロード] をクリックします。
添付ファイルの詳細をプレビューする	添付ファイルの [アクション] ボタンまたは [詳細] ボタンをクリックします。添付ファイルの拡大プレビューが [ドキュメントアクション] ウィンドウに表示されます。 <p>注記:</p> <p>プレビューできるファイルの種類は、txt、css、conf、html、htm、xml、js、jsp、json、java、properties、yml、bat、xsl、sql、sh、log、jpg、jpeg、png、gif、webp、svg、ico、bmp、pdf、mp3、wav、mp4、webm、oggです。</p>

添付ファイルのキーワードでエンティティを検索する

添付ファイル内のキーワードでエンティティを検索できます。アプリケーションは、作成者、説明、キーワード、ファイル名、バージョンコメントなどのファイルの内容とプロパティを検索します。プロパティ検索はすべてのテキストおよびバイナリドキュメントに適用されますが、コンテンツ検索はテキストベースのドキュメントに限定されます。

ドキュメントキーワードを使用してエンティティを検索するには、次の手順を実行します。

1. エンティティ検索ページを開きます。
2. **[ドキュメントキーワード]** フィールドに、検索条件として使用する1つ以上の単語をスペースで区切って入力します。

注記: キーワード検索では大文字と小文字は区別されません。

[<Entity_Name> 検索結果] セクションには、検索用語がすべて含まれる添付ファイルのみがリストされます。たとえば、「development test」の検索は、「development」と「test」として扱われます。ドキュメントが一致とみなされるには、そのコンテンツまたは説明フィールドに「development」と「test」の両方が含まれている必要があります。「development」または「test」のいずれかを含むドキュメントを検索するには、「development OR test」と入力します。

検索用語を指定する他の方法については、[検索用語](#)を参照してください。

3. [検索] をクリックします。

検索すると、検索語に一致するキーワードを含む1つ以上の添付ファイルを持つすべてのエンティティ (選択したタイプ) のリストが返されます。添付したドキュメントは、数分経たないと検索結果ページに表示されない場合があります。

コンテンツ検索でドキュメントを見つけるには、まずドキュメントのコンテンツをインデックス化する必要があります。TEXTインデックスの作成の詳細については、[Oracle TEXTインデックスの作成と管理](#)を参照してください。

検索用語

AND演算子とOR演算子に基づく検索に加えて、正確なフレーズを検索したり、キーワードに基づいてドキュメントを除外したり、クエリを組み合わせる検索したりすることもできます。次の表は、これらの検索タイプのキーワードを指定する方法の詳細を示しています。

検索用語	詳細
"AND" クエリ	<p>複数のキーワードを含むドキュメントを検索する場合は、検索語の間に "and" (大文字と小文字は区別されません) または "&" という文字を挿入できます。ドキュメントが一致とみなされるためには、指定されたすべての単語がドキュメントコンテンツまたはドキュメントプロパティに存在している必要があります。ドキュメントが一致しているとみなされるためには、キーワードが一緒になっている必要も、入力された順序になっている必要もありません。</p> <p>例: greece and olympic; Greece & olympic</p>
フレーズで検索	<p>デフォルトでは、各クエリは「フレーズ」クエリです。特定のフレーズ、または特定の順序の単語のセットを含む添付ファイルを検索できます。</p> <p>例: gold medal</p>

検索用語	詳細
特定のテキスト文字列を含む添付ファイルを除外する	<p>特定の単語を含むドキュメントを明示的に除外するには、キーワードの前にNOT (~) 記号を付けます。この方法では、指定した単語を含むすべてのドキュメントは、クエリ内の他のキーワードと一致していても、結果から除外されます。</p> <p>検索から単語だけでなくフレーズも除外できます。</p> <p>たとえば、「greece」を含むドキュメントを含め、「olympic」を含むドキュメントは含めない場合は、「greece ~olympic」と入力します。</p> <p>注記: 検索から除外する単語 (先頭に「~」記号が付く) は、単独で出現したり、指定したキーワードのテキスト文字列の先頭に出現したりしないでください。たとえば、「~olympic」または「~olympic greece」を検索すると、エラーが返される可能性があります。</p>
"OR" クエリ	<p>異なる2つのキーワードのいずれかを含むドキュメントを検索するには、検索単語間に単語 "or" (大文字と小文字は区別されません) または文字 " " を挿入します。この場合、いずれかのキーワードが見つければ、ドキュメントは一致と見なされます。</p> <p>例: volleyball or softball; volleyball softball</p>
複合検索	<p>"AND"、"OR"、および "~" クエリを組み合わせて、ドキュメントの組み合わせ検索を実行できます。"AND" と "OR" の両方のクエリを含むドキュメントを検索する場合は、サブクエリを括弧 "(" と ")" で囲むようにしてください。たとえば、A and (B C)。</p> <p>例: gold medal and (volleyball softball)</p>
過去のバージョンの検索	<p>[過去のバージョンの検索] オプションを使用すると、現在のバージョンの全文検索 (ドキュメントコンテンツとドキュメントプロパティを含む) に加えて、ドキュメントの過去のバージョンのコンテンツとバージョンコメントの両方またはいずれかを検索できます。</p>

 参照:

- [リクエストへの参照の追加](#)

PPMサポートマトリックス

このセクションでは、PPMを実行するために必要なシステム要件と、サポートされているオペレーティングシステム、ブラウザ、テクノロジー、およびその他のサードパーティ製品を一覧表示します。

リリースの詳細と日付については、[製品サポートライフサイクルページ](#)を参照してください。製品サポートライフサイクルポリシーは、各製品バージョンに提供されるサポートのレベルを定義します。

サポートマトリックスと統合カタログの最新バージョンにオンラインでアクセスします。

ドキュメント	リンク
サポートマトリックス	PPM 24.4サポートマトリックス
統合カタログ	統合ソリューションの互換性マトリックス
ハードウェア要件	サイズに関する推奨事項

注記: PPMのお客様は、ますます多様化する環境 (オンプレミス、クラウドなど) でPPMを実行します。システム要件と互換性マトリックスは、最新の情報で継続的に更新されます。ただし、企業プラットフォームとクラウドサービスは急速に変化しているため、利用可能なすべてのプラットフォームを正式に認定することはできません。このため、PPMを実行するプラットフォームの特定のバージョンがこの互換性マトリックスにリストされていない場合は、[PPMディスカッションフォーラム](#)でサポートできるかどうかを問い合わせることができます。

 参照:

- [PPM 24.3サポートマトリックス](#)
- [PPM 24.2サポートマトリックス](#)
- [PPM 24.1サポートマトリックス](#)

PPM統合

PPMは、他のOpenText製品およびサードパーティ製品との統合ソリューションを提供します。

製品	統合
アジャイルツール <ul style="list-style-type: none"> • ALM Octane • Atlassian JIRA • CA Rally • VersionOne • Notion • Smartsheet • ServiceNow • Azure DevOps 	<ul style="list-style-type: none"> • ALM Octaneとの統合 • Atlassian JIRAとの統合 • CA Rallyとの統合 • VersionOneとの統合 • NotionからPPM作業計画へのタスクのインポート (ベータ版) • SmartsheetからPPM作業計画へのタスクのインポート (ベータ版) • PPMとServiceNowの統合 • Microsoft Azure DevOpsとの統合
Quality Center / Application Lifecycle Management	<ul style="list-style-type: none"> • PPMリクエストのQC/ALMの不具合や要件との統合 • PPMプロジェクトとALMリリースとの統合 • PPMタスクとALMリリースとの統合
Microsoft Project	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクト管理とMicrosoft Projectとの統合
Service Manager	<ul style="list-style-type: none"> • PPMリクエストとService Managerの変更点との統合 • PPMタスクとService Manager RFCとの統合
Universal CMDB	<ul style="list-style-type: none"> • PPMとUniversal CMDBとの統合 • PPMとUniversal CMDB for Service Portfolioとの統合 • APMとUniversal CMDBとの統合
Release Control	<ul style="list-style-type: none"> • PPMとRelease Controlとの統合

その他のヘルプ

ここでは、さらに詳しいヘルプが必要なユーザー向けに、OpenText製品を最大限に活用するための方法をいくつか紹介します。

 サポート	製品に関するサポートが必要なお客様 サポート にアクセスすると、サポートインシデントのオープンやバグの送信を行えます。また、多くの役立つサポートリソースを参照することもできます。
 Idea Exchange	機能の提案や機能拡張の要望があるお客様 PPMアイデア交換 では、アイデアの投稿、投稿への投票、同僚、パートナー、製品チームとの共同作業を行えます。
 コミュニティ	製品に関する質問のヒントと回答を探しているお客様 製品のディスカッションフォーラムに参加して、 コミュニティ の膨大なナレッジプールを活用してください。多くの異なる重点分野をカバーするブログもあります。
 トレーニングと教育	トレーニングコースに興味があるお客様 ラーニングサービス で利用可能なトレーニングおよび教育オプションを表示および検索します。
 ドキュメントのフィードバック	ヘルプトピックに関するサポートが必要なお客様 ヘルプセンターのエクスペリエンスを改善する方法を教えてください。特定のトピックに関するフィードバックを送信するか、ヘルプセンターのフッターにある ヘルプセンターに関するフィードバックの送信 をクリックして質問してください。

新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 24.4で導入されました。

サイドナビゲーションメニュー

このリリースでは、エンドユーザーと管理者向けにそれぞれ2つの独立した新しいデザインのサイドナビゲーションメニューセットが導入され、すべてのロールでより簡単なナビゲーションが実現します。

- エンドユーザーと管理者用の別々のサイドナビゲーションメニューエントリ (エンドユーザー用のメインメニュー☰、管理者用の管理⚙️メニュー)。
- 両方のサイドナビゲーションメニューセットは、製品モジュール別に整理されています。

詳細については、[メニューを参照する](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

Web UIから リクエストヘッダー タイプを構成する	Workbenchを開かなくても、Web UIからリクエストヘッダータイプを構成できるようになりました。 詳細については、 Web UIからリクエストヘッダータイプを構成する を参照してください。
Web UIから リクエストセクション を構成する	Web UIからリクエストタイプフィールドを構成するときに、セクション間でフィールドを移動したり、新しいセクションを追加したり、セクションの位置を調整したりできるようになりました。 詳細については、 リクエストタイプフィールドレイアウトの構成 (WebUI) を参照してください。
相互フィールドで 関連するリクエストを 指定する	関連するリクエストを表示するためのリクエストカスタムタブを追加する場合、相互フィールドによって関係を指定できます。 詳細については、 相互フィールドを使用 を参照してください。

Web UIから リクエストタイプの 編集アクセスを 構成する	Web UIから特定のリクエストタイプを編集できるユーザーグループを構成できるようになりました。 詳細については、 セキュリティ を参照してください。
リクエストの 検索ページの 新しいフィルター	新しい [リクエストフィールドの変更履歴の内容] フィルターを使用すると、フィールド変更履歴に含まれるキーワードでリクエストを検索できます。 詳細については、 一般的なリクエストフィールド値によるリクエストの検索 を参照してください。
テキスト領域 フィールドの リアルタイム文字数 カウント	テキスト領域フィールドを編集するときに、文字数制限と比較したリアルタイムの文字数が表示されるようになりました。

Web UIからメニューをカスタマイズする

Web UIからメニューをカスタマイズできるようになりました。これには、メニュー項目の追加、編集、移動、およびメニューのエクスポートとインポートが含まれます。

この機能を使用するには、[\[サイドナビゲーションメニュー\]](#) 機能の切り替えをオンにします。

詳細については、[Web UIからメニューをカスタマイズする](#)を参照してください。

ダウンロード前にファイルをプレビューする

添付ファイルやサーバーディレクトリファイルをダウンロードする前にプレビューできるようになりました。

詳細については、[添付ファイルのプレビューとダウンロード](#)および[個々のファイルのプレビューとダウンロード](#)を参照してください。

既存のプログラムに変更を反映する

プログラムタイプを構成して、概要のレイアウトの変更をそのタイプの既存のすべてのプログラムに反映できるようになりました。変更内容は次のとおりです。

- 選択したポートレットをプログラムに追加。
- プログラムの概要レイアウト設定をリセット。

詳細については、[すべてのプログラムにポートレットを追加](#)および[既存のプログラムの概要のレイアウトをリセット](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

取り消されたリソースリクエストに関する通知を制御する	リソースプールからリソースリクエストが取り消されたときに通知を送信するかどうかを選択できるようになりました。 詳細については、 リソースプール通知を変更する を参照してください。
スタッフィングプロファイルステータスによるポジションの検索	予測デマンドを管理する際に、新しい スタッフィングプロファイルステータス フィルターを使用してポジションを検索できるようになりました。これにより、特定のスタッフィングプロファイルからのデマンドに焦点を絞ることができます。 詳細については、 検索フィルター を参照してください。

ポートレットの機能拡張

ポートレットに次の更新が追加されました。

セルフサービスポートレットでデータの視覚化をカスタマイズするオプション	セルフサービスポートレットでは、以下のカスタマイズがサポートされるようになりました。 <ul style="list-style-type: none">サンキーダイアグラムのヒントクラスタグラフ、積み上げグラフ、円グラフ、ドーナツグラフの色 これらのオプションにより、ニーズに合わせてデータを視覚化するための柔軟性が向上します。 詳細については、 ヒント および 色設定 を参照してください。
セルフサービスポートレットの新しいデータソース: スタッフィングプロファイル統計	スタッフィングプロファイル統計 データソースを使用して、スタッフィングプロファイルまたはチームのデマンドと履行データを表示できるようになりました。これにより、スタッフィングプロファイルとチーム分析の柔軟性が向上します。 詳細については、 スタッフィングプロファイル統計 を参照してください。

セルフサービスポートレットのグリッドビューでリクエスト番号がクリック可能に	リクエストタイプフィールドをセルフサービスポートレットデータソースとして使用すると、グリッドビューの [リクエスト番号] フィールドがクリック可能になり、リクエストの詳細ページが開きます。 詳細については、 リクエストタイプからポートレットデータソースを作成する を参照してください。
開発モードでHTML+ポートレット定義をコピーする	本番モードと開発モードの両方でHTML+ ポートレット定義をコピーできるようになりました。これにより、新しい変更を展開する前に、現在の定義のコピーを保存できます。 詳細については、 ポートレット定義のコピー を参照してください。

個人設定の更新

次の個人設定を設定できるようになりました。

マイリンクからホームページを設定する	ランディングページの名前が ホームページ に変更され、 [マイリンク] リストから設定されるようになりました。 詳細については、 ホームページを設定する を参照してください。
通知プリファレンスの設定	[マイプロフィールの編集] ページでは、通知オプションがモジュール別に分類されており、通知を受け取るイベントを選択できます。 注記: これはベータ機能です。 詳細については、 通知の設定 を参照してください。

カスタム企業ロゴがSVGファイルをサポート

カスタム企業ロゴも .SVGファイルをサポートするようになりました。

詳細については、[企業ロゴの変更](#)を参照してください。

機能切り替えの更新

次の新しい機能の切り替えを使用して、機能の使用を制御できるようになりました。

機能の切り替え	説明
Navigatorを使用してレポートを送信	Navigatorによるレポート送信を有効または無効にします。
ダッシュボードをPowerPoint (PPTX) にエクスポート	ダッシュボードのPowerPointへのエクスポートを有効または無効にします。

詳細については、[レポートの送信](#)および[ダッシュボードページのエクスポート](#)を参照してください。

作業計画にWBSを表示する

作業計画のクイックビューでWBS (作業の内訳) 情報を表示できるようになりました。これにより、タスク構造とプロジェクトコンポーネントをよりよく理解できるようになります。

この情報を表示するには、クイックビューで **[WBS]** 列を選択します。

詳細については、[クイックビュー](#)を参照してください。

PPM - Jira統合の更新

作業計画タスクをJiraプロジェクトと統合する場合、管理者は同期用のデータを取得するJira課題タイプを構成できるようになりました。これにより、作業計画タスクと同期する特定のデータを選択する際の柔軟性が向上します。

詳細については、[作業計画統合オプション](#)を参照してください。

拡張オペレーティングシステムサポート

このリリースには、Amazon Linuxバージョン2003のサポートが含まれるようになりました。

詳細については、[サポートマトリックス](#)を参照してください。

新しいREST API

次の新しいREST APIを使用してタイムシートを管理できるようになりました。

REST API	説明
POST/tm/timeSheets/{timesheetId}/actions/freeze	特定のタイムシートを固定します。
POST/tm/timeSheets/{timesheetId}/actions/close	特定のタイムシートを閉じます。

詳細については、[対話型REST APIヘルプ](#)を参照してください。

OracleディクショナリビューでSQLクエリを実行する

SQL Runnerを使用すると、Oracleデータベースのデータディクショナリビューに対してクエリを実行できるようになりました。

詳細については、[標準インターフェイスからSQLクエリを実行する](#)を参照してください。

ユーザーインポートの更新

ユーザーのインポートレポートによって既存のユーザーが無効にされているかどうかに関係なく、ユーザーをインポートするときに保護された使用は常にアクティブなままになります。これにより、SaaS管理者などの重要なアカウントが、各インポート後にアクティブな状態を維持し、アクセス可能になります。

詳細については、[保護されたユーザーの指定およびインポートされていないユーザーの無効化](#)を参照してください。

ヘルプセンターのデザインを更新

新しいデザインには新しいサイドメニュー構造が含まれており、トピックの可視性が高まり、ナビゲーションが簡単になります。オンラインヘルプのレイアウト問題を解決するには、**Ctrl+F5**を押してブラウザを強制更新します。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPMの新機能 - 以前のバージョン

このセクションでは、以前のバージョンのPPMで導入または拡張された機能の概要を説明します。

- [58ページの「PPM 24.1の新機能」](#) [64ページの「PPM 23.4の新機能」](#)
- [64ページの「PPM 23.4の新機能」](#)
- [70ページの「PPM 23.3の新機能」](#)
- [76ページの「PPM 2023の新機能」](#)
- [80ページの「PPM 10.0.4の新機能」](#)
- [84ページの「PPM 10.0.3の新機能」](#)
- [89ページの「PPM 10.0.2の新機能」](#)
- [95ページの「PPM 10.0.1の新機能」](#)
- [99ページの「PPM 10.0の新機能」](#)
- [104ページの「PPM 9.66の新機能」](#)
- [108ページの「PPM 9.65の新機能」](#)
- [113ページの「PPM 9.64の新機能」](#)
- [116ページの「PPM 9.63の新機能」](#)
- [122ページの「PPM 9.62の新機能」](#)
- [130ページの「PPM 9.61の新機能」](#)
- [134ページの「PPM 9.60の新機能」](#)

PPM 24.3の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 24.3で導入されました。

注記: PPMバージョン24.1から24.3のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 24.3で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン24.1~24.2の機能拡張を表示するには、[PPMの新機能 -以前のバージョン](#)を参照してください。

Web UIからリクエストタイプを管理する

PPM Workbenchを開かなくても、Web UIからリクエストタイプを作成および構成できるようになりました。

詳細については、[リクエストタイプフィールドの作成 \(Web UI\)](#) および[リクエストタイプフィールドのレイアウトの構成 \(Web UI\)](#) を参照してください。

簡素化されたリソース割り当て

これはベータ機能です。

チームマネージャーは、チームまたはチームメンバーをプロジェクト、プロジェクトのタイプ、または他のユーザーと共有できるようになりました。これにより、チームマネージャーとプロジェクトマネージャーの両方にとってリソースの割り当てがより効率的になります。

- プロジェクトマネージャーは、リソースリクエストを送信せずに、共有リソースをプロジェクトに直接割り当てることができます。
- リソースを共有した後は、チームマネージャーはこれらのリソースの割り当てを処理する必要がなくなります。

詳細については、[プロジェクトスタッフィングプロファイルでチームを共有する](#)および[共有リソースをプロジェクトスタッフィングプロファイルに追加する](#)を参照してください。

Navigatorを使用してレポートを送信

Navigatorを操作することで、より少ないクリック数でレポートを送信およびダウンロードできるようになりました。

詳細については、[レポートの送信](#)を参照してください。

リクエストタイプからデータソースを作成する

管理者は、リクエストタイプからダッシュボードSQLデータソースとセルフサービスポートレットデータソースを作成できるようになりました。これにより、データソースの作成が簡素化され、時間が節約されます。

詳細については、[リクエストタイプフィールドをポートレットデータソースとして使用する](#)および[リクエストタイプをセルフサービスデータソースとして使用する](#)を参照してください。

進捗バーからリクエストの進捗を表示する

管理者が特定のワークフローステップを重要なステップとしてマークすると、リクエスト詳細の上部に進捗バーが表示され、これらの重要なステップが表示されます。進捗バーでは、リクエストがワークフローのどの段階にあるかが明確にわかります。

詳細については、[リクエストページでワークフローの進捗を表示する](#)を参照してください。

機能切り替えの更新

管理者は、拡張されたオートコンプリートリストを使用するかドロップダウンリストを使用するかを制御する個別の機能切り替えを使用できるようになり、機能管理の柔軟性が向上します。

詳細については、[新しいドロップダウンリストとオートコンプリートリスト](#)を参照してください。

ポートレットの機能拡張

ポートレットに次の更新が追加されました。

セルフサービスポートレットにおけるデータ視覚化の機能拡張

セルフサービスポートレットによりデータの視覚化が機能拡張されます。

- クラスタグラフと積み上げグラフでは、各バーの横に数値を表示するかどうかを選択できます。
- グリッドの場合、下部にレコードの合計数を表示するかどうかを選択できます。

詳細については、[セルフサービスポートレットの表示オプションを設定する](#)を参照してください。

セルフサービスポートレットの列の並べ替え順序を指定する

管理者は、セルフサービスポートレット内の列の並べ替え順序を定義できるようになりました。表示される時、これらの列は定義された順序で並べ替えられます。

詳細については、[ソート基準](#)を参照してください。

セルフサービスポートレットの日付フィールドの機能拡張	セルフサービスポートレットの日付フィールドは、テキストではなく日付として扱われるようになり、「開始」や「終了」などのオプションを使用してデータをフィルタリングしたり、日付列を並べ替えてデータを時系列順に並べたりする機能がサポートされるようになりました。 詳細については、 セルフサービスポートレットの表示オプションを設定する を参照してください。
マイルストーンサマリポートレットの更新	マイルストーンサマリポートレットでは、最大表示で最大1,000個のマイルストーンを表示できるようになりました。 詳細については、 プロジェクトマイルストーンの表示 を参照してください。

プログラムメモのリッチテキストのサポート

プログラムメモでもリッチテキスト形式がサポートされるようになりました。

詳細については、[メモ領域のリッチテキスト形式](#)を参照してください。

シングルサインオンのセッション言語を設定する

[[マイプロファイルの編集](#)] ページからシングルサインオン経由で接続するときに、PPMのセッション言語を設定できるようになりました。

詳細については、[一般設定](#)を参照してください。

PPTおよびWordレポートの更新

PowerPointおよびWordレポートでは、PPMから取得したデータを表示するためのオプションがさらに提供されるようになりました。各データセットをPowerPointの個別のスライドに表示したり、Wordの個別の段落として表示したりできます。

詳細については、[PowerPointレポートとWordレポート](#)を参照してください。

ポートフォリオコンテンツの数を制御する

ポートフォリオに含めるエンティティの最大数を制御するために、次の2つの新しいパラメーターが追加されました。

- **PORTFOLIO_MAX_PORTFOLIOS:** ポートフォリオに含めることができるサブポートフォリオの最大数を制御します。

- **PORTFOLIO_MAX_PROGRAMS:** ポートフォリオに含めることができるプログラムの最大数を制御します。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

フィンランド語のサポート

このリリースでは、フィンランド語のサポートが追加されました。

詳細については、[サポート言語](#)を参照してください。

エンティティ移行の更新

Web UIを使用してエンティティを移行する場合、移行するエンティティがターゲットインスタンスにすでに存在する他のエンティティを参照している場合、参照されているエンティティは、移行対象として選択されていない限り置き換えられません。これにより、意図しない上書きを防ぐことができます。

詳細については、[Web UIからエンティティを移行する](#)を参照してください。

Oracle EBS拡張機能の新しいオブジェクトタイプ

Oracle E-Business Suiteのデプロイメント管理拡張機能に、新しいオブジェクトタイプが含まれるようになりました。**FNDLOAD-AOL: Single Report Group Unit Migration**。OracleのFNDLOADユーティリティを使用して、ソース環境のレポートグループからターゲット環境への単一コンポーネントの移行を自動化できます。

詳細については、[PPM機能拡張と移行機能](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 24.2の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 24.2で導入されました。

注記: PPMバージョン24.1から24.2のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 24.2で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン24.1の拡張機能を表示するには、[58ページの「PPM 24.1の新機能」](#)を参照してください。

ポートフォリオ計画における依存関係管理

ポートフォリオ依存関係管理には、ポートフォリオマネージャーが依存関係を識別し、制限を解決するのに役立つ次の拡張機能が含まれています。

- 依存関係マップ上の先行タスクと後続タスクの依存関係を可視化します。
- シナリオ計画中に依存関係違反を警告します。これにより、迅速な制限解決、効果的な依存関係管理、ポートフォリオ計画との整合性が確保されます。

詳細については、[依存関係の表示](#)および[ポートフォリオの依存関係の表示](#)を参照してください。

Navigator Aviator

Navigator Aviatorは、PPMメニューまたはエンティティを対話的に検索できる会話型検索ツールです。

可用性: Navigator Aviatorは、**ENABLE_NAVIGATOR_AVIATOR**パラメーターがtrueに設定されている場合に、英語セッションでのみ使用できます。

詳細については、[Navigator Aviator](#)を参照してください。

PostgreSQLデータベースの公式サポート

PostgreSQLデータベースは、PPMの新規インストールで正式にサポートされるようになりました。多言語サポートも追加されます。

注記: 公式サポートは、Oracleデータベースから移行された環境には適用されません。

詳細については、[インストールとアップグレード](#)の「PostgreSQLを使用したPPMのインストール」セクションを参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストを作成および管理するための新しいページ	<p>デマンド管理に [リクエスト] ページが導入されています。これは、最新のカスタマイズ可能なUIビューを使用して、あらゆるリクエストタイプのリクエストを効果的に作成および管理できる統合プラットフォームです。</p> <p>詳細については、すべてのリクエストタイプでリクエストをフィルタリングするおよび [リクエスト] ページから新しいリクエストを作成するを参照してください。</p>
テーブルに添付ファイルを追加する	<p>リクエスト内のテーブルに添付ファイルを追加できるようになりました。</p> <p>これは、管理者がテーブルに添付ファイルタイプの列を含めるようにリクエストタイプを構成すると有効になります。</p> <p>詳細については、テーブルコンポーネントの構成を参照してください。</p>
PDFにエクスポートするタブを選択する	<p>リクエストをPDFにエクスポートするときに、エクスポートするリクエストタブを選択できます。</p> <p>詳細については、リクエストの共有を参照してください。</p>
リクエストに静的カスタムUI要素を追加する	<p>管理者は、クリック可能なボタンなどの静的UI要素をリクエストに追加できます。</p> <p>これを実装するには、[HTML - 定数レンダリング HTMLコード] データマスクを使用してテキスト領域フィールドを構成し、UI要素のカスタムHTMLコードを設計します。</p> <p>詳細については、テキスト領域の検証設定を参照してください。</p>
リッチテキストフィールドには文字数制限がない	<p>リッチテキストフィールドには文字数制限がないため、このようなリクエストフィールドに大量のテキストと書式を入力できます。</p> <p>この機能は、新しい<code>ALLOW_NO_SIZE_LIMIT_RICH_TEXT_FIELD</code>パラメーターがtrueに設定されている場合に使用できます。</p> <p>詳細については、HTML - リッチテキストフィールドを参照してください。</p>

追加のリクエストタブを折りたたむ	リクエストに表示しきれないほど多くのタブが含まれている場合、追加のタブは [その他] メニューからアクセスできるようになりました。 詳細については、 追加のタブを表示する を参照してください。
リクエストページのタイトルからリクエスト名を読み取る	リクエスト名が指定されている場合は、リクエストページのタイトルからわかります。

クローズされたリクエストの時間管理

クローズされたリクエストに対する時間管理制限が有効になっている場合、次の操作も禁止されます。

- 終了したリクエストに記録された時間を編集する。
- タイムシートをコピーするときに、終了したリクエストを含める。

詳細については、[タイムシートのログ時間](#)および[タイムシートのコピー](#)を参照してください。

プロジェクトガントポートレットの更新

管理者は、プロジェクトガントポートレット設定の **[プログラム]** フィールドにカスタム検証を使用できます。これにより、プログラムマネージャーはプログラムごとにプロジェクトを簡単にフィルター処理できるようになります。

詳細については、[OOTBフィールドにカスタム検証を使用する](#)を参照してください。

メモのリッチテキストをサポート

プログラム内のものを除くPPMエンティティのノート内のテキストをフォーマットできるようになりました。

この機能は、新しい **[ユーザメモにリッチテキストを使用する]** 機能切り替えがオンになっている場合に有効になります。

詳細については、[メモ領域のリッチテキスト形式](#)を参照してください。

最新のPPMバージョンへの直接アップグレード

Oracleデータベース上で実行されるPPMの場合:

- **PPM 2023以降の場合:** 以降のバージョンにアップグレードできます。
- **2023より前のバージョンの場合:** まず2023にアップグレードし、その後、それ以降のバージョンにアップグレードできます。

詳細については、[インストールとアップグレード](#)を参照してください。

簡素化されたAutopassライセンスのインストール

Autopassライセンスのインストールは、次の機能強化により簡素化されました。

- ライセンスの有効日より前の事前インストールをサポートします。
- コマンドラインからライセンスをインストールする場合、サーバーの再起動は必要ありません。

詳細については、[ライセンスのインストール](#)を参照してください。

Oracle EBS拡張機能の新しいオブジェクトタイプ

Oracle E-Business Suiteのデプロイメント管理拡張機能には、OracleのFNDLOADユーティリティを使用する5つの新しいオブジェクトタイプが含まれるようになりました。これにより、責務、機能、レポートグループ、レポートセット、および付加フレックスフィールドの移行を自動化できます。

詳細については、[PPM機能拡張と移行機能](#)を参照してください。

機能切り替えの更新

次の拡張機能が機能の切り替えに追加されました。

新しい機能タイプ: 廃止	新しい機能タイプ [廃止] が追加されました。廃止の機能は将来のバージョンで削除される予定です。廃止の機能の使用を中止することをお勧めします。 詳細については、 機能タイプ を参照してください。
起動時に機能ステータスを確認して適切に使用する	適切な機能の使用を保証するために、PPMは起動時に [標準機能候補] 機能と [廃止] 機能のステータスをチェックし、正しく設定されていない場合はサーバーログに警告メッセージを追加します。 詳細については、 起動チェック を参照してください。

32ビットJVMサポートを中止

このバージョンから、PPMは32ビットJava仮想マシン (JVM) のサポートを中止します。PPMを実行するには、64ビットJVMを使用する必要があります。

詳細については、[PPMサポートマトリックス](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 24.1の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 24.1で導入されました。

ポートフォリオ管理の機能拡張

次の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

より多くのフィールドで バックログ項目をフィルター およびグループ化する	ラジオボタン、チェックボックス、テキストエリア、タグなど、より多くの種類のフィールドでポートフォリオバックログアイテムをフィルタリングおよびグループ化できるようになりました。 詳細については、 ポートフォリオバックログの内容ビュー を参照してください。
バックログボードビューの 機能強化	[バックログ] タブのボードビューが強化されました。 <ul style="list-style-type: none">• 空の列とスイムレーンを非表示にして、データをより明確に表示できます。• 列の合計がボードの上部に表示されるようになりました。 詳細については、 ボードビュー を参照してください。
バックログロードマップビューの 機能強化	[バックログ] タブのロードマップビューでは、次のことができるようになりました。 <ul style="list-style-type: none">• 好みに合わせてガントチャートのバーの色を構成します。• どのバックログ項目情報をツールチップとして表示するかを設定します。• ロードマップビューを画像としてエクスポートします。 詳細については、 バックログロードマップビューのデフォルトレイアウトの設定およびロードマップガントをPNGにエクスポート を参照してください。

ポートフォリオのレイアウト設定を共有する

[バックログ] タブと [財務] タブで個人のレイアウト設定を共有できるようになり、すべての利害関係者が一貫したレイアウト設定で同じポートフォリオを表示できるようになりました。

詳細については、[ポートフォリオの共有レイアウト設定](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストにカスタムタブを追加する

カスタムタブをリクエストタイプに追加し、ユーザーがタブ上で次の操作を行えるようにタブを構成できるようになりました。

- 特定のタイプの参照されたリクエストを表示します。
- 特定の関係タイプの参照として新しいリクエストを作成します。

詳細については、[カスタムタブの追加](#) および [カスタムタブからの参照の追加](#)を参照してください。

新規検証コンポーネントタイプ: タグ

新規検証コンポーネントタイプ: **タグ**が追加されました。リクエストにタグフィールドを追加すると、ユーザーはリクエストの識別子としてタグを追加できるようになります。

詳細については、[検証の使用](#)と[リクエストにタグを追加](#)を参照してください。

リクエスト詳細の拡張リストフィールド

外観と操作性が刷新され、リクエストの詳細ページのドロップダウンリストとオートコンプリートリストがよりユーザーフレンドリーなエクスペリエンスを提供するようになりました。

この新しい機能を使用するには、**[新しいドロップダウンリストとオートコンプリートリストを使用する]**機能の切り替えを有効にします。

詳細については、[リクエストの表示](#)を参照してください。

リクエストタイプルールの新しい依存関係条件

リクエストタイプルールに2つの新しい依存関係条件が含まれるようになりました: [\[はテキストを含む\]](#) および [\[は次を1つ以上含む\]](#)。

以前は複数のルールが必要であったところを1つのルールだけを定義することで、リクエストルールを簡素化するのに役立ちます。

詳細については、[高度なリクエストタイプルールの作成](#)を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

インターフェイスのカスタマイズが拡張されました

次の方法で、PPM標準インターフェイスをより広範囲にカスタマイズできるようになりました。

- ボタンやダイアログボックスの見出しなどのUI要素の色の構成。
- カスタムCSSコードを適用して、デフォルトのスタイルをオーバーライド。

詳細については、[PPMインターフェイスのカスタマイズ](#)を参照してください。

APIキーをベアラートークンとして使用する

ベアラートークンとして有効にすると、APIキーをREST認証ヘッダーで直接使用できます。

詳細については、[APIキーをベアラートークンとして有効にする](#)および[ベアラートークン認証](#)を参照してください。

PowerPointにエクスポート

データの共有と分析のために、次のものをPowerPointにエクスポートできるようになりました。

- プロジェクト概要
- プログラムダッシュボード
- ポートフォリオの [\[概要\]](#) タブ
- チームの [\[概要\]](#) タブ
- ダッシュボードページ

詳細については、[プロジェクトと作業計画のエクスポート](#)、[プログラムダッシュボードのエクスポート](#)、[ポートフォリオの概要のエクスポート](#)、[\[概要\]](#) タブのエクスポートおよび[PPMダッシュボードページのエクスポート](#)を参照してください。

管理コンソールでパスワードポリシーパラメーターを設定する	<p>管理コンソールで次のパラメーターを構成して、ユーザーパスワードの制約を定義できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• USER_PASSWORD_MIN_UPPERCASE_LETTERS• USER_PASSWORD_MIN_LOWERCASE_LETTERS <p>詳細については、セキュリティガイドを参照してください。</p>
強化されたサポート情報生成	<p>PPMは管理コンソールのkSupportツールを拡張し、サポート情報を生成するための簡素化されたより効率的なユーザーエクスペリエンスを提供します。</p> <p>詳細については、管理コンソールからソフトウェアサポートに関する情報を収集するを参照してください。</p>

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

任意のPPMページをデスクトップのランディングページとして設定する	<p>PPM管理者は、ダッシュボードページに加えて、任意のPPMページを特定のユーザーグループのPPMデスクトップクライアントランディングページとして設定できるようになりました。</p> <p>管理者が許可した場合、個々のユーザーは任意のPPMページをPPMデスクトップクライアントのデフォルトのランディングページとして設定し、管理者が指定したランディングページをオーバーライドできます。</p> <p>詳細については、PPMランディングページの設定およびランディングページの設定を参照してください。</p>
セルフサービスポートレットの新しいビュータイプ: ボード	<p>新しい表示タイプ: ボードがセルフサービスポートレットに追加され、データをボード上にカードとして表示できるようになります。</p> <p>詳細については、セルフサービスポートレットの設定を参照してください。</p>

What-if分析の機能拡張

次の機能拡張がWhat-if分析に追加されました。

What-ifテンプレートの機能強化	<p>What-ifテンプレートにより、What-If分析の柔軟性が強化されました。</p> <ul style="list-style-type: none">• 新しいウィジェットタイプ: インジケータグラフが追加され、数値フィールドの集計値を表示できるようになります。• ランキングビューコンポーネントにカスタムフィールドを追加できるようになりました。 <p>詳細については、what-ifレイアウトテンプレートの定義を参照してください。</p>
シナリオを共有する	<p>what-ifシナリオを他のユーザーと共有してコラボレーションできるようになりました。</p> <p>詳細については、シナリオの共有を参照してください。</p>

レポートの機能拡張

次の拡張機能がPPMレポートに追加されました。

新しいレポートタイプ: PowerPointおよびWordレポート	<p>2つの新しいレポートタイプ: PowerPointレポートとWordレポートが導入され、PPMレポートを作成するための追加オプションが提供されます。</p> <p>詳細については、PowerPointレポートとWordレポートを参照してください。</p>
完了したレポートについてユーザーグループに通知する	<p>個々のユーザーに加えて、レポートの完了に関する電子メール通知をユーザーのグループに送信できるようになりました。</p> <p>詳細については、レポートの送信を参照してください。</p>

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

ポジションをインポートまたはコピーするときに、必要な特定リソースをコピーします	<p>別のスタッフィングプロファイルからポジションをインポートまたはコピーする場合、これらのポジションで要求されたリソースもインポートすることを選択できます。</p> <p>詳細については、スタッフィングプロファイルへのポジションのインポートを参照してください。</p>
--	---

ポジションのロールによって リソースをフィルターしなくなりました

ポジションに割り当てるリソースを検索する場合、そのポジションのロールはデフォルトのフィルタリング基準として使用されなくなりました。これにより、より多くの候補の中から目的のリソースを見つけることができます。

この機能は、新しいパラメーター**NO_INITIAL_ROLE_IN_RESOURCE_FINDER**がtrueに設定されている場合に有効になります。

詳細については、[\[リソース割り当て管理\] ページからリソースを割り当てる](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

タイムシートをコピーするときに、タイムシートのユーザーデータをコピーするかどうかを選択できるようになりました。

この機能は、管理者が **[タイムシートのコピー] の [ユーザーデータを含める] オプションを有効にする** 機能の切り替えを有効にすると有効になります。

詳細については、[タイムシートのコピー](#)を参照してください。

マイタイムシートアプリの更新

マイタイムシートアプリを使用して、アクティビティをタイムシートの作業項目に関連付けることができるようになりました。

詳細については、[アクティビティを作業項目に関連付ける](#)を参照してください。

チーム管理の機能拡張

チームの [デマンド] タブから、個々のチームメンバーのアサインとキャパシティの詳細を表示できます。これにより、チームのデマンドと能力のバランスをとりやすくなります。

詳細については、[リソースのアサインの詳細を表示する](#)を参照してください。

統合の機能拡張

特定の機能のバックログアイテムをALM OctaneワークスペースからPPMプロジェクトタスクにインポートすることを選択できるようになりました。

詳細については、[PPMタスクとALM Octaneプロジェクトのリンク](#)を参照してください。

REST APIの機能拡張

PPMでは、無効になっているさまざまな作業項目の時間ログを許可しません。このポリシーはREST API呼び出しに拡張されました。

詳細については、[対話型REST APIヘルプ](#)を参照してください。

廃止

[[[リクエスト詳細](#)] ページでタブを使用する] 機能の切り替えは非推奨になりました。この機能を置き換えるために、PPMは、リクエストタイプごとにリクエストの詳細のレイアウトを設計できる、より柔軟なソリューションを提供します。

注記: 24.1より前に機能切り替えをすでに有効にしていた場合、タブレイアウト設定は24.1へのアップグレード後も既存のリクエストタイプに対して保持されます。

詳細については、[リクエストレイアウトの選択](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMのReadme](#)

PPM 23.4の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 23.4で導入されました。

注記: PPMバージョン2023から23.4のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 23.4で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン2023~23.3の機能拡張を表示するには、[PPMの新機能 -以前のバージョン](#)を参照してください。

What-if分析の機能拡張

次の機能拡張がWhat-if分析に追加されました。

what-ifシナリオに開始日または終了日のないエンティティを含める	<p>開始日や終了日のないエンティティをポートフォリオのwhat-ifシナリオに手動で追加できるようになりました。</p> <p>詳細については、シナリオにコンテンツを追加するを参照してください。</p>
シナリオを比較する	<p>2つまたは3つのシナリオを比較して、さまざまな投資計画の影響を評価し、最適なシナリオを決定できます。</p> <p>詳細については、シナリオの比較を参照してください。</p>
シナリオのコピーを保存する	<p>スナップショットを作成するか、シナリオをエクスポートすることで、シナリオのコピーをその内容、スケジュール、キャパシティプランニングを含めて保存できます。</p> <p>詳細については、スナップショットとエクスポートのシナリオを参照してください。</p>
シナリオのコンテンツの依存関係を表示する	<p>シナリオ内のコンテンツの依存関係を表示および追加できるようになりました。これは、ポートフォリオのコンテンツに優先順位を付けるのに役立ちます。</p> <p>詳細については、依存関係の表示と追加を参照してください。</p>

ポートフォリオ管理の機能拡張

ポートフォリオバックログ項目の依存関係を表示できるようになりました。これは、ポートフォリオコンテンツの優先順位付けとスケジュール設定に役立ちます。

詳細については、[ポートフォリオの依存関係](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

指定されたリソースプールからのみリソースをリクエストする	<p>スタッフィングプロファイルのポジションにリソースプールが指定されている場合、そのポジションは指定されたリソースプールからのリソースのみを要求できます。</p> <p>詳細については、ポジションの追加を参照してください。</p>
-------------------------------------	--

<p>リソースプール/チーム編集権限による拡張機能</p>	<p>リソースプールまたはチームを編集できる場合は、次のことができるようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> リソースプールまたはチームのマネージャーでない場合でも、リソースプールまたはチームにリソースを追加します。 リソースの直接の管理者でない場合でも、リソースを削除または転送します。 <p>この機能を使用するには、[編集アクセス権限を持つユーザがリソースプール/チーム内のリソースを管理できるようにする] 機能の切り替えを有効にします。</p> <p>詳細については、リソースプールセキュリティを参照してください。</p>
<p>[組織モデルの表示] ページを刷新</p>	<p>[組織モデルの表示] ページの外観が改善されました。組織モデルの参照が簡単になりました。</p> <p>詳細については、モデル組織単位を参照してください。</p>
<p>ksc_clear_staffingprofile_forecast_assignmentはリソースアサイン終了日を更新する</p>	<p>ksc_clear_staffingprofile_forecast_assignment 特殊コマンドは、完了したスタッフィングプロファイルの予測とアサインをクリアするだけでなく、アサイン終了日も更新するようになりました。</p> <p>詳細については、ksc_clear_staffingprofile_forecast_assignmentを参照してください。</p>
<p>[リソース負荷の内訳] テーブルには、リソースがフルネームのアルファベット順にリストされる</p>	<p>[リソース負荷の内訳] テーブル内のリソースが姓ではなくフルネームでアルファベット順にリストされるようになり、特定のリソースを見つけやすくなりました。</p> <p>詳細については、リソース負荷の表示を参照してください。</p>

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

<p>リソースのデフォルトの請求書の承認者の編集を禁止する</p>	<p>管理者は、新しいTM_LOCK_DEFAULT_BILLING_APPROVERパラメーターをtrueに設定することで、個々のリソースのデフォルトの請求書の承認者の編集を無効にできるようになりました。</p> <p>trueに設定すると、新しいデフォルトの請求書の承認者の変更レポートを使用して、すべてのリソースに対してデフォルトの請求書の承認者をグローバルに変更することのみが可能になります。</p> <p>詳細については、タイムシートポリシーとリソースの承認者の構成 リソースの承認者およびデフォルトの請求書の承認者の変更を参照してください。</p>
<p>[タイムシートの承認] ポートレットでデフォルトの時間承認者によってタイムシートをフィルタリングする</p>	<p>新しいフィールド [デフォルトの時間承認者] が、タイムシートの承認ポートレット設定ページに追加されました。このフィールドを使用して、デフォルトの時間承認者ごとにタイムシートをフィルタリングできます。</p> <p>詳細については、[タイムシートの承認] ポートレットの使用を参照してください。</p>
<p>[時間の承認] ページでタイムシートの明細をタイムシート項目ごとに並べ替える</p>	<p>タイムシートの明細レベルで承認する時間を検索する際に、検索結果をタイムシート項目ごとに並べ替えられるようになりました。</p> <p>詳細については、[時間の承認] ページの使用を参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

<p>企業ロゴの変更</p>	<p>PPM標準インターフェイスに表示される企業ロゴを管理コンソールから変更できるようになりました。</p> <p>詳細については、企業ロゴの変更を参照してください。</p>
<p>プロフィール写真を追加</p>	<p>プロフィールに画像を追加できるようになりました。</p> <p>詳細については、個人を特定できる情報の変更を参照してください。</p>

プラットフォームの機能拡張

次の機能拡張がプラットフォームモジュールに追加されました。

Web UIからPPMエンティティを移行する	Web UIからPPMエンティティをあるインスタンスから別のインスタンスに移行できるようになりました。 詳細については、 Web UIからエンティティを移行する を参照してください。
データスペースごとにリクエストを分離する	データ分離機能を使用して、リクエストをデータスペースごとに分離できるようになりました。 詳細については、 データ分離 (ベータ版) を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストタブを設定する	リクエストの詳細にどのタブを表示するかを構成し、タブの順序を決定できるようになりました。 詳細については、 リクエスト用のタブの設定 を参照してください。
URL参照のサポートが拡張された	リクエスト参照として最大4,000文字のURLを追加できるようになりました。 詳細については、 リクエストへの参照の追加 を参照してください。

統合の更新

次の拡張機能がPPM統合ソリューションに追加されました。

Azure DevOpsエピックをPPMタスクにインポートする	Azure DevOpsプロジェクトからPPMプロジェクトタスクに特定のエピックをインポートすることを選択できるようになりました。 詳細については、 PPMタスクとAzure DevOpsプロジェクトとの統合 を参照してください。
PPM - ALM統合はALMバージョン16および17をサポートする	PPMとALMの統合では、ALMバージョン16および17がサポートされるようになりました。 詳細については、 Quality Center/Application Lifecycle Managementとの統合 を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

<p>Oracle Primavera P6ファイルとPPMタスクユーザーデータ間のフィールドマッピング</p>	<p>Oracle Primavera P6 XERおよびXMLファイルのフィールドをPPMタスクのユーザーデータフィールドにマップできるようになりました。</p> <p>詳細については、作業計画ファイルを使用したスケジューリング統合を参照してください。</p>
<p>新しいタスクエントリに対する未保存の変更の備考</p>	<p>作業計画のクイックビューでタスクを追加すると、保存されていない変更の備考がポップアップ表示されます。以前は、備考は、変更を保存せずにページを離れた場合にのみ機能しました。</p> <p>詳細については、タスクの追加を参照してください。</p>
<p>[プロジェクトのガント] ポートレットおよび [プロジェクトタイムライン] ポートレットに終了ページボタンを表示する</p>	<p>[レコードの合計数を表示] オプションが、[プロジェクトのガント] ポートレットと [プロジェクトタイムライン] ポートレットの設定ページで使用できるようになりました。このオプションを選択すると、ポートレットレコードの最後のページにジャンプできます。</p> <p>詳細については、ポートレットプリファレンスの編集を参照してください。</p>

マイタイムシートアプリの更新

マイタイムシートアプリを使用して、タイムシートの作業項目のアクティビティを追加できるようになりました。

詳細については、[作業項目にメモとアクティビティを追加する](#)を参照してください。

Oracle EBSのデプロイメント管理拡張機能

Deployment Management Extension for Oracle E-Business Suiteには、OracleのFNDLOADユーティリティを使用して、同時プログラム登録、GUIメニュー、QuickCode、Single QuickCode、およびValue Setの移行を自動化する5つの新しいオブジェクトタイプが含まれています。

詳細については、[PPM機能拡張と移行機能](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 23.3の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 23.3で導入されました。

注記: PPMバージョン2023から23.3のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 2023.3で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン2023の拡張機能を表示するには、[PPM 2023の新機能](#)を参照してください。

強化されたwhat-if分析 (ベータ版)

このリリースでは、what-if分析の新しいバージョンが導入されています。この高度なwhat-if分析には、すぐに使えるさまざまなレイアウトテンプレートが含まれており、さまざまな観点からポートフォリオを分析できます。組織のニーズを満たすカスタムレイアウトテンプレートを作成することもできます。

可用性: 強化されたwhat-if分析はベータ機能として導入され、ポートフォリオレベルでのみ利用可能です。

詳細については、[What-if分析](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

次の機能拡張がプラットフォームモジュールに追加されました。

データ分離 (ベータ版)	<p>データ分離機能を使用して、次のデータをデータスペースごとに分離できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• 組織単位• リソース• リソースプール• ユーザー• チーム <p>データスペースのメンバーは、そのデータスペースに属するデータの表示または編集のみが可能です。</p> <p>注記: これはベータ機能です。</p> <p>詳細については、データ分離 (ベータ版) を参照してください。</p>
ポーランド言語パックのサポート	<p>PPMにポーランド語のサポートが追加されました。</p> <p>詳細については、サポート言語を参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

メニューの色をカスタマイズする	<p>管理コンソールからPPMメニューの色をカスタマイズできるようになりました。</p> <p>詳細については、メニューの色のカスタマイズを参照してください。</p>
Web UIからセキュリティグループを管理する	<p>PPM Workbenchに加えて、PPM Web UIからセキュリティグループを作成および構成できるようになりました。</p> <p>詳細については、Web UIからセキュリティグループを管理するを参照してください。</p>
キャッシュ設定をカスタマイズする	<p>PPMでは、管理者がキャッシュ設定をカスタマイズするための安全な方法を導入しました。</p> <p>詳細については、キャッシュ設定の構成を参照してください。</p>

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

<p>タイムシート明細を削除するときに再確認する</p>	<p>タイムシートの明細を削除すると、確認を求める確認ダイアログボックスが表示されます。これにより、タイムシート明細を誤って削除することがなくなります。</p> <p>詳細については、タイムシート明細の削除を参照してください。</p>
<p>時間フィールドをゼロ値で空白として表示する</p>	<p>[時間の内訳] タブで値がゼロの時間セルを空白として表示できるようになりました。これにより、ユーザーはタイムシートのどこに時間が記録されているかをより明確に確認できるようになります。</p> <p>この機能は、新しいTM_SHOW_TIME_FIELD_ZERO_VALUES_AS_BLANKパラメーターがtrueに設定されている場合にのみ表示されます。</p> <p>詳細については、タイムシートのログ時間を参照してください。</p>
<p>タイムシートに作業項目を追加するためのクイック検索</p>	<p>作業項目をタイムシートに追加するときに、新しいオプションの [クイック検索で項目を追加] を使用して、名前またはIDで任意のタイプの作業項目を検索できるようになりました。</p> <p>このオプションは、ENABLE_TM_QUICK_SEARCHパラメーターがtrueに設定されている場合に使用できます。</p> <p>詳細については、タイムシートに作業項目を追加するためのクイック検索を参照してください。</p>
<p>ユーザーがクローズ済みリクエストの時間を記録できないようにする</p>	<p>ユーザーがクローズ済みリクエストの時間を記録できないようにできるようになりました。この機能は、新しいTM_CLOSED_REQUEST_RESTRICTIONパラメーターをtrueに設定すると有効になります。</p> <p>詳細については、タイムシートへのリクエストの検索と追加を参照してください。</p>
<p>[タイムシートの承認] ポートレットに表示する最大期間を指定する</p>	<p>既存のTM_MAX_PREVIOUS_TIME_PERIODSパラメーターを使用して、[タイムシートの承認] ポートレットの設定を編集するときに選択できる期間の最大数を決定できるようになりました。</p> <p>詳細については、[タイムシートの承認] ポートレットの使用を参照してください。</p>

統合の機能拡張

次の拡張機能がPPM統合ソリューションに追加されました。

<p>PPM - Azure DevOps統合</p>	<p>PPMはMicrosoft Azure DevOpsとの統合をサポートするようになりました。次のことが可能です:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Azure DevOpsプロジェクトの作業項目をPPMプロジェクトタスクにインポートする。 • PPMリクエストをAzure DevOps作業項目と統合する。 <p>詳細については、Azure DevOpsとの統合を参照してください。</p>
<p>リクエスト統合のためのWebhookのサポート</p>	<p>Webhookがリクエストの統合でサポートされるようになりました。これにより、PPMでリクエストが作成、変更、または削除されたときに、PPMが外部アプリケーションに即座に通知できるようになります。これにより、アプリケーション間のリアルタイム通信が容易になります。</p> <p>詳細については、リクエスト統合にWebhookを使用するを参照してください。</p>
<p>PPM - Jira統合のPAT認証をサポート</p>	<p>PPMは、Jiraとの統合のためのパーソナルアクセストークン (PAT) 認証をサポートするようになりました。</p> <p>詳細については、Jiraアジャイルインスタンスの追加を参照してください。</p>

REST APIの機能拡張

次の機能拡張がREST APIに追加されました。

<p>承認待ちのタイムシートを取得する</p>	<p>/itg/rest2/timesheet/searchTimesheet REST APIを使用して、承認待ちのタイムシートを取得できるようになりました。</p> <p>詳細については、対話型REST APIヘルプを参照してください。</p>
<p>プロジェクトマネージャーのユーザー名とユーザーIDを取得する</p>	<p>/itg/rest2/pm/projects REST APIを使用してプロジェクト情報を取得するときに、プロジェクトマネージャーのユーザー名とユーザーIDも取得できるようになりました。</p> <p>詳細については、対話型REST APIヘルプを参照してください。</p>

PPMエンティティを移行する [/itg/rest2/migration](#) REST APIを使用して、PPMエンティティをあるインスタンスから別のインスタンスに移行できるようになりました。

詳細については、[対話型REST APIヘルプ](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

エクスポートされたスタッフィングプロファイルに地域とタスクIDが含まれる	スタッフィングプロファイルをエクスポートするときに、ポジションの地域とタスクIDもエクスポートされるようになりました。
	詳細については、 スタッフィングプロファイルのエクスポート を参照してください。
リソースプールとチームに組織単位を適用する	リソースプールまたはチームを作成するときに、プライマリ組織単位の関連付けを要求できるようになりました。
	新しいデータ分離機能を使用する場合は、この機能を有効にすることをお勧めします。
	詳細については、 リソースプールの作成 を参照してください。
キャンセルされたスタッフィングプロファイルに対する今後の予測とアサインをクリアする	完了したスタッフィングプロファイルに使用可能であった [今後の予測とアサインのクリア] オプションを使用して、キャンセルされたスタッフィングプロファイルの今後の予測とアサインをクリアできるようになりました。
	詳細については、 今後の予測とアサインのクリア を参照してください。
[必要な特定リソース] フィールドと [リソースタイプ] フィールドはカスタム検証をサポートする	スタッフィングプロファイルページと [ポジションの追加] ページで、 [必要な特定リソース] フィールドと [リソースタイプ] フィールドに対してカスタム検証を使用できるようになりました。
	詳細については、 OOTBフィールドにカスタム検証を使用する を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

次の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

<p>ポートフォリオ階層内での戦略調整</p>	<p>新しいフィールド [整列] が、ポートフォリオの [バックログ] タブと戦略テーマの詳細ページに追加されました。このフィールドは、ポートフォリオ階層内のすべてのレベルでの戦略テーマとポートフォリオ品目の間の整列状況に関する洞察を提供します。</p> <p>詳細については、戦略的調整情報のキャプチャーを参照してください。</p>
<p>KPI値は上位ポートフォリオのビジネスゴールにロールアップされる</p>	<p>現在のポートフォリオのビジネスゴールの上位ビジネスゴールを設定すると、現在のポートフォリオのビジネスゴールのKPI値が上位ビジネスゴールにロールアップされます。これにより、ビジネスゴールのパフォーマンスの可視性が向上し、ポートフォリオレベルでの詳細な分析が容易になります。</p> <p>詳細については、ビジネスゴールの追加を参照してください。</p>
<p>ビジネスゴールとKPIは10進数値をサポートする</p>	<p>ビジネスゴールの目標値とKPI値で、小数点以下2桁の数値がサポートされるようになりました。</p> <p>詳細については、ビジネス価値の定義と追跡を参照してください。</p>

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

<p>改良された [リクエスト詳細] ページ</p>	<p>リクエスト詳細ページの外観が改善されました。リクエスト詳細をナビゲートするのがより簡単かつ直感的になりました。</p> <p>詳細については、リクエストの表示を参照してください。</p>
<p>[リクエスト検索結果] ページに添付ファイルのリンクを表示する</p>	<p>[リクエスト検索結果] ページの添付ファイルフィールドに添付ファイルのリンクが表示されるようになりました。リンクをクリックすると、対応する添付ファイルをダウンロードできます。</p> <p>詳細については、リクエストの検索を参照してください。</p>

プログラム管理の機能拡張

次の機能拡張がプログラム管理モジュールに追加されました。

プログラムタイプへのアクセスを設定する	プログラムタイプに対して以下を設定できるようになりました。 <ul style="list-style-type: none">• プログラムタイプを編集できる人。• プログラムタイプを使用してプログラムを作成できる人。 詳細については、 プログラムタイプへのアクセスを設定する を参照してください。
[プログラムタイプ] フィールドにカスタム検証を使用する	[プログラムの検索] ページと [新規プログラムの作成] ページの [プログラムタイプ] フィールドにカスタム検証を使用できるようになりました。詳細については、 OOTBフィールドにカスタム検証を使用する を参照してください。

APMの機能拡張

アプリケーションとプロセスの動的グラフのレイアウトを変更できるようになりました。詳細については、[アプリケーションとプロセスの表示レイアウトを変更する](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 2023の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 2023で導入されました。

ポートフォリオ管理の機能拡張

異なるポートフォリオ階層にある複数のポートフォリオに同じエンティティを追加できるようになりました。この機能は、**[複数のポートフォリオ階層に同じエンティティを追加する]** 機能切り替えがオンになっている場合に有効になります。

詳細については、[ポートフォリオコンテンツの追加](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

<p>プロジェクトスケジューリング統合の更新</p>	<p>プロジェクトスケジューリングの統合には、次の更新が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト作業計画でOracle Primavera P6 XERおよびXMLファイルをアップロードおよびダウンロードして、PPMとOracle Primavera P6の間でプロジェクトのスケジュール情報を同期できるようになりました。 <p>注記: これはベータ機能です。</p> <p>詳細については、作業計画ファイルを使用したスケジューリング統合を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> PPM管理者は、DISPLAYED_SCHEDULING_INTEGRATION_MODESパラメーターを使用して、プロジェクトスケジューリング統合で選択できる制御モードを制限できるようになりました。 <p>詳細については、制御モードの決定を参照してください。</p>
<p>タスクユーザーデータは、100フィールドと各フィールドで4,000文字をサポートする</p>	<p>タスクユーザーデータに最大100フィールドを含めることができるようになり、各フィールドに最大4,000文字を含めることができるようになりました。</p> <p>詳細については、タスクユーザーデータの構成を参照してください。</p>
<p>[コスト] タブで常に使用できる財務サマリのリンク</p>	<p>[財務サマリ] リンクは、財務サマリにコスト明細が含まれているかどうかに関係なく、常に [コスト] タブに表示されます。</p> <p>詳細については、プロジェクトの財務サマリを開くを参照してください。</p>
<p>マイルストーンの既定の達成率の値を設定する</p>	<p>新しいパラメーターSET_SUCCESSOR_MILESTONE_PERCENTAGEが導入されました。これにより、先行タスクが完了したマイルストーンのデフォルトの完了率の値を設定できます。PPMは、指定された値に基づいてマイルストーンステータスを自動的に更新します。</p> <p>詳細については、タスクをマイルストーンとして設定するを参照してください。</p>

PPM-Agile統合の機能拡張

次の拡張機能がPPM-Agile統合に追加されました。

<p>PPMリクエストタイプとALM Octaneエンティティタイプマッピングの新しい同期方向</p>	<p>新しい同期方向PPMリクエスト -> 既存のアジャイルエンティティが、PPM-ALM Octane統合のために追加されました。これにより、PPMリクエストを既存のALM Octaneエンティティにマップできます。</p> <p>詳細については、PPMリクエストを既存のALM Octaneエンティティにリンクするを参照してください。</p>
<p>PPMリクエストとJira課題の統合のためにJira 9.0をサポート</p>	<p>PPMは、PPMリクエストとJira課題を統合するためのJira 9.0のサポートを追加しました。</p> <p>詳細については、PPMリクエストをJira課題と統合するを参照してください。</p>

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

<p>電子メール通知をファイルとして保存</p>	<p>EMAIL_DEBUG_DUMP_FOLDERサーバーパラメーターで指定されたフォルダーに、電子メール通知をファイルとして保存できるようになりました。これにより、SMTPサーバーを構成せずに、PPMがユーザーに送信する電子メール通知をテストできます。</p> <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>
<p>より多くのOOTBフィールドのカスタム検証をサポート</p>	<p>以下を含む、より多くのOOTBフィールドに対してカスタム検証を使用できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [新規提案/プロジェクト/資産の追加] ページの [提案を含める]、[プロジェクトを含める]、[資産を含める] フィールド。 • [コストルールの検索] ページと [コストルールの追加] ページの地域およびロールフィールド。 • すべてのページとOOTBポートレットのビジネス目標フィールド。 <p>詳細については、OOTBフィールドにカスタム検証を使用するを参照してください。</p>
<p>ほとんどのブラウザーでサポートされている動的グラフ</p>	<p>動的グラフは、最新のブラウザーのほとんどで動作するようになりました。</p> <p>詳細については、動的グラフを参照してください。</p>

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

エクスポートされたExcelファイルで財務サマリの空の値をゼロとして表示する	新しいサーバーパラメータ EXPORT_NULL_FINANCIAL_DATA_AS_ZERO_TO_EXCEL が導入されました。エクスポートされたExcelファイルで空の財務サマリセルをゼロに置き換えるかどうかを制御できます。 詳細については、 Excelで空の値をゼロとして表示する を参照してください。
コストルールの編集時にメモを追加する	コストルールを編集するときに、メモを追加してより多くの情報を取得できるようになりました。 詳細については、 メモの追加 を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

エクスポートされたスタッフィングプロファイルには、リソースの電子メールアドレスが含まれる	スタッフィングプロファイルをExcelにエクスポートすると、リソースの電子メールアドレスが [リソース] 列にツールヒントとして表示されます。これは、同じ名前のリソースを区別するのに役立ちます。 詳細については、 スタッフィングプロファイルのエクスポート を参照してください。
提案のスタッフィングプロファイルの地域のデフォルトは提案の地域	提案のスタッフィングプロファイルを作成すると、提案の地域がスタッフィングプロファイルのデフォルト地域として使用されます。 詳細については、 スタッフィングプロファイルの作成 を参照してください。

管理の機能拡張

特定のユーザーを保護対象として指定し、意図しない変更を防ぐことができるようになりました。

詳細については、[保護されたユーザー](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

リクエストの詳細をセクションで表示する代わりに、タブで表示できるようになりました。これにより、長いページを上下にスクロールする必要がなくなります。

タブの使用は、[[[リクエスト詳細](#)] ページでタブを使用する] 機能切り替えがオンになっている場合に有効になります。

注記: これはベータ機能です。

詳細については、[リクエストの表示](#)を参照してください。

APMの機能拡張

動的グラフは、最新のブラウザーのほとんどで動作するようになりました。

詳細については、[動的グラフ](#)を参照してください。

ポートレットの機能拡張

新しいオプション **[[プロジェクト名] プリファレンスと同じ順序でプロジェクトを表示]** が、プロジェクトタイムラインポートレット設定ページに追加されました。[プロジェクト名] プリファレンスフィールドで定義されているのと同じ順序でプロジェクトを表示できます。

詳細については、[ポートレットプリファレンスの編集](#)を参照してください。

Internet Explorerの廃止

Microsoft Internet Explorerのサポートは終了しました。代わりに他のブラウザーを使用することをお勧めします。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 10.0.4の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 10.0.4で導入されました。

注記: PPMバージョン10.0から10.0.4のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 10.0.4で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン10.0~10.0.3の拡張機能を表示するには、[PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

以下の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

刷新された戦略タブ

次の2つのサブタブが [戦略] タブに追加されました。

- **戦略テーマとビジネスゴール:** ポートフォリオに含まれるすべての戦略テーマとビジネスゴールを一覧表示します。ビジネスゴールは、ビジネスゴールが一致する戦略テーマによってグループ化されます。
- **戦略マップ:** グローバル戦略テーマ、その上位ポートフォリオ、および下位ポートフォリオとのポートフォリオの戦略的整合性を示します。

詳細については、[戦略マップ](#)を参照してください。

戦略テーマとビジネスゴールの詳細で利用可能な戦略的調整情報

戦略テーマとビジネスゴールの詳細ページから戦略的調整情報を表示できるようになりました。

- 戦略テーマを開くと、戦略テーマに沿ったビジネスゴールとイニシアチブを表示できます。
- ビジネスゴールを開くと、ビジネスゴールに関連するKPIの影響値を持つイニシアチブを表示できます。

詳細については、[戦略テーマを表示するとビジネスゴールのパフォーマンスを追跡する](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

より多くのOOTBフィールドのカスタム検証をサポート	<p>より多くのOOTBフィールドに対してカスタム検証を使用できるようになりました。</p> <p>詳細については、OOTBフィールドにカスタム検証を使用するを参照してください。</p>
FIPS準拠のためにBouncy Castle暗号化ライブラリを適用する	<p>PPMは、FIPS 140-2準拠のために、RSA暗号化ライブラリの代わりにBouncy Castle暗号化ライブラリを適用するようになりました。</p> <p>詳細については、FIPS 140-2準拠のOpenText PPMの暗号化アルゴリズムの適用を参照してください。</p>
モバイルアクセスは、Microsoft Exchange OnlineのOAuth認証をサポートする	<p>Eメールからの要求を処理できるようにするPPMモバイルアクセスは、Microsoft Exchange OnlineのOAuth認証もサポートするようになりました。</p> <p>詳細については、モバイルアクセスの構成を参照してください。</p>

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストの検索ページの新しいフィルター	<p>リクエストの検索ページに次のフィルターが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none">• リクエストの説明が次の文字列を含む: リクエストの説明に含まれるキーワードでリクエストを検索します。• リクエストメモが次の文字列を含む: リクエストノートに含まれるキーワードでリクエストを検索します。 <p>詳細については、リクエストの検索を参照してください。</p>
リクエストをキャンセルすると、関連付けられたスタッフィングプロファイルもキャンセルされる	<p>リクエストをキャンセルすると、それに関連付けられたスタッフィングプロファイルもキャンセルされます。</p> <p>詳細については、リクエストのキャンセルを参照してください。</p>

PPM-ServiceNow統合

PPMリクエストをServiceNowエンティティと統合できるようになりました。

詳細については、[PPMとServiceNowの統合](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

時間の承認者に再作業されたタイムシートの明細を通知する	承認者によって承認されたタイムシートの明細が再作業されたときに、時間の承認者に通知を送信するようにPPMを構成できるようになりました。 詳細については、 時間の承認者に再作業されたタイムシートの明細を通知する を参照してください。
[時間の承認] ページにタイムシート/タイムシート明細メモを表示する	[時間の承認] ページに、タイムシートとタイムシート明細に入力されたメモが表示されるようになりました。 詳細については、 時間の承認または却下 を参照してください。

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

新しいコスト要因: コストカテゴリ	コストカテゴリ コスト要因を使用して、作業計画タスクの実績コストとスタッフィングプロファイルポジションの予測コストを計算できるようになりました。 詳細については、 コスト要因の適用 を参照してください。
通貨の更新	PPMは、通貨に対して次の更新を実装しました。 <ul style="list-style-type: none">• 南スーダンポンドやスリナムドルなどの通貨を追加しました。• ISO 4217規格に準拠するよういくつかの既存の通貨を更新しました。 詳細については、 財務為替レートと通貨の管理 を参照してください。

管理の機能拡張

一度に複数のユーザーを無効にできるようになりました。

詳細については、[複数のユーザーを同時に無効にする](#)を参照してください。

レポートの機能拡張

ユーザーが無効になっている場合、そのユーザーがスケジュールしたレポートをスキップして自動的にキャンセルできるようになりました。

この機能は、**SKIP_SCHEDULED_REPORT_WHEN_SUBMITTER_DISABLED**および**DELETE_SCHEDULED_REPORT_WHEN_SUBMITTOR_DISABLED_FOR_DAYS**パラメーターが**true**に設定されている場合に有効になります。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

ポートレットの機能拡張

新しいオプション [**自分が管理しているプロジェクト**] が、**[プロジェクトのガント]** および **[プロジェクトタイムライン]** ポートレットの設定ページに追加されました。共有ダッシュボードページのこれらのポートレットで、現在ログインしているユーザーが管理するプロジェクトのみを表示できます。

詳細については、[ポートレットプリファレンスの編集](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 10.0.3の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 10.0.3で導入されました。

注記: PPMバージョン10.0から10.0.3のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 10.0.3で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン10.0~10.0.2の拡張機能を表示するには、[PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)を参照してください。

PPM-Agile統合の機能拡張

次の拡張機能がPPM-Agile統合に追加されました。

<p>PPMリクエストタイプとアジャイルエンティティタイプマッピングの同期方向を指定する</p>	<p>PPMは、PPMリクエストタイプとアジャイルエンティティタイプのマッピングに対して、次の新しい同期方向をサポートするようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アジャイルエンティティ -> 新しいPPMリクエスト: ALM OctaneまたはJiraで作成されたか、すでに存在し、まだPPMリクエストにマップされていないアジャイルエンティティの場合、マップされたリクエストタイプの要求がPPMで自動的に作成されます。 • PPMリクエスト -> 既存のアジャイルエンティティ。PPMリクエストを既存のJira課題にマップできます。 <p>詳細については、PPMリクエストタイプをJira課題タイプにマップするおよびPPMリクエストタイプをALM Octaneエンティティタイプにマップするを参照してください。</p>
<p>アジャイルツールとの接続をテストする</p>	<p>PPMとの統合のためにアジャイルインスタンスを追加すると、アジャイルツールとの接続をテストできるようになりました。</p> <p>詳細については、アジャイル開発ツールとの統合を参照してください。</p>
<p>マップされたアジャイルエンティティからPPMリクエストのリンクを解除する</p>	<p>マッピングされたアジャイルエンティティからPPMリクエストのリンクを解除できるようになりました。</p> <p>詳細については、エンティティマッピングを削除するを参照してください。</p>
<p>より多くのフィールドタイプマッピングをサポート</p>	<p>PPMは、ALM OctaneおよびJiraとの統合で、フィールドマッピングのより多くのフィールドタイプをサポートします。</p> <p>詳細については、サポートされているPPM-OctaneフィールドタイプマッピングおよびサポートされているPPM-JIRAフィールドタイプマッピングを参照してください。</p>

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

<p>セルフサービスポートレットの新しい表示タイプ</p>	<p>セルフサービスポートレット用に2つの新しい表示タイプが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バブルチャート: 3次元のデータを表示します。 ・ カード: 特定のフィールドからの集計値を表示できます。 <p>詳細については、セルフサービスポートレットの表示オプションを設定するを参照してください。</p>
<p>セルフサービスポートレット用の新しいOOTBデータソース</p>	<p>PPMは、セルフサービスポートレット用の新しいOOTBデータソースKPIを提供するようになり、KPI情報を表示できるようになりました。</p> <p>詳細については、KPIデータソースを参照してください。</p>
<p>リクエスト、プログラム、ポートフォリオ、チーム用の改良されたダッシュボード</p>	<p>PPMは、リクエスト、プログラム、ポートフォリオ、およびチームのダッシュボードを刷新しました。改良されたバージョンでは、データビューが最適化され、ポートレットのサイズ変更の柔軟性が向上しています。</p> <p>詳細については、リクエストタイプのダッシュボードの設定、プログラムの概要のレイアウトポリシー、ポートフォリオ概要、およびチームの概要を参照してください。</p>

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

<p>ポジションの地域を指定</p>	<p>[地域] フィールドを使用して、ポジションの地域を指定できるようになりました。</p> <p>詳細については、ポジションの追加を参照してください。</p>
<p>特定の地域からリソースを検索して割り当てる</p>	<p>スタッフィングプロファイルのポジションにリソースを割り当てるときに、特定の地域からリソースを検索できるようになりました。</p> <p>詳細については、リソースファインダーを使用するを参照してください。</p>

<p>ポジションの未処理のデマンドの予測コストを計算するためにPPMが使用する地域を指定する</p>	<p>新しいサーバーパラメーター: FM_SP_POSITION_REGION_PRECEDENCEが追加されました。ポジションの未処理のデマンドの予測人件費を計算するときに、PPMがコストルールを取得するために使用する地域の優先順位を指定できます。</p> <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>
<p>スタッフィングプロファイルのオートコンプリートフィールドでサポートされるインタラクティブなヒント</p>	<p>リストされたエンティティまたはユーザーとの対話を可能にするオートコンプリートフィールドのインタラクティブなヒントが、スタッフィングプロファイルでも利用できるようになりました。</p> <p>詳細については、オートコンプリートフィールドのヒントを有効にするを参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

<p>SAML SSO認証</p>	<p>PPMはSAML SSO認証をサポートするようになりました。ユーザーは、組織内の他のSAML SSOアプリケーションと同様に、SAML SSOを使用してPPMにログインできます。</p> <p>詳細については、SAML SSO認証のセットアップを参照してください。</p>
<p>アプリケーションの例外を簡単に表示</p>	<p>PPMは例外の検索機能を拡張し、管理者がアプリケーション例外を表示して問題をトラブルシューティングしやすくしました。</p> <p>詳細については、例外の表示を参照してください。</p>
<p>外部サイトのコンテンツをPPMに埋め込む</p>	<p>新しいサーバーパラメーター: TRUSTED_EXTERNAL_URLSが追加され、外部WebサイトのコンテンツをPPMに簡単に埋め込むことができるようになりました。</p> <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

譲渡および削除されたリソースのアサインオプション	<p>チームからリソースの参加を100%譲渡または削除する場合、PPMが現在のチームでリソースのアサインをどのように処理するかを選択できるようになりました。</p> <p>詳細については、リソースまたはサブチームを別のチームに転送するおよびリソース、名前なしヘッドカウント、サブチームの削除を参照してください。</p>
チームの過負荷率を表示	<p>[ヒートマップ] タブに [過負荷率] 属性が含まれるようになりました。チームが過負荷になっているかどうか、およびチームがどれだけ過負荷になっているかがわかります。</p> <p>詳細については、チーム/リソース別のヒートマップを参照してください。</p>

OOTBフィールドにカスタム検証を使用する

一部のOOTBフィールドでカスタム検証を使用できるようになりました。

詳細については、[OOTBフィールドにカスタム検証を使用する](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

プロジェクトの概要のレイアウトをデフォルトにリセット	<p>プロジェクトマネージャーは、プロジェクトの概要のレイアウトをリセットして、プロジェクトタイプから継承されたデフォルトのレイアウトを使用できるようになりました。</p> <p>PPM管理者は、特定のプロジェクトタイプの既存のすべてのプロジェクトの概要レイアウトをリセットして、プロジェクトタイプから継承されたデフォルトレイアウトを使用できるようになりました。</p> <p>詳細については、概要のレイアウトをリセットおよび既存のプロジェクトの概要のレイアウトをリセットを参照してください。</p>
ポートレットをすべてのプロジェクトダッシュボードに追加する	<p>PPM管理者は、特定のプロジェクトタイプのすべての既存プロジェクトの概要タブに1つ以上のポートレットを追加できるようになりました。</p> <p>詳細については、すべてのプロジェクトにポートレットを追加を参照してください。</p>

ポートフォリオ管理の機能拡張

ポートフォリオのコンテンツを別のポートフォリオに移動できるようになりました。

詳細については、[ポートフォリオコンテンツを別のポートフォリオに移動する](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

ユーザーが引き続きタイムシートを送信できるように、カスタムタイムシートルールの違反を無視するように構成できるようになりました。

詳細については、[タイムシートのカスタムルール](#)を参照してください。

廃止

USE_REGION_OF_RESOURCE_POOL_FOR_POSITION_FORECAST_COST

パラメーターは非推奨です。このパラメーターの設定は、10.0.3へのアップグレード後に記憶されます。このパラメーターを置き換えるには、**FM_SP_POSITION_REGION_PRECEDENCE**パラメーターを使用して、ポジションの未処理のデマンドの予測人件費を計算するときPPMがコストルールを取得するために使用する地域を指定できます。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 10.0.2の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 10.0.2で導入されました。

注記: PPMバージョン10.0から10.0.2のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 10.0.2で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン10.0~10.0.1の機能拡張を表示するには、[PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)を参照してください。

新機能のビデオ

PPM 10.0.1~10.0.2に含まれるいくつかの新機能と機能拡張について説明します。

ポートフォリオ管理の機能拡張

ポートフォリオタイプのデフォルトの戦略テーマとビジネスゴールを設定できるようになりました。デフォルトでは、新しいポートフォリオは、そのポートフォリオタイプから継承された戦略テーマとビジネスゴールを使用します。

詳細については、[ポートフォリオタイプの戦略テーマとビジネスゴールを設定する](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

作業計画のクイックビューの強化された日付ピッカー	<p>作業計画のクイックビューの日付ピッカーには、次の機能拡張が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none">• ドロップダウンリストから年と月を選択できるようになりました。• 週の最初の日、地域の設定に基づいて自動的に選択されます。• 月の最初の日または最後の日が週の途中にある場合は、週全体が表示されます。 <p>詳細については、タスクの詳細の編集を参照してください。</p>
完全なリストから新しい問題、リスク、またはスコープ変更を記録します	<p>問題、リスク、スコープ変更の完全なリストから、新しい項目をログに記録したり、プロジェクトサマリタブに戻ったりすることができるようになりました。</p> <p>詳細については、問題、リスク、スコープ変更をログに記録して表示するを参照してください。</p>
作業計画のすべてのビューで使用できる [プロジェクトに戻る] ボタン	<p>[プロジェクトに戻る] ボタンは、以前は作業計画のクイックビューでのみ使用できましたが、他のすべてのビューでも使用できるようになりました。</p> <p>詳細については、作業計画ビューを理解するを参照してください。</p>

必須のユーザーデータフィールドは、作業計画のすべてのビューに適用されます	<p>タスクにユーザーデータフィールドが必要な場合は、非表示に設定されている場合でも、作業計画のクイックビューでは必須であり、他のビューでは常に表示され、必須です。</p> <p>詳細については、タスクの詳細の編集を参照してください。</p>
作業計画のクイックビューの選択したタスクの上にタスクを追加	<p>作業計画のクイックビューで、選択したタスクの上にタスクを追加できるようになりました。</p> <p>詳細については、タスクの追加を参照してください。</p>
[タスクの追加] ページでタスクアクティビティを定義する	<p>[タスクの追加] ページでタスクを追加するときに、タスクのアクティビティを定義できるようになりました。</p> <p>詳細については、タスクの追加を参照してください。</p>

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストのコピーで使用可能なオプションを制御する	<p>PPM管理者は、次のパラメーターを使用して、アジャイル統合フィールド、リクエストメモ、および参照をコピーするオプションを [リクエストのコピー] ページで使用できるようにするかどうかを制御できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • COPY_REQUEST_SHOW_COPY_AGILE • COPY_REQUEST_SHOW_COPY_NOTES • COPY_REQUEST_SHOW_COPY_REFERENCES <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>
リクエストのコピーオプションのデフォルト値を設定する	<p>PPM管理者は、次のパラメーターを使用して、リクエストをコピーするときにアジャイル統合フィールド、リクエストメモ、および参照をコピーするオプションがデフォルトで選択されるかどうかを制御できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • COPY_REQUEST_COPY_AGILE_DEFAULT • COPY_REQUEST_COPY_NOTES_DEFAULT • COPY_REQUEST_COPY_REFERENCES_DEFAULT <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>

<p>ワークフローステップのアイコンをより簡単に選択</p>	<p>ワークフローステップのアイコンを選択しやすくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イメージファイルパスを指定する代わりに、リストからイメージを選択できるようになりました。 • .png形式の画像がサポートされています。 <p>詳細については、意思決定ワークフローステップソースの作成を参照してください。</p>
<p>リクエストのリンクをコピー</p>	<p>リクエスト用に [リンクのコピー] ボタンが追加されました。リクエストリンクを任意のアプリケーションにコピーしたり、リンクを他のユーザーと共有したりできます。</p> <p>詳細については、リクエストのリンクをコピーを参照してください。</p>
<p>ユーザーフィールドのツールチップからすべてのユーザーが利用できるユーザー情報</p>	<p>ユーザーフィールドのツールチップから、ユーザーの詳細を表示し、ユーザーへの表示アクセス権がない場合でも、インスタントメッセージや電子メールをユーザーに送信できるようになりました。</p> <p>この機能を有効にするには、[すべてのPPMユーザがヒントにリソース情報を表示できるようにする] 機能切り替えをオンにします。</p> <p>詳細については、オートコンプリートフィールドのツールチップを有効にするを参照してください。</p>
<p>リクエストタイプの新しいアクセス許可</p>	<p>リクエストタイプに検索アクセス許可が追加されました。PPM管理者は、このアクセス許可を使用して、高度なリクエスト検索で特定のリクエストタイプを検索できるユーザーを制御できます。</p> <p>詳細については、リクエストタイプの参加者の設定および詳細リクエスト検索の実行を参照してください。</p>

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

<p>チーム管理とチームアサインを無効にする</p>	<p>チーム管理とチームアサインを使用したくない場合は、関連する機能の切り替えをオフにできるようになりました。</p> <p>詳細については、チーム関連機能の有効化を参照してください。</p>
<p>[デマンド] タブからリソースを割り当てるときに、有効なリソースのみを表示する</p>	<p>[デマンド] タブからリソースをポジションに割り当てると、デフォルトでは有効なリソースのみが選択のために表示されます。</p> <p>詳細については、リソースリクエストまたは保証の割り当てへのリソースのアサインを参照してください。</p>
<p>スタッフィングプロファイル属性によるチームデータのグループ化とフィルタリング</p>	<p>ステータスや終了期間などのスタッフィングプロファイル属性を使用して、次のことができるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • チームのデマンドと稼働率のフィルタリング。 • チームのデマンドのグループ化。 <p>詳細については、共通機能を参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

<p>ロガーマネージャーの更新</p>	<p>[ロガーマネージャ] ページには、次の更新が含まれています:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現在のノードで行われた変更は、クラスター内の他のノードにも適用されます。 • [Web UIからログレベルを指定する] 機能切り替えを使用して、このページを表示または非表示にできるようになりました。 • 管理コンソールからこのページにアクセスできるようになりました。 <p>詳細については、Web UIからPPMログレベルを指定する (ベータ版) を参照してください。</p>
----------------------------	--

<p>最新化されたSQL Runnerページ</p>	<p>[SQL Runner] ページが新しくモダンな外観になり、ユーザーエクスペリエンスが向上しました。</p> <p>フルスクリーンでSQLステートメントを編集できるようになりました。キーボードショートカットを使用して、SQLステートメントを実行および循環します。</p> <p>詳細については、SQLクエリを管理コンソールから実行するを参照してください。</p>
<p>パラメーターがStingerの検証に失敗した場合のエラーメッセージとサーバーログ情報の改善</p>	<p>PPMは、リクエストパラメーターがStinger検証に失敗した場合に、より役立つエラーメッセージとサーバーログ情報を提供できるようになりました。これにより、PPM管理者は問題のトラブルシューティングが容易になります。</p> <p>詳細については、サーバーログファイルとセキュリティガイドを参照してください。</p>

PPM - ALM Octane統合の機能拡張

PPMリクエストタイプをALM Octaneエンティティタイプにマッピングすると、次のことができますようになりました。

- PPMリクエストタイプをALM Octaneの共有エピックにマップします。
- すべてのALM Octaneプロジェクトに一致するワイルドカードプロジェクトを選択します。

詳細については、[PPM内からのALM Octaneエンティティの管理](#)を参照してください。

インストールとアップグレードの機能拡張

PostgreSQLデータベースを使用してPPMをインストールまたはアップグレードするときに、次の操作を実行できるようになりました。

- パラメーター値を設定するには、**export**コマンドを使用します。
- PPMをサイレントモードでインストールします。
- PPMファイルシステムのみをアップグレードします。

詳細については、[インストールとアップグレード](#)を参照してください。

リソースプールの分析ポートレットの更新

リソースプールの分析ポートレットを使用して、次のことができますようになりました。

- 管理するすべてのリソースプールを含めます。
- 選択したリソースプールの子リソースプールを除外します。

詳細については、[リソースプールとスタッフィングプロファイルとの比較](#)を参照してください。

kMigratorの改善

kMigratorには、次の改善が含まれています。

- **kMigratorExtract.sh**および**kMigratorImport.sh**スクリプトを使用して、ポートフォリオタイプとPPM統合SDK設定を移行できるようになりました。
- **ignorePpmVersionDifference**パラメーターを使用して、エンティティをインポートするときにバージョンの違いを無視するようにPPMを構成できるようになりました。

詳細については、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)を参照してください。

ワークベンチの機能拡張

PPMワークベンチで、ワークフローWorkbench、ワークフローステップソース、およびワークフローウィンドウのサイズを簡単に変更できるようになりました。

詳細については、[ワークフローを構成する](#)および[ワークフローステップソースを構成する](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 10.0.1の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 10.0.1で導入されました。

注記: PPMバージョン10.0から10.0.1のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、PPM 10.0.1で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン10.0の拡張機能を表示するには、[PPM 10.0の新機能](#)を参照してください。

ポートフォリオ予算

[財務] タブに、ポートフォリオの予算情報が含まれるようになりました。このタブを使用して、ポートフォリオの予算を表示および管理できます。

詳細については、[ポートフォリオ予算](#)を参照してください。

統合の機能拡張

次の拡張機能がPPM統合ソリューションに追加されました。

リクエストアジャイルマッピングでの ワイルドカードJIRAプロジェクトの サポート	PPMリクエストタイプをJIRAエンティティタイプにマッピングするときに、ワイルドカードJIRAプロジェクトを指定して、すべてのJIRAプロジェクトに一致させることができるようになりました。これにより、JIRAプロジェクトごとに同じリクエストアジャイルマッピングを作成する必要がなくなります。
PPMタスクとALMリリースの統合の ためのAPIキーとSSO認証のサポート	PPMは、PPMタスクとALMリリース間の統合のために、次の認証をサポートするようになりました。 <ul style="list-style-type: none">• ALM 12.60以降のバージョンのAPIキー認証。• ALM 15.5.1以降のバージョンのSSO認証。
利用可能なシートをPPMタスクに マップするように制限する	PPM管理者は、指定したワークスペースまたはフォルダーのシートのみをPPMタスクにマップできるように制御できるようになりました。
PPM-Smartsheet統合でタスク工数 フィールドマッピングをサポート	PPMタスクをSmartsheetシートにリンクするときに、Smartsheetタスク工数フィールドをPPMタスク工数フィールドにマップできるようになりました。

レポートの機能拡張

次の拡張機能がPPMレポートに追加されました。

新しいレポートタイプ: Webレポート	Webレポートを使用して、任意の形式のレポートを生成し、レポートファイル名をカスタマイズできるようになりました。 詳細については、 JSPレポート 、 Excelレポート および Webレポート を参照してください。
完了したレポートを電子メール通知に添付する	レポートを実行するときに、完成したレポートを電子メール通知に添付できるようになりました。 詳細については、 レポートの送信 を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

プライベートダッシュボードページを共有する	プライベートダッシュボードページを他のPPMユーザーと共有できるようになりました。 詳細については、 プライベートダッシュボードページを共有する を参照してください。
セルフサービスポートレットの更新	次の拡張機能がセルフサービスポートレットに追加されました。 <ul style="list-style-type: none">ゲージチャートビューでは、値のリストから選択するだけでなく、ターゲット値を手動で入力できるようになりました。グリッドビューでは、条件付き書式を作成して適用し、グリッドに表示されるデータを強調表示、強調、または区別できるようになりました。 詳細については、 セルフサービスポートレットの表示オプションを設定する を参照してください。

Javaポートレットはデフォルトで、現在ログインしているユーザーのデータを表示します

現在ログインしているユーザーを、一部のJavaポートレットのデフォルト設定値として設定できるようになりました。このようなJavaポートレットを共有ダッシュボードページに追加すると、ポートレットはデフォルトで、現在ログインしているユーザーのデータを表示します。

このようなJavaポートレットには、アサインの負荷の分析ポートレット、プロジェクトリストポートレット、およびプロジェクトのガントポートレットが含まれます。

詳細については、[ポートレットプリファレンスの編集](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

スタッフィングプロファイルの終了期間を変更する際の最も早い月を制御する

STAFFING_PROFILE_END_PERIOD_NO_ EARLIER_THAN_MONTHパラメーターを使用して、スタッフィングプロファイルの終了期間を変更する際の最も早い月を制御できるようになりました。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

リソース割り当て管理ページに、完了済みスタッフィングプロファイルからのポジションを表示するかどうかを制御する

リソース割り当て管理ページに、完了済みスタッフィングプロファイルからのポジションを表示するかどうかを制御できるようになりました。

詳細については、[リソース割り当て管理ページを制御するパラメーターと機能の切り替え](#)を参照してください。

関連リソースプールのステータスを表示する

[リソースプールの表示] ページから、その子および親のリソースプールのステータスを表示できるようになりました。

詳細については、[リソースプール情報のロールアップ](#)を参照してください。

関連リソースプールを主に関係別に並べ替える

関連リソースプールは、主に関係(親が一番上)、次にステータス(最初に有効)、最後に名前で並べ替えられます。

詳細については、[リソースプール情報のロールアップ](#)を参照してください。

スタッフィングプロファイルの地域カレンダーを使用して、FTE単位でリソースデマンドを計算する (ベータ版)	PPMは、スタッフィングプロファイルの地域カレンダーに基づいてFTE単位でリソース予測デマンドを計算できるようになりました。 注記: これはベータ機能です。 詳細については、 スタッフィングプロファイルの地域カレンダーを使用してFTE単位で需要を計算する を参照してください。
会社からリソースを検索	特定の会社に関与するリソースを検索できるようになりました。 詳細については、 リソースの設定 を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

[パスワードの変更] ページからパスワードをリセットする	[パスワードの変更] ページの [パスワードを忘れた場合] リンクを使用して、パスワードをリセットできるようになりました。 詳細については、 パスワードのリセット を参照してください。
Web UIからPPMログレベルを指定する (ベータ版)	Web UIから特定の製品機能のログレベルを指定できるようになりました。 注記: これはベータ機能です。 詳細については、 Web UIからPPMログレベルを指定する (ベータ版) を参照してください。

PPMをPostgreSQLデータベースでアップグレードする (ベータ版)

PostgreSQLデータベースを使用するPPMを最新バージョンにアップグレードできるようになりました。

詳細については、[PPMのアップグレード - PostgreSQL \(ベータ版\)](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 10.0の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 10.0で導入されました。

ポートフォリオ財務

財務タブがポートフォリオで利用できるようになりました。このタブを使用して、ポートフォリオのコストとベネフィットを追跡および管理できます。

詳細については、[ポートフォリオ財務](#)を参照してください。

セルフサービスポートレットの拡張機能

次の拡張機能がセルフサービスポートレットに追加されました。

お気に入りのビュー	<p>これで、セルフサービスポートレットのお気に入りのビューを作成できます。これにより、単一のポートレットを使用して、さまざまな観点から同じデータを分析し、それらを異なる形式で表示できます。</p> <p>詳細については、セルフサービスポートレットのお気に入りのビューの管理を参照してください。</p>
ドリルダウン先ビュー	<p>セルフサービスポートレットのお気に入りビューのドリルダウン先ビューを定義できるようになりました。これにより、より詳細にドリルダウンできます。</p> <p>詳細については、お気に入りビューのドリルダウン先ビューを定義するを参照してください。</p>
新しい表示タイプ	<p>2つの新しい表示タイプ: サンキーダイアグラムとゲージダイアグラムがセルフサービスのポートレットに追加され、データレポートの柔軟性が向上しました。</p> <p>詳細については、セルフサービスポートレットの表示オプションを設定するを参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

管理コンソールでのより包括的なライセンスの使用	<p>管理コンソールは、PPMモジュールベースのライセンスの消費状況、PPMモジュール間で購入したライセンスの配布など、より包括的なライセンス使用情報を提供するようになりました。</p> <p>詳細については、ライセンスの使用状況を管理コンソールから表示するを参照してください。</p>
APIキー認証	<p>APIキーを使用して、PPMにアクセスする外部アプリケーションに安全な認証メカニズムを提供できるようになりました。</p> <p>詳細については、APIキーアクセスの設定を参照してください。</p>
カスタムWARファイルをデプロイする	<p>これで、カスタムWARファイルをPPMサーバーにデプロイできます。</p> <p>詳細については、PPMサーバーにWARファイルをデプロイするを参照してください。</p>
REST APIを使用してユーザー情報を取得する	<p>これで、REST APIを使用して、地域設定やセキュリティグループなど、現在ログインしているユーザーに関するさまざまな情報を取得できます。</p> <p>詳細については、対話型REST APIヘルプを参照してください。</p>

コンカレントライセンスの機能拡張

コンカレントライセンスに次の機能拡張が追加されました。

非アクティブなコンカレントセッションを強制終了する	<p>コンカレントライセンスが不足している場合は、非アクティブなセッションを強制的に閉じてコンカレントライセンスを解放できます。</p> <p>詳細については、コンカレントセッションを強制終了するを参照してください。</p>
コンカレントライセンス使用の通知	<p>PPMは、コンカレントライセンスの使用に関する通知を送信できるようになりました。PPMが通知を送信するタイミングと送信先を設定できます。</p> <p>詳細については、コンカレントライセンスの使用通知の設定を参照してください。</p>

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストタイプのコマンドをトリガーする新しいルール	関連するリクエストでコマンドを実行すると、リクエストタイプのコマンドをトリガーできるようになりました。 詳細については、 リクエストタイプコマンドのイベントルールを有効にする を参照してください。
すべてのフィールドが非表示になっているときにセクションを非表示にする	UIルールによってすべてのフィールドが非表示になったときに、セクションを非表示にできるようになりました。 詳細については、 基本的なリクエストの編集を実行する を参照してください。

新規特殊コマンド

PPMは新規特殊コマンドを導入しました: **ksc_run_command_in_other_requests**

リクエストの変更が関連するリクエストに影響を与える場合は、リクエストでこのコマンドを実行して、関連するリクエストの任意のコマンドの実行をトリガーできます。これは、単一のコマンドを実行することにより、関連するすべての要求に変更を適用するのに役立ちます。

詳細については、[ksc_run_command_in_other_requests](#)を参照してください。

PostgreSQLデータベースのサポート (ベータ版)

これで、PostgreSQLデータベースを使用してPPMを実行できます。

注記: これはベータ機能です。

詳細については、[PostgreSQLを使用したPPMのインストール](#)を参照してください。

統合の更新

NotionまたはSmartsheetで管理されているタスクをPPM作業計画にインポートできるようになりました。

注記: これらはベータ機能です。

詳細については、[NotionからPPM作業計画 \(ベータ版\) へのタスクのインポート](#)および[SmartsheetからPPM作業計画 \(ベータ版\) へのタスクのインポート](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

<p>タスクのスケジュールされた終了日がプロジェクトの終了日までであることを確認します</p>	<p>[タスクのスケジュールされた終了日がプロジェクトの終了日を超えて延長されるのを禁止する] 機能切り替えをオンにすることで、タスクのスケジュールされた終了日がプロジェクトの終了日より遅くないことを確認できるようになりました。</p> <p>詳細については、タスクの追加を参照してください。</p>
<p>作業計画の改善</p>	<p>次の機能拡張が作業計画に追加され、より優れたユーザーエクスペリエンスが提供されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 作業計画のクイックビューでタスク名を編集するときに、編集ボックスが拡大され、タスク名全体が表示されるようになりました。• 作業計画のベースラインの詳細を表示するときに、[Microsoft Project内で作業計画を開く] ボタンが無効になりました。• 作業計画のスケジュールされた作業の編集クイックビューは、他のビューと同じになりました。 <p>詳細については、タスクの詳細の編集を参照してください。</p>

kMigratorの改善

kMigratorExtract.shおよび**kMigratorImport.sh**スクリプトを使用してセルフサービスポートレットデータソースを移行できるようになりました。

詳細については、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)を参照してください。

廃止

従来のPPMモバイルWebクライアントは、このリリースから非推奨になりました。10.0より前のレガシーPPMモバイルWebクライアントを使用する場合、アップグレード後は、**PPM for Mobile**を使用する必要があります。

詳細については、[PPM for Mobile](#)を参照してください。



- [49ページの「PPMの新機能 - 以前のバージョン」](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 9.66の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 9.66で導入されました。

新機能のビデオ

PPM 9.66に含まれるいくつかの新機能と拡張機能について説明します。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

セルフサービスポートレット データソースを作成する

PPMが提供するセルフサービスポートレットデータソースの使用に加えて、PPM管理者はダッシュボードデータソースからセルフサービスポートレットデータソースを作成できるようになりました。

詳細については、[セルフサービスポートレットデータソース](#)を参照してください。

セルフサービスポートレット データソースのODataリンク (ベータ版)

セルフサービスポートレットデータソースのODataリンクを作成できます。これにより、エクスポートを繰り返すことなく、PPMデータをMicrosoft ExcelまたはPower BIに常に同期できます。

詳細については、[セルフサービスポートレットデータソースのODataリンク操作](#)を参照してください。

財務コストデータソースの更新	<p>財務コストデータソースが拡張され、セルフサービスのポートレットに次のデータを表示できるようになりました:</p> <ul style="list-style-type: none">• 資産と提案の財務コスト。• ポートフォリオとプログラムの内容の財務コスト。• プロジェクト期間の全範囲におけるプロジェクトの財務コスト。• コスト明細のユーザーデータ。 <p>詳細については、財務コストデータソースを参照してください。</p>
セルフサービスのポートレットを追加して、ダッシュボードと [チームの概要] タブをリクエストする	<p>これで、セルフサービスのポートレットを次の場所に追加できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• ダッシュボードをリクエスト• [チームの概要] タブ <p>詳細については、セルフサービスポートレットの設定を参照してください。</p>
HTML +ポートレットを境界なしで表示する	<p>HTML +ポートレットを境界なしで表示できるようになりました。</p> <p>詳細については、標準ポートレット定義の作成を参照してください。</p>
ドリルダウン先ポートレットの更新	<p>次のオプションは、ドリルダウン先のポートレットでもサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none">• 最大化されたビュー• 表示列の選択 <p>詳細については、ポートレットのドリルダウンページを定義するを参照してください。</p>

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

メンバータブの更新	<p>メンバー タブから、次のことができるようになりました:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前のないリソースを追加または削除する。 • サブチームを削除するか、別のチームに転送する。 • チームリソースとサブチームのキャパシティを表示する。 • 組織図ビューでチームを表示する。 <p>詳細については、チームキャパシティの管理およびチームメンバーの表示を参照してください。</p>
デマンドタブの更新	<p>デマンド タブからリソースをポジションにアサインする場合、次のことができるようになります:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択したリソースをコミットする。 • ポジションのデマンドを選択したリソースに均等に配分する。 <p>詳細については、リソースリクエストや保証の割り当てへのリソースのアサインを参照してください。</p>
ヒートマップタブの更新	<ul style="list-style-type: none"> • データは、より意味のある情報を提供するために最適化。 • データは時間および人日単位でも表示できます。 <p>詳細については、チームヒートマップを参照してください。</p>

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストを保存するときにコマンドを実行する (ベータ版)	<p>リクエストを保存するときに、リクエストタイプのコマンドを実行することもできます。</p> <p>詳細については、リクエストタイプコマンドのイベントルールを有効にするを参照してください。</p>
参照されているプロジェクトまたはプログラムの名前の変更は、リクエストに反映される	<p>リクエストがプロジェクトまたはプログラムを参照している場合、参照されているプロジェクトまたはプログラムの名前が変更されると、新しい名前がリクエストに反映されます。</p> <p>詳細については、リクエストヘッダータイプのフィールドグループを参照してください。</p>

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

カスタム計算によるプロジェクトの進捗状況の定義	カスタムメソッドによって計算されたプロジェクトの進行状況を示すプロジェクトフィールドを定義します。PPMは、フィールド値に基づいてプロジェクトの進捗状況を表示します。 詳細については、 スケジュールポリシー を参照してください。
タスクの実績を使用してリソース負荷を計算する	PPMでは、作業計画タスクの実績を使用してリソース負荷を計算できるようになりました。 詳細については、 リソース負荷設定 を参照してください。

プログラム管理の機能拡張

プログラムダッシュボードセクションが [プログラムの概要] ページに追加されました。このセクションにポートレットを追加して、プログラムのリアルタイム情報を表示できます。

詳細については、[プログラムの概要のレイアウトポリシー](#)を参照してください。

マイタイムシートアプリの更新

マイタイムシートアプリを使用して、タイムシートラインのアクティビティ、料金コード、およびユーザーデータを追加できるようになりました。

詳細については、[アクティビティ、料金コード、ユーザーデータの追加](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

PPMは、リソースの地域カレンダーに基づいてFTEユニットのリソース工数を計算できるようになりました。

可用性: これはベータ機能です。これは、リソース割り当て管理ページのガントビューおよびスタッフィングプロファイルの新しいUIで使用できます。

詳細については、[地域カレンダーを使用してFTEユニットの労力を計算する](#)を参照してください。

統合の更新

PPMは、PPMタスクとALM Octaneプロジェクトを統合するためのSSO認証をサポートしています。

詳細については、[PPMタスクとALM Octaneプロジェクトのリンク](#)を参照してください。

拡張機能の更新

Oracle E-Business Suite 12.2.3以降のバージョンでファイルを移行するときに、ファイルシステムの実行とパッチを自動的に取得できるようになりました。

詳細については、[PPM機能拡張と移行機能](#)を参照してください。

財務管理の機能拡張

これで、REST APIを使用して、コスト要因、コストルール、および為替レートを管理できます。

詳細については、[対話型REST APIヘルプ](#)を参照してください。

ライセンスアサインの変更に関する監査履歴

ライセンスアサインの変更は、ITG_AUDIT_EVENTSテーブルに記録されるようになりました。

詳細については、[ユーザーへのライセンスのアサイン](#)を参照してください。

認証用のJWTのサポート

PPMは、RESTful WebサービスのJSON Web Token (JWT) 認証をサポートするようになりました。

詳細については、[PPM RESTful Webサービスの概要](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMのReadme](#)

PPM 9.65の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 9.65で導入されました。

新機能の s ビデオ

PPM 9.65に含まれるいくつかの新機能と拡張機能について説明します。

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

高度なアサイン	高度なアサインを使用して、スキルとロールがリソースリクエストに最も適しているリソースを見つけアサインできます。その間、リソースの残存キャパシティをチェックして、誰も過負荷になっていないことを確認できます。 詳細については、 高度なアサイン を参照してください。
[稼働率] タブ	稼働率 タブがチームの詳細ページで利用できるようになりました。チームメンバーのアサインを表示し、作業負荷のバランスを取るために適切なアクションを実行できます。 詳細については、 チームの稼働率を表示および編集する を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

セルフサービスポートレットの新しい表示タイプ: グリッドビュー	新しい表示タイプ: グリッドビューがセルフサービスポートレットに追加され、データを多次元の表形式で表示できるようになりました。 詳細については、 表示オプションの設定 - セルフサービスポートレット を参照してください。
--	---

セルフサービスポートレットの新しいデータソース: 財務コスト	新しいデータソース: 財務コスト がセルフサービスポートレットに追加され、プロジェクト、プログラム、およびポートフォリオの財務コストが表示されます。 詳細については、 財務コストデータソース を参照してください。
より多くのページにセルフサービスポートレットを追加する	[ポートフォリオタイプの設定] ページと [ポートフォリオの概要] タブに加えて、次のページにセルフサービスポートレットを追加できるようになりました。 <ul style="list-style-type: none">プロジェクトタイプの設定ページ[プロジェクトの概要] ページPPMダッシュボードページ
HTML+ポートレットの表示モードを切り替えるオプションを非表示にする	[HTML+ポートレットの表示モードを切り替えるオプションを非表示にする] 機能切り替えがオンになっている場合、表示モードを切り替えるオプションはHTML+ポートレットで非表示になります。 詳細については、 表示オプションの設定 - HTML +ポートレット を参照してください。

マイタイムシートアプリの機能拡張

PPM for Mobileのマイタイムシートアプリを使用して、タイムシートの明細を作り直すことができます。

詳細については、[タイムシートの明細の再作業](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

新規検証コンポーネントタイプ: チェックボックス	新規コンポーネントタイプ: チェックボックスが検証に追加されました。このコンポーネントタイプのフィールドは、[リクエストの詳細] ページにのみ追加できます。 詳細については、 検証の使用 を参照してください。
---------------------------------	---

<p>[参照] セクションでのクイック検索</p>	<p>リクエスト、プロジェクト、プログラム、パッケージ、およびタスクの [参照] セクションで参照を簡単に見つけることができるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 添付ファイルを参照として追加するときに、添付ファイルのキーワードを定義できます。キーワードは、複数の添付ファイルを区別し、添付ファイルをよりすばやく見つけやすくするのに役立ちます。 検索ボックスが各参照サブセクションに追加されました。ターゲットサブセクションに含まれるテキスト文字列で参照を検索できます。 <p>詳細については、添付ファイルをリクエストに対する参照として追加するおよび参照の検索とダウンロードを参照してください。</p>
<p>リクエストの添付ファイルを ZIPファイルとしてダウンロードする</p>	<p>これで、リクエストのすべての添付ファイルを ZIPファイルとしてダウンロードできます。</p> <p>詳細については、参照の検索とダウンロードを参照してください。</p>
<p>setFieldEditable() UIルールが テーブルコンポーネントでも機能</p>	<p>フィールドを編集可能または編集不可能にする UIルール: setFieldEditable() は、テーブルコンポーネントでも機能するようになりました。</p>
<p>リクエストタイプルールの新しい 依存条件: はnullではありません</p>	<p>新しい依存条件: はNullではありませんリクエストタイプのルールに追加されました。</p> <p>詳細については、高度なリクエストタイプルールの作成を参照してください。</p>

ガントチャートの機能拡張

PPMでは、ガントチャートの一部を刷新しました。新しいモダンな外観と改善されたユーザーエクスペリエンスを提供します。

詳細については、[ガントチャート](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

カスタムHTTPヘッダーから クライアントIPを読み取り

サーバーパラメーターREMOTE_IP_HTTP_HEADERを使用して、PPMがクライアントIPを読み取るカスタムHTTPヘッダーを設定できます。

これにより、Webサーバーまたはロードバランサーが使用されているときに、WebサーバーまたはロードバランサーのIPではなく、実際のクライアントIPがキャプチャーされます。

詳細については、[KNTA_LOGON_ATTEMPTS](#) および [サーバーパラメーター](#) を参照してください。

リクエストダッシュボードと プロジェクトの概要のレイアウトの 移行をサポート

これで、[kMigratorExtract.sh](#) および [kMigratorImport.sh](#) スクリプトを移行に使用できます。

- リクエストタイプのダッシュボード設定
- プロジェクトタイプの概要レイアウト設定

詳細については、[kMigratorExtract.sh](#) および [kMigratorImport.sh](#) を参照してください。

プログラム管理の機能拡張

これで、既存のプログラムタイプをコピーしてプログラムタイプを作成できます。

詳細については、[プログラムタイプの作成と設定](#) を参照してください。

時間管理の機能拡張

タイムシートの手数料コードを非表示にすることができるようになりました。[[タイムシートの手数料コードを非表示にする](#)] 機能切り替えをオンにすると、手数料コードがタイムシートに表示されなくなります。

- [手数料コード] セクションが [明細の詳細] ページから削除されました。
- [手数料コードを含める] オプションは、[タイムシートの作成] ページと [タイムシートのコピー] ページから削除されました。

詳細については、[時間のレポート](#) を参照してください。

ドキュメントの機能拡張

PPMで頻繁に使用されるシステム特殊コマンドのいくつかを文書化しました。

詳細については、[特殊コマンドの使用](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMのReadme](#)

PPM 9.64の新機能

このセクションでは、PPM 9.64で導入または拡張された機能の概要を説明します。

マイタイムシートアプリ

マイタイムシートアプリがPPM for Mobileで利用できるようになりました。このアプリを使用して、タイムシートを作成、更新、送信できます。

詳細については、[タイムシートの作成と送信](#)を参照してください。

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

チームのデマンド	<p>デマンドタブがチームの詳細ページで利用できるようになりました。これにより、中央の場所からチームのデマンドと割り当てにアクセスして管理できます。</p> <p>詳細については、チームのデマンドを表示を参照してください。</p>
チームタブの新しい名前	<p>チームの詳細ページで次のタブの名前を変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none">• メンバーとしてのチームリスト• ロードマップとしてのチームガント• ヒートマップとしてのチームヒートマップ

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

オートコンプリートフィールドのツールチップを有効にする	PPM管理者は、ツールチップを表示するオートコンプリートフィールドを構成できます。ツールチップから、ユーザーは次のことができます。 <ul style="list-style-type: none">• フィールドにリストされているエンティティの情報を表示する• エンティティの詳細ページに移動する• ユーザータイプフィールドの場合は、リストされているユーザーにチャットまたはメールを送信する 詳細については、 オートコンプリートフィールドのツールチップの有効化 を参照してください。
一括更新とクイック編集の進行状況を表示する	一連のリクエストに対して一括更新またはクイック編集を実行すると、更新の進行状況が表示されます。

プロジェクト管理の機能拡張

次の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

カスタム計算によるプロジェクトヘルスの定義

カスタムメソッドによって計算されたプロジェクトヘルスを示すプロジェクトフィールドを選択すると、PPMはフィールド値に基づいてプロジェクトヘルスを表示します。

詳細については、[プロジェクトヘルスポリシー](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

スタッフィングプロファイルの日付をプロジェクトの日付と同期する	<p>プロジェクトの日付が変更されると、関連スタッフィングプロファイルの日付がプロジェクトの新しい日付で自動的に更新されます。</p> <p>この機能は、[スタッフィングプロファイルの日付をプロジェクトの日付と同期する]機能切り替えがオンになっている場合にのみ有効になります。</p> <p>詳細については、スタッフィングプロファイルの日付をプロジェクトの日付と同期するを参照してください。</p>
アサインの負荷の分析ポートレットの機能拡張	<p>次のオプションがアサインの負荷の分析ポートレットに追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none">• 選択した作業項目に対するアサインのみをポートレットに含めます• プログラム、パッケージ、その他の実際の作業もポートレットに含めることができます <p>詳細については、アサインの視覚化を参照してください。</p>

kMigratorの改善

次の機能拡張がプラットフォームモジュールに追加されました。

データソースフィルター列の高度なデフォルト値の移行をサポートするkMigratorExtract.shおよびkMigratorImport.shスクリプトを使用して、データソースのフィルター列の高度なデフォルト値を移行できるようになりました。

詳細については、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)を参照してください。

ヘルプセンターの [共有] ボタン

ヘルプセンターのツールバーに、新しい共有ページボタン  が含まれるようになりました。

- Facebook、Twitter、LinkedIn、または電子メールでヘルプトピックを共有できます。
- トピックリンクをクリップボードにコピーして、他のアプリケーションに貼り付けることもできます。



- [PPMのReadme](#)

PPM 9.63の新機能

このセクションでは、PPM 9.63で導入または拡張された機能の概要を説明します。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

[リクエスト詳細] ページの新しい セクション: ダッシュボード

ダッシュボードセクションが [リクエスト詳細] ページに追加されました。

- PPM管理者は、以下のPPMメニューからリクエストタイプのダッシュボードを設定できます。**開く > 管理 > リクエストタイプの管理**

詳細については、[リクエストタイプのダッシュボードの設定](#)を参照してください。

- 設定すると、[ダッシュボード] セクションが [リクエスト詳細] ページに表示され、リクエスト情報をまとめて表示できるようになります。

詳細については、[\[リクエスト詳細\] ページ](#)、[\[ダッシュボード\] セクション](#)を参照してください。

リクエストタイプルールのコピー

同じリクエストタイプまたは他のリクエストタイプからリクエストタイプルールをコピーできます。

詳細については、[リクエストタイプルールのコピー](#)を参照してください。

リクエストリレーションシップの設定	<p>リクエストタイプに相互フィールドを作成することで、2つのリクエスト間のリレーションシップを設定できます。</p> <p>詳細については、リクエストリレーションシップの設定 (ベータ版) を参照してください。</p>
テーブルコンポーネントにグリッドビューが追加された	<p>テーブルコンポーネントにグリッドビューが追加され、テーブルコンポーネントデータのフィルタリング、グループ化、および並び替えが可能になりました。</p> <p>詳細については、テーブルコンポーネントグリッドビューを参照してください。</p>
Excelからテーブルコンポーネントをインポートする	<p>リクエスト詳細ページで、Microsoft Excelからテーブルコンポーネントをインポートできます。</p> <p>詳細については、Excelからテーブルコンポーネントをインポートするを参照してください。</p>
テキスト領域検証用の新しいデータマスク: HTML - リッチテキストフィールド	<p>新しいデータマスク: HTML - リッチテキストフィールドがテキスト領域の検証に追加されました。この新しいデータマスクは、リクエストタイプまたはリクエストヘッダータイプのテキスト領域フィールドでのみ使用できます。</p> <p>詳細については、テキスト領域の検証設定を参照してください。</p>
特定のリクエストタイプのリクエストをコピーしないようにする	<p>ユーザーが特定のリクエストタイプのリクエストをリクエストの詳細ページからコピーできないようにするには、ラジオボタン有効なコピーリクエストをいいえとします。ただし、ユーザーは特殊コマンドを実行することで依然リクエストをコピーできます。</p> <p>詳細については、リクエストタイプの一般情報の設定を参照してください。</p>

<p>[リクエスト詳細] ページの視覚化が改善されました</p>	<p>[リクエスト詳細] ページの表示は、よりユーザーフレンドリーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ページを下にスクロールすると、アクションボタンの右側にリクエストタイプとリクエスト番号が表示されました。 • 新しいボタン: トップに戻るが [保存] ボタンの左側に追加されました。このボタンをクリックすると、ページの一番上に移動します。 <p>詳細については、[リクエスト詳細] ページ、上部セクションを参照してください。</p>
<p>REST APIを使用して、既存のリクエスト間の参照を関連づける</p>	<p>REST API <code>put/dm/requests/{requestId}/addReference/{targetReqIds}/{refRelName}</code>を使用して、既存のリクエスト間の参照を関連付けることができます。</p> <p>詳細については、対話型REST APIヘルプを参照してください。</p>
<p>リクエストタイプの高度な検索では、リクエストヘッダタイプによるフィルタリングもサポートされています</p>	<p>REST API <code>post/dm/requestTypes/{id}/requests/advancedSearch</code>を使用して特定のリクエストタイプの高度な検索を実行する場合、リクエストヘッダタイプでフィルタリングすることもできます。</p> <p>詳細については、対話型REST APIヘルプを参照してください。</p>
<p>RequestRulesUserLibrary.jsが有効になるよう変更を加える簡単な方法</p>	<p>次の方法を使用して、RequestRulesUserLibrary.jsへの変更を有効にすることができます:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブラウザーのキャッシュを消去する (ウェブブラウザでCtrl+F5を押す)、または • PPMサーバーを再起動する、または • パラメーターCHECK_STATIC_JS_FILES_UPDATESをtrueに設定する

ポートフォリオタイプ

ポートフォリオタイプを使用して、ポートフォリオタイプを使用するポートフォリオにデフォルト設定またはビジネスルール (またはポートフォリオ設定) を課すことができるようになりました。

- PMOは、ポートフォリオタイプを作成および構成して、組織内のさまざまなポートフォリオセットの管理を標準化できます。ポートフォリオタイプ「企業」は、インストールまたはアップグレード時に含まれます。詳細については、[ポートフォリオタイプ](#)を参照してください。
- ポートフォリオを作成するとき、ポートフォリオマネージャーは、ポートフォリオに適用する設定のポートフォリオタイプを選択できます。詳細については、[ポートフォリオの作成と設定](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

エンティティタイプのアイコンをカスタマイズする	PPMエンティティタイプのアイコンをカスタマイズできます。アイコンは、ポートフォリオ管理モジュールとチーム管理モジュールのページに表示されます。 詳細については、 PPMエンティティタイプのアイコンのカスタマイズ を参照してください。
リストの検証値の編集の改善	<ul style="list-style-type: none">• リストの検証値の編集ページから、リストの検証値のユーザーデータを編集できます。• チェックボックスExcelファイルに含まれていないルックアップを削除するが、誤って値を削除しないように [リスト検証値の編集] ページに追加されました。 詳細については、 Web UIからのリスト検証値の編集 を参照してください。 注記: アップグレード前にダウンロードしたExcelファイルは機能しなくなるため、アップグレード後に検証ルックアップExcelファイルを再度ダウンロードする必要があります。
テーブルコンポーネントルールのコピー	他のテーブルコンポーネントからテーブルコンポーネントルールをコピーできます。 詳細については、 ルールの設定 を参照してください。

PPM-JIRA統合の更新

次の機能拡張がPPM-Jira統合に追加されました。

JIRAからPPMにリソースを インポートするかどうかを 選択する	JIRA課題にアサインされたリソースを、マップされたPPMタスクのリソースデータフィールドにインポートするかどうかを決定できます。 詳細については、 作業計画統合オプション を参照してください。
Jira問題ステータスを PPMリーフタスクステータスに マップ	[統合構成] ページで、Jira問題ステータスをPPMリーフタスクのステータスにマッピングできます。 詳細については、 Jira問題ステータスをPPMタスクステータスにマップする に参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

HTML +ポートレット定義を 編集するときのクイック保存	HTML+ポートレット定義のコードを編集する場合、 クイック保存 ボタンをクリックするか、CtrlとSを押すと、ページをリロードせずに変更を保存できます。その結果、HTML +ポートレットをテストし、離れた場所に戻って編集を続けることができます。 詳細については、 表示オプションの設定 - HTML +ポートレット を参照してください。
セルフサービスポートレットに 追加された新しいチャート タイプ	次の新しいチャートタイプがセルフサービスポートレットに追加されました。 折れ線グラフ、面グラフ、積み上げ面グラフ、円グラフ、ドーナツグラフ。 詳細については、 表示オプションの設定 - セルフサービスポートレット を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

作業計画内のチームアサイン	機能切り替えの [作業計画内のチームアサイン] をオンにすると、チームがスタッフィングプロファイルのポジションにアサインされるときに、このチームのリソースを作業計画タスクにアサインすることができます。 詳細については、 タスク上での複数のリソースのブック処理 を参照してください。
スタッフィングプロファイルとリソースプール検索結果をXLSXファイルにエクスポートする	スタッフィングプロファイルとリソースプールの検索結果をExcelにエクスポートすると、XLSファイルではなくXLSXファイルにエクスポートされます。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

タイムシートのコピーオプションを設定する	PPM管理者は、機能の切り替えを使用して次のことを決定できます。 <ul style="list-style-type: none">• ユーザーがWeb UIからタイムシートをコピーできるかどうか。• コピーしたタイムシートに含めるデータの選択。 詳細については、 タイムシートのコピー を参照してください。
Rest APIを使用して保留中のタイムシートを取得する	時間の承認者は、REST API <code>Get/tm/timeSheets/approvable</code> を使用して、承認待ちのタイムシートのリストを取得できます。 詳細については、 対話型REST APIヘルプ を参照してください。

チーム管理の機能拡張

次の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

チーム概要のポートレット

PPMは次の2つのポートレットを提供します。**リソース数とチームのランニングコスト**。これらの2つのポートレットを [チームの概要] タブに追加できます。

詳細については、[リソース数および合計ランニングコスト](#)を参照してください。

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

コストルールを検索するときに新しいUIを使用する

[[コストルールの検索時に新しいUIを使用](#)] 機能切り替えをオンにすると、コストルールの検索時に、返されたコストルールのリストが新しいUIに表示されます。必要に応じてコストルールをグループ化できます。

詳細については、[コストルールの管理](#)を参照してください。

注記: ブラウザーのWebストレージが有効になっていることを確認してください。これにより、新しいUIの全機能を利用できるようになります。

Kubernetesサポート (ベータ版)

PPMはKubernetes環境をサポートするようになりました。

 参照:

- [PPMのReadme](#)

PPM 9.62の新機能

このセクションでは、PPM 9.62で導入または拡張された機能の概要を説明します。

ポートフォリオ管理の機能拡張

以下の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

**新しいビュー:
ポートフォリオバックログ
のロードマップ**

ロードマップビューがポートフォリオバックログに導入されました。ポートフォリオコンテンツのスケジュール関連情報をすばやく表示できます。

詳細については、[ロードマップビュー](#)を参照してください。

**ポートフォリオバックログ
でバックログアイテムを
直接編集する**

詳細ページを開かなくても、ポートフォリオバックログ**単純リスト**ビューと**ボード**ビューでバックログアイテムを直接編集できます。

詳細については、[単純リストビュー](#)および[ボードビュー](#)を参照してください。

<p>新規アクセス許可: ポートフォリオの作成</p>	<p>ポートフォリオの作成アクセス許可が追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規ユーザーの場合、ポートフォリオを作成するには、ポートフォリオの作成権限が必要です。 アップグレードされたユーザーの場合、アップグレード前に [ポートフォリオの編集] または [すべてのポートフォリオの編集] アクセス許可がある場合、デフォルトでは、アップグレード後に [ポートフォリオの作成] 権限があります。 <p>詳細については、ポートフォリオ管理権限を参照してください。</p>
<p>ポートフォリオのコンテンツとタイムラインタブを非表示にする</p>	<p>PPMには、管理者がポートフォリオの詳細ページの [コンテンツ] タブと [タイムライン] タブを非表示にするための2つのパラメーターが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> SHOW_PORTFOLIO_CONTENTS_IN_PORTFOLIO SHOW_PORTFOLIO_TIMELINE_IN_PORTFOLIO <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>

チャットボットの機能拡張

次の機能拡張がPPMチャットボットに追加されました。

<p>チャットボットが通知を送信できるようにする</p>	<p>さまざまなイベントの通知を送信するようにPPMチャットボットを構成できます。PPMは、すぐに使用できる2つの通知テンプレートを提供します。チャットボットの新しいテンプレートを作成して、他のイベントの通知を送信することもできます。</p> <p>詳細については、チャットボットの設定通知を送信するを参照してください。</p>
<p>ユーザーがチャットボットでワークフローステップを処理できるようにする</p>	<p>受信者がチャットボットのワークフローステップに基づいて行動できるように、決定ワークフローステップを構成できます。</p> <p>詳細については、チャットボットで意思決定ワークフローステップの実行を有効にするを参照してください。</p>
<p>チャットボットウェルカムセンテンスをカスタマイズする</p>	<p>チャットボットがユーザーに送信するウェルカムセンテンスをカスタマイズできます。ウェルカムセンテンスのカスタマイズを参照してください。</p>

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

チームの概要タブのカスタマイズ	<ul style="list-style-type: none">PPM管理者は、システム内のすべてのチームの [概要] タブのデフォルトビューを設定できますチームマネージャーは、チームの概要レイアウトを変更して、デフォルト設定をオーバーライドできます。 <p>詳細については、概要タブのデフォルト設定とチームの概要を参照してください。</p>
無効にされたチームを表示	<p>[無効にされたチームを表示] チェックボックスをクリックすると、[マイチームとすべてのチーム] ページで無効なチームを表示できます。</p> <p>詳細については、チームのセットアップを参照してください。</p>
他のチームにすでに追加されているリソースを追加すると、確認がポップアップ表示される	<p>すでに他のチームにあるリソースをチームに追加すると、確認ウィンドウがポップアップ表示され、これらのリソースをチームに追加すると、それらのリソースも削除され、それらのチームのキャパシティがクリアされることを通知します。</p> <p>詳細については、リソースの追加を参照してください。</p>

機能拡張のインストール

PPM 9.62は、次の方法でインストールできます。

- PPM 9.62を直接インストールします。特殊コマンドinstall_auto.shを使用して、PPM 9.62をインストールします。

詳細については、[PPM 9.62のインストール](#)を参照してください。

- 9.6xからアップグレードします。

詳細については、[PPM 9.61-9.62へのアップグレード](#)を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

<p>セルフサービスポートレット</p>	<p>新しいポートレットタイプ: セルフサービスポートレットが導入されました。ポートフォリオモジュールで使用できます。表示するデータとその表示方法を完全に柔軟に定義できます。</p> <p>詳細については、表示オプションの設定 - セルフサービスポートレットを参照してください。</p>
<p>改良されたピボットテーブルポートレットサポートフィルターのすべての行と列</p>	<p>改良されたピボットテーブルのすべての行と列は、ページングフィルターとして使用できます。ピボットテーブルの右側にある [フィルター] ペインをクリックして、フィルターを選択します。</p>
<p>改良されたピボットテーブルポートレットは、ピボットデータセットの制限を無視します</p>	<p>改良されたピボットテーブルのポートレットは、[ピボットデータセットの制限を無視する] 機能切り替えがオンになっている場合、server.confファイルのパラメーターによって制御されるピボットデータセットの制限を無視します。</p> <p>詳細については、ピボットテーブルのサイズと一意の値の数を制御するを参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

<p>PPMユーザーがパスワードをリセットできるようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 管理者は、ユーザーが毎回連絡することなくPPMパスワードをリセットできるようにすることができます。ユーザーに送信されるパスワードリセットメッセージをカスタマイズできます。 <p>詳細については、ユーザーによるパスワードのリセットの有効化を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> PPMにログインするときに、パスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットして新しいパスワードを作成できます。 <p>詳細については、パスワードのリセットを参照してください。</p>
--	---

<p>PPMサーバーにファイルをアップロードする</p>	<p>PPMサーバーが開発モードで実行されている場合は、管理コンソールからPPMサーバーにファイルをアップロードできます。</p> <p>詳細については、<PPM_Home>ディレクトリへのファイルのアップロードを参照してください。</p>
<p>最後に成功したログオン試行と失敗したログオン試行の時間を追跡する</p>	<p>このバージョン以降、PPMは最後に成功したログオン試行と失敗したログオン試行の時間を追跡します。情報を表示するには、PPMページの右上隅にあるリソースアイコンをクリックします。</p>
<p>kSync.shの改善</p>	<p>次の機能拡張がkSync.shに追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • パラメーターを使用して、データベースのパスワードを渡すことができます。 • PPMサーバーの実行中に、「content」フォルダーをデプロイできます。 <p>詳細については、kSync.shを参照してください。</p>
<p>サーバーを再起動する前に、「content」フォルダーと「customization」フォルダーを再デプロイします</p>	<p>管理コンソールからPPMサーバーノードを再起動すると、サーバーを再起動する前に「content」および「customization」フォルダーを再デプロイできます。</p> <p>詳細については、PPMノードの再起動を参照してください。</p>
<p>起動前にファイルシステムのバージョンをデータベースのバージョンと照合する</p>	<p>PPM Centerは、開始する前にファイルシステムのバージョンとデータベースのバージョンを比較します。ファイルシステムのバージョンがデータベースのバージョンと異なる場合、PPMは起動に失敗します。</p> <p>詳細については、起動チェックを参照してください。</p>

プログラム管理の機能拡張

次の機能拡張がプログラム管理モジュールに追加されました。

プログラムを検索するときに完成したプログラムを除外する

ラジオボタン終了したプログラムを含めるが [プログラムの検索] ページに追加されました。デフォルトでは、プログラムを検索すると、完成したプログラムは検索結果から除外されます。

Webサービスを呼び出してプログラムを検索する場合は、完成したプログラムを検索結果から除外するように選択できます。

詳細については、[プログラムの検索](#)および [searchProgram](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

クイックビューに作業計画でのスケジュールされた工数を手動で入力する

タスクの詳細ページで [スケジュールされた工数を手動で制御] オプションが選択されている場合、作業計画のクイックビューでリーフタスクのスケジュール作業を手動で入力できるようになりました。

Rest APIを使用してプロジェクトの状態をオーバーライドする

これで、Rest APIを使用してプロジェクトヘルスをオーバーライドできます。

詳細については、[対話型REST APIヘルプ](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

<p>コストビューでのスタッフィング プロファイルのエクスポート</p>	<p>以前は、コストビューでスタッフィングプロファイルのエクスポートすると、エクスポートされたExcelにポジションのデマンドとアサインメントが表示されていました。</p> <p>これで、ポジションのデマンドとアサインが、エクスポートされたExcelのコストに表示されます。コストは、スタッフィングプロファイルのコストビューで選択した通貨で表示されます。</p>
<p>特定のプールのリソースカレンダーと リソース情報ページをマイリンクに 追加します</p>	<p>特定のリソースの [リソースカレンダー] または [リソース情報] ページを表示していて、そのページを [マイリンク] に追加すると、ページリンクにリソースが記憶されます。次回マイリンクからページを開くときに、リソースを再度指定する必要はありません。</p>

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

<p>マイタイムシートポートレットに合計工数を 表示する</p>	<p>合計工数列がマイタイムシートポートレットに追加されました。詳細ページに移動しなくても、各タイムシートの合計工数を表示できます。</p>
<p>Rest APIを使用してリソースのカレンダーを 取得する</p>	<p>Rest APIを使用して、特定のリソースのカレンダーを取得できます。</p>
<p>Rest APIを使用してタイムシートを キャンセルする</p>	<p>Rest APIを使用して、未提出のタイムシートをキャンセルできます。</p>
<p>Rest APIを使用して、特定のタイプの 作業項目を検索する</p>	<p>Rest APIを使用して、特定のタイプの作業項目を検索できます。</p>

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

クイック編集ページからリクエストを作成する	クイック編集ページからリクエストを作成できます。 詳細については、 クイック編集ページからのリクエストの作成 を参照してください。
フィールド値を設定するためのUIルール	新しいUIルールがリクエストタイプに導入されました。これにより、URLパラメーターからトークン値を読み取り、対応するリクエストフィールドに設定できます。

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

基本通貨でのコストとベネフィットの編集を無効にする

「ユーザが基本通貨でコストとベネフィットを編集できるようにする」機能切り替えをオフにすると、ユーザーは財務サマリのコストとベネフィットを現地通貨でのみ編集できます。[コストの追加と編集とベネフィットの表示、追加、編集](#)を参照してください。

廃止

次のアイテムは廃止になりました。

DMS_SECURE_FILE_EXTENSIONS_WHITE_LISTパラメーターが削除されました。代わりにDMS_SECURE_FILE_EXTENSIONS_ALLOW_LISTパラメーターを使用してください。

アップグレード前にDMS_SECURE_FILE_EXTENSIONS_WHITE_LISTパラメーターの値を設定した場合、アップグレード後に目的の種類ファイルをPPMにアップロードするには、新しいパラメーターに値を追加する必要があります。

 参照:

- [「PPM 9.61の新機能」](#)
- [134ページの「PPM 9.60の新機能」](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 9.61の新機能

このセクションでは、PPM 9.61で導入または拡張された機能の概要を説明します。

ポートフォリオ管理の機能拡張

以下の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

ポートフォリオバックログに追加された新しいビュー	<p>ポートフォリオバックログに次の2つの新しいビューが導入されました。階層とボード。ビューは、バックログアイテムを整理および表示するためのさまざまな方法を提供します。</p> <p>詳細については、ポートフォリオバックログビューを参照してください。</p>
ポートフォリオ概要のカスタマイズ	<p>有効にすると、PPM管理者はシステム内のすべてのポートフォリオの [概要] タブのデフォルトビューを設定でき、ポートフォリオマネージャーはポートフォリオの概要レイアウトを変更してデフォルト設定をオーバーライドできます。</p> <p>詳細については、ポートフォリオ概要を参照してください。</p>
グローバルポートフォリオと上位ポートフォリオの戦略テーマをコピーする	<p>これで、グローバルポートフォリオと上位ポートフォリオの戦略テーマをポートフォリオにコピーしてから、ポートフォリオの戦略テーマを編集できるようになりました。</p> <p>詳細については、戦略的調整情報のキャプチャーを参照してください。</p>
ポートフォリオ内に下位ポートフォリオと提案を作成して追加する	<p>下位ポートフォリオと提案を直接作成してポートフォリオに追加できます。これは、バックログタブでのみ使用できます。</p> <p>詳細については、ポートフォリオバックログのポートフォリオコンテンツの管理を参照してください。</p>

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

<p>スタッフィングプロファイルから作業計画を同期する</p>	<p>スタッフィングプロファイルからプロジェクト作業計画を同期する場合、ポジションとしてスタッフィングプロファイルに同期されたタスクについて、それらのリソースとスケジュール作業データはポジションから同期されます。</p> <p>詳細については、スタッフィングプロファイルから作業計画を同期を参照してください。</p>
<p>プロジェクトマネージャーがリソース割り当てを編集できるようにする</p>	<p>スタッフィングプロファイルのリソース割り当ての編集アクセス許可が追加されました。このアクセス許可を持つプロジェクトマネージャーは、リソースがリソースプールに属しているかどうかに関係なく、スタッフィングプロファイルのリソース割り当てを編集できます。</p> <p>詳細については、リソース計画用のスタッフィングプロファイルの使用を参照してください。</p>
<p>タイムシートからのコストにも USE_ROLE_OF_TASK_FOR_WP_COSTSが適用される</p>	<p>PPMがタスクのロールまたはタスクのリソースのロールに基づいて作業計画の計画コストを計算するかどうかを制御する USE_ROLE_OF_TASK_FOR_WP_COSTSパラメーターは、タスクのタイムシートに対してログに記録された時間から計算されたコストにも適用されるようになりました。</p> <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>
<p>プロジェクト名が変更されたときにエクスポートされたPDFタイトルを変更する</p>	<p>プロジェクトまたはダッシュボードページをPDFにエクスポートするたびに、PPMはプロジェクトまたはページの名前を読み取り、その名前をPDFタイトルに反映します。</p> <p>PDFタイトルをプロジェクトまたはダッシュボードページ名とは異なるものに変更すると、PPMはそのタイトルをデータベースに保存し、保存されたタイトルを次のPDFエクスポートで使用します。</p> <p>詳細については、プロジェクトと作業計画のエクスポートを参照してください。</p>
<p>タスクユーザーデータの監査履歴</p>	<p>タスク監査履歴は、タスクユーザーデータの変更を追跡するようになりました。</p> <p>詳細については、プロジェクト、作業計画、およびタスクの監査履歴の追跡を参照してください。</p>

**REST APIを使用して、タスクを
マイルストーンとして設定する**

これで、REST APIを使用してタスクをマイルストーンとして設定できるようになりました。

詳細については、[対話型REST APIヘルプ](#)を参照してください。

デプロイメントの改善

PPMのアップグレードを容易にするために、9.61でいくつかのデプロイメントの改善を実装しました。

詳細については、[PPMデプロイメントの改善](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

次の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

**特定のプールの [割り当ての管理] ページを
[マイリンク] に追加する**

特定のリソースプールの [割り当ての管理] ページを表示していて、そのページを [マイリンク] に追加すると、ページリンクにリソースプールが記憶されます。

次回マイリンクからページを開くときに、リソースプールを再度指定する必要はありません。

**STAFFING_PROFILE_REQUIRED_COLUMNS
もポジションポップアップウィンドウで機能する**

スタッフィングプロファイルの必須列を設定するためにSTAFFING_PROFILE_REQUIRED_COLUMNS

パラメーターを使用する場合、この列は、ポジションをインライン編集する場合と、ポジションポップアップウィンドウでポジションを編集する場合の両方で必要です。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

ダッシュボードページフィルター

- **dashboard.Page-Filters-Usage**サーバーパラメーターが削除されました。機能切り替えの [ビルダポートレット用のダッシュボードページフィルタ] を使用して、ダッシュボードページフィルターを有効または無効にできます。
- ダッシュボードページフィルターは、Javaポートレットからフィルターを除外します。

詳細については、[ダッシュボードページフィルターの使用](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

Shift +クリックは、「日 (日数)」入力モードを使用したタイムシートで機能する

日単位で時刻を入力する場合は、Shiftキーを押しながらクリックショートカットを使用して、セルの値をコピーして貼り付けることができます。

詳細については、[タイムシートのログ時間](#)を参照してください。

PPMチャットボットの機能拡張

PPMチャットボットがオートコンプリートリストフィールドの情報を要求するためにチャットする場合、完全な情報を入力する代わりに、キーワードを入力して、キーワードを含むオプションのリストから正確な情報を選択するだけです。

ヘルプセンター

ヘルプセンターのホームページを新しく更新しました。ご意見をお聞かせください。

電子メールの宛先: docteam@microfocus.com

廃止

次の項目は廃止になりました。

項目	詳細
dashboard.Page-Filters-Usage パラメーター	このパラメーターは削除されました。PPM管理者は、機能切り替えの [ビルダポートレット用のダッシュボードページフィルタ] を使用して、ダッシュボードページフィルターの使用を有効にするかどうかを制御できます。 詳細については、 ダッシュボードページフィルターの使用 を参照してください。
SYNC_POSITIONS_FROM_WORKPLAN パラメーター	このパラメーターは削除されました。PPM管理者は、機能切り替えの [タスクとポジション間の同期] をオンにして、プロジェクトマネージャーが作業計画タスクからポジションを同期できるようにすることができます。 詳細については、 作業計画タスクからのポジションの同期 を参照してください。

PPM 9.60の新機能

このセクションでは、PPM 9.60で導入または拡張された機能の概要を説明します。

PPM Enterprise Suiteコンカレントライセンス

PPM 9.60では、次の新しいライセンスタイプが導入されました。Enterprise Suiteコンカレントユーザー。このライセンスタイプを使用すると、潜在的なユーザーのグループ間でライセンスのプールを共有できるため、どの時点でも最大コンカレントライセンス数を超えないようにすることができます。

詳細については、[コンカレントライセンス](#)を参照してください。

PPM for Mobileの更新

PPM for Mobileエリアに以下のアップデートが追加されました。

PPM for Mobileの新しいアプリ: タイムシートの承認	タイムシートの承認アプリがPPM for Mobileで利用できるようになりました。このアプリを使用して、タイムシートとタイムシートラインを表示および承認できます。 詳細については、 タイムシートの承認 を参照してください。
ドリルダウン先ポートレットを表示できる	PPM for Mobileダッシュボードは、ドリルダウン先ポートレットの表示をサポートしています。

タブレットをサポート

iPadやその他のタブレットでPPM for Mobileを使用できます。

ポートフォリオ管理の機能拡張

以下の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

ポートフォリオバックログ

バックログタブがポートフォリオの詳細ページで利用できるようになりました。これにより、ポートフォリオのすべてのバックログアイテムを、それらが提供する価値の観点から表示できます。

見やすくするために、タブでは次のことができます。

- バックログアイテムのグループ化、フィルタリング、および並べ替え
- 個人的なお気に入りのビューの設定

詳細については、[ポートフォリオバックログの管理](#)を参照してください。

下位ポートフォリオのクリック可能なリンク

ポートフォリオの [コンテンツ] > [下位ポートフォリオ] タブにリストされている下位ポートフォリオがクリック可能になりました。リンクをクリックすると、下位ポートフォリオの詳細ページに移動します。

Micro Focus PPM Connector

Micro Focus Connect用のMicro Focus PPM Connector (Micro Focus PPM Connector) を使用すると、リクエストなどのPPMアセットを他のMicro Focus Connectorのアセット (たとえば、Micro Focus ConnectのJiraコネクタにあるアセット) と同期できます。

Micro Focus PPM Connectorの詳細については、次のリソースにアクセスしてください。

- Micro Focus PPM Connectorをダウンロードするには、<https://marketplace.microfocus.com/appdelivery/content/micro-focus-connect-connectors>にアクセスしてください。
- Micro Focus PPM Connectorの設定方法を説明するreadmeをダウンロードするには、

<https://marketplace.microfocus.com/appdelivery/content/micro-focus-connect-connectors>にアクセスしてください。

- Micro Focus Connectのドキュメントについては、
<https://admhelp.microfocus.com/connect>を参照してください。

PPMチャットボット

PPMチャットボットが登場! Microsoft TeamsのPPMチャットボットとチャットすることで、プロジェクトのリスクを作成するなど、PPMを開かずにPPM関連のアクティビティを自動化できます。

これは、より重要な他の領域に割り当てることができる時間を節約するのに役立ちます。

PPMチャットボットのリソースについては、PPMマーケットプレイスにアクセスしてください: <https://marketplace.microfocus.com/appdelivery/category/all?product=Project-and-Portfolio-Management>

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

ユーザーのグループごとに異なるダッシュボードランディングページを設定する	PPM管理者は、次のことができます。 <ul style="list-style-type: none">• ユーザーのグループごとに異なるダッシュボードランディングページを設定する• ユーザーが独自のランディングページを設定できるかどうかを制御する 詳細については、 ダッシュボードランディングページの設定 を参照してください。
HTML +ポートレットで複数のデータソースを使用する	HTML +ポートレット定義を作成または編集するときに、データソースを追加できます。これにより、HTML +ポートレットは複数のデータソースからデータを取得できます。詳細については、 ポートレットの定義の作成と保守および表示オプションのセットアップ - HTML +ポートレット を参照してください。
HTMLおよびHTML +ポートレット定義用の改善されたテキストエディター	改善されたテキストエディターを使用して、HTMLおよびHTML +ポートレット定義のコードを編集できるようになりました。

機能の切り替えの機能拡張

機能の切り替えページが拡張され、機能をすばやく見つけることができるようになりました。

- [機能の切り替え] ページの機能は、時系列の逆順に表示されるようになりました。最新の機能が上部に表示されます。
- キーワードとフィルターで機能を検索できます。

詳細については、[機能の切り替えを使用した機能のオン/オフ](#)を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

管理コンソールはクリックされたアイテムのみをロードする	このバージョンより前では、管理コンソールを開くと、PPMはすべてのJSPページをロードします。このバージョン以降、PPMは、管理コンソールでクリックしたアイテムのページのみをロードします。
PPMの使用状況を監視する	システム管理者は、ユーザーのPPM使用状況データを監視して、PPMのどの部分が最も使用されているかを理解できます。この機能は、PPMデスクトップとPPM for Mobileの両方に適用されます。 詳細については、 PPM使用状況の監視 を参照してください。
ユーザー情報の更新に関する監査履歴	PPMは、PPMユーザー情報へのすべての変更をITG_AUDIT_LOGSテーブルに記録するようになりました。
menu.xmlのカスタマイズで、既存のメニュー項目のURLの変更がサポートされるようになった	update_menu.xmlファイルをカスタマイズすることにより、既存のメニュー項目のURLを変更できます。 詳細については、 既存のメニュー項目を更新する を参照してください。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

名前または説明でマイアイテムと推奨項目を検索

新しいフィールド**項目名または説明が次の文字列を含む**が含まれている場合は、[タイムシートへの項目の追加] ウィンドウで使用できます。ファイルにキーワードを入力して、名前または説明にキーワードが含まれているアイテムを検索できます。

詳細については、[マイアイテムリストの使用](#)および[推奨項目リストの使用](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

次の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

リクエストを編集する権限を持つユーザーがプロジェクトリクエストフィールドのクイック編集を実行できるようにする

プロジェクトリクエストを編集する権限がある場合、プロジェクトを編集する権限がない場合でも、リクエストのクイック編集モードでリクエストフィールドを更新できるようになりました。

リソース管理の機能拡張

次の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

AALおよびARPポートレットのバーの上に合計を表示する

バーの合計が [リソースプールの分析] および [アサインの負荷の分析ポートレット] のどこに表示されるかを制御できます。バーの上部、またはバーのツールチップです。

注記: 合計の小数表示も変更しました。PPMは、1桁の合計の場合は小数点以下2桁、2桁の合計の場合は小数点以下1桁を保持し、3桁以上の合計の場合は小数点以下1桁を保持します。

詳細については、PPMページを開いてください。[管理コンソール](#) > [管理タスク](#) > [機能の切り替え](#)。

プログラム管理の機能拡張

次の機能拡張がプログラム管理モジュールに追加されました。

ksc_take_snapshotはプログラムで機能する

特殊コマンドksc_take_snapshotを使用して、プログラムワークフローから財務サマリのスナップショットを取得できます。

廃止

次の項目は廃止になりました。

項目	詳細
モバイルユーザーがモバイルのダッシュボードランディングページを独自に設定できるようにする機能の切り替え	<p>機能の切り替えが削除されました。PPM管理者は、[ダッシュボードランディングページの設定] ページでモバイルユーザーがモバイルのランディングページを設定できるようにするオプションを使用して、ユーザーが独自のモバイルランディングページを設定できるかどうかを制御できます。</p> <p>詳細については、ダッシュボードランディングページの設定を参照してください。</p>

既知の問題

このセクションでは、PPMを使用する際の既知の問題と制限事項について説明します。(スニペットが欠落しているか、または不適切です)

問題

次の表に、一般的な問題と解決策をいくつか示します。

問題	説明
メニュー表示の問題	<p>24.4にのみ適用。バージョン24.4にアップグレードすると、新しいサイドナビゲーションメニューがデフォルトで有効になります。ただし、サイドナビゲーションメニュー機能の切り替えをオフにすることで、従来のトップナビゲーションメニューに戻ることができます。トップナビゲーションメニューに戻ると、メニューとマストヘッドの表示がずれたり、乱れたりする場合がありますのでご注意ください。</p> <p>回避策:</p> <ol style="list-style-type: none"> 従来のメニューから、マストヘッドの [管理] ボタンをクリックします。 管理メニューから、[システムの外観のカスタマイズ] > [テーマのカスタマイズ] をクリックします。 ロゴ領域に移動し、[デフォルトに戻す] をクリックします。

問題	説明
24.4で [プロジェクト タイプの参照] メニューが 削除された	<p>24.4にのみ適用。バージョン24.4にアップグレードすると、バージョン24.3以前でアクセス権限を持っていたユーザーは [プロジェクトタイプの参照] メニューを使用できなくなります。このメニューを [マイリンク] リストに追加したり、URLを保存したりした場合でも、ページに直接アクセスできます。</p> <p>回避策: 特定のプロジェクトタイプの詳細を表示するには、そのタイプのプロジェクトを開き、[プロジェクト設定] に移動して、プロジェクトタイプのリンクをクリックして詳細ページを開きます。</p>
多言語 インター フェイスでの ログインの 問題	<p>24.1にのみ適用。多言語インターフェイスを備えたPPMインスタンスをバージョン24.1にアップグレードすると、セッション言語を選択した後にログインページがロックされ、それ以上進めなくなります。</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p> <p>詳細については、次の記事を参照してください。 KM000026809</p>
ログイン後の エラー	<p>24.1にのみ適用。PPMをバージョン24.1にアップグレードすると、ログイン後に次のエラーが表示される場合があります。「不明なエラーが発生しました。」</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p> <p>詳細については、次の記事を参照してください。 KM000026984</p>
Excelレポート	<p>24.1にのみ適用。バージョン24.1にアップグレードした後、Excelレポートの生成またはデータの生成時に問題が発生します。この問題は、小文字以外の名前を持つデータベースフィールドを参照するExcelテンプレートファイルを使用する場合に発生します。たとえば、project_nameの代わりにPROJECT_NAMEを使用します。</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p> <p>詳細については、次の記事を参照してください。 KM000027122</p>

問題	説明
タイムシート通知	<p>24.1にのみ適用。以前のバージョンから2023以降のバージョンにアップグレードされたPPMでタイムシート通知を送信できません。</p> <p>回避策:</p> <ol style="list-style-type: none">すべてのPPMノードを停止します。次の更新ステートメントを実行してコミットします。 <pre>update knta_services_nls set job_class = 'com.kintana.core.server.scheduler.EmailNotificationJob' where reference_code='_NOTIFICATION_SERVICE';</pre> <ol style="list-style-type: none">すべてのPPMノードを起動します。
Oracle データベースバージョン 12.1	<p>24.1にのみ適用。 Oracle Databaseバージョン12.1をPPM 23.3以降のバージョンで使用すると、PPMの起動に失敗します。</p> <p>回避策: PPMサーバーを起動する前に、V1.27_alter_configuration_table.sqlファイルを <PPM_Home>/server/_common/deploy/pvo.war/WEB-INF/classes/db/oracle/migrationディレクトリにコピーします。</p> <p>注記: PPMを23.3から23.4、23.3から24.1、または23.4から24.1にアップグレードする場合は、アップグレード後に毎回V1.27_alter_configuration_table.sqlファイルをコピーする必要があります。</p>
ドリルダウンポートレットのフィルターマッピング	<p>23.4および24.1に適用。 フィルターマッピングフィールドを持つドリルダウンポートレットは機能せず、フィルタートークンを解決できず、エラーが発生します。「1つまたは複数の必須プリファレンスが存在しないため、このドリルダウンを表示できません。ダッシュボード管理者に連絡してください。」</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p> <p>詳細については、次の記事を参照してください。 KM000027123</p>

問題	説明
セルフサービスポートレットにプロジェクトとポートフォリオの概要に関するデータが表示されない	24.2にのみ適用。 グリッドビュータイプで構成されたセルフサービスポートレットでは、プロジェクトおよびポートフォリオの概要に関するデータが表示されません。
無効に切り替えると個人用ランディングページが非表示になる	24.2にのみ適用。 ページを個人のデスクトップランディングページとして設定すると、個人用ランディングページを無効にする切り替えは表示されなくなります。目に見えないにもかかわらず、トグルは機能し続けます。 回避策: ページを個人用ランディングページとして使用することを停止するには、上部のメニューで、[マイリンクに追加] アイコンの右側の領域にマウスを移動し、[このページをランディングページとして使用するのをやめます] ツールヒントが表示されたらクリックして無効にします。

問題	説明
JDK 11環境では電子メール通知が送信されない	<p>24.1にのみ適用。 JDK 11を使用するインスタンスでは電子メール通知は送信されません。</p> <p>これは、バージョン24.1にアップグレードされたインスタンスに影響します。バージョン24.1の新規インストールおよび他のJDKバージョンを使用するインスタンスは影響を受けません。</p> <p>解決策: <code>lib/jboss/boot/</code>内の<code>javax.mail.jar</code>ファイルを削除します。</p> <p>ディレクトリを削除してからサーバーを再起動します。</p> <p>注記:</p> <p>この問題が解決されると、保留中の電子メール通知がすべて送信されます。</p> <ul style="list-style-type: none">保留中の電子メール通知の数を確認するには、次のSQLクエリを実行します。 <pre data-bbox="493 831 1453 1163">SELECT count(*) FROM knta_notif_txn_parents p where p.notification_sent_flag = 'N' and p.interval_id = 3 order by p.notif_txn_parent_id asc</pre> <ul style="list-style-type: none">これらの通知の送信を停止するには、送信フラグをYに設定します: <pre data-bbox="493 1205 1453 1367">update knta_notif_txn_parents p set p.notification_sent_flag = 'Y'</pre> <p>通知クリーンアップサービスは、7日後にこれらの通知を自動的に削除します。この期間は、NOTIFICATIONS_CLEANUP_PERIODサーバーパラメーターを使用して調整できます。</p>
ポートレットの [プリファレンスの編集] ページでは [詳細フィルタ] オプションが機能しない	<p>24.3にのみ適用。 リクエストカテゴリのJavaポートレットの [プリファレンスの編集] ページでは、[詳細フィルタ] オプションは機能しません。</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p>

問題	説明
日付フィールドにnull値が含まれている場合、セルフサービスポートレットが表示されない	24.3にのみ適用。 日付フィールドにnull値が含まれていると、セルフサービスポートレットでデータが表示されなくなります。 解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。
複数選択リストフィールドで隣接するフィールドが非表示になる	24.3にのみ適用。 [新しいドロップダウンリストとオートコンプリートリストを使用する] 機能を有効にすると、複数選択フィールドで複数の値を選択した後に、隣接するフィールドが非表示になったり、正しくレンダリングされなかったりします。

(スニペットが欠落しているか、または不適切です)

制限事項

次の表に、PPMを使用する際の制限事項を示します。

制限事項	Octane ID	説明
必要なフィルターを持つポートレットはエクスポート時に値が欠落している		24.3にのみ適用。 複数のポートレットを含むドリルダウンページをPDFにエクスポートすると、必須のフィルターフィールドを持つポートレットの値がエクスポートされたPDFで欠落する可能性があります。 回避策: このようなポートレットをエラーなくエクスポートするには、各ポートレットを最大化ビューで表示し、ポートレットを個別にエクスポートします。
ALM Octane統合	CR-1707077	24.3にのみ適用。 ALM OctaneからPPMタイムシートに作業をインポートできません。
スタッフィングプロファイルのメモでは箇条書きと番号付きリストの書式設定が利用できない		24.2および24.3に適用。 メモに対してリッチテキスト形式が有効になっている場合、スタッフィングプロファイルのメモでは箇条書きと番号付きリストの書式設定は使用できません。

制限事項	Octane ID	説明
ALM統合	CR-1403615	24.1にのみ適用。 ALM統合用のSSO ALM HTTPSサーバーに接続できません。
アサインの負荷の分析ポートレットをエクスポートする		アサインの負荷の分析ポートレットデータをExcelにエクスポートし、[次の合計アサイン値: 実績工数]を表示、[詳細データを含める]の2つのオプションを選択した場合、パッケージ、プログラム、その他の詳細はExcelにエクスポートされませんが、実績工数は実際の合計アサインに含まれます。PPMは将来のバージョンでこの問題を修正する予定です。
ダッシュボードのランディングページをエクスポートする		製品アイコンをクリックしてダッシュボードのランディングページに移動し、ページをPDFにエクスポートする前にランディングページがすでに変更されている場合、PDFにはエクスポートするページではなく新しいランディングページのコンテンツが表示されます。
[スタッフィングプロファイルのベースラインの作成]ダイアログボックスが画面外に表示される	542058	[プロジェクトサマリ] ページからスタッフィングプロファイルのベースラインを作成する場合、ページが長く、ページを一番下までスクロールして [ベースライン] ボタンをクリックすると、画面の外に [スタッフィングプロファイルのベースラインの作成] ダイアログボックスが表示されることがあります。このダイアログボックスを画面上の目的の場所に移動すると、スタッフィングプロファイルのベースラインを作成できます。 この問題はChromeブラウザーとEdgeブラウザーで発生します。
トルコ語ロケール		トルコ語ロケールを使用するオペレーティングシステムにPPMをインストールできません。

(スニペットが欠落しているか、または不適切です)

[はじめにヘルプ](#)

[新機能](#)